

令和4年度沖縄地域MaaS導入推進調査事業

報告書

令和5年3月

株式会社オリエンタルコンサルタンツ 沖縄支社

1. 業務概要	2
2. MaaSサービス（観光交通サブスクリプション事業）に係るFS調査	6
2. 1 MaaSサービスの方向性検討	7
2. 2 MaaSサービスの設計	18
2. 3 実証実験の実施	34
2. 4 効果検証調査	53
2. 5 課題整理（実装に向けた取組検討）	75
3. 検討委員会の開催	81
4. スマートモビリティチャレンジ地域シンポジウムの開催	87

1. 業務概要

- ・ 沖縄の基幹産業である観光産業の復旧と更なる高付加価値化は、地域経済の活性化にとって喫緊の課題であるということは衆目の一致するところであるが、一方でレンタカー移動が多い観光客の増加は、交通渋滞を悪化させる要因ともなり得るため、公共交通機関の更なる利用促進等に繋がるMaaS関連プロジェクトの推進を通じて、地域住民の生活の質の確保と観光振興の両立を目指す新たな地域振興モデルを構築することが求められている。
- ・ また、沖縄県では公共交通機関の時刻表やバス停位置情報、観光施設等の情報をオープンデータ化する取り組みが進んでおり、Googleマップ等の大手経路検索サイトにおいて公共交通の乗り換え検索が実現できるほか、誰でも自由にオープンデータを利用できることから、民間事業者等による新たなサービスの開発が期待されている。
- ・ このような状況を踏まえ、本事業では、「レンタカー利用から公共交通利用という観光客の行動変容」を促すための仕掛けとなる新たなMaaSサービスとして、八重山地域を対象に観光情報と連携した公共交通におけるサブスクリプション事業の実施を検討するためのFS調査を行い、MaaSの社会実装を加速化することを目的とする。

1. 計画準備

2. MaaSサービス（観光交通サブスクリプション事業）に係るFS調査

2. 1 MaaSサービスの方向性検討

- ・ MaaSサービスの方向性の検討

2. 2 MaaSサービスの設計

- ・ 観光客のニーズや地域側の意向・体制を踏まえた具体的なMaaSサービスの設計

2. 3 実証実験の実施

- ・ 周知・広報、実証実験の実施結果

2. 4 効果検証調査

2. 5 課題整理（実装に向けた取組検討）

3. 検討委員会の開催

- ・ 有識者及び関係事業者等で構成
- ・ 日程調整、資料作成、議事録作成等

委員会①：12/16（金）

委員会②：2/2（木）

委員会③：3/16（木）

4. スマートモビリティチャレンジ地域シンポジウムの開催（2/22（水））

- ・ スマートモビリティ推進協議会事務局とも連携し開催
- ・ 日程および開催場所の調整、プログラムの検討、参加者募集、開催概要とりまとめ等

5. 報告書作成

令和4年10月31日～令和5年3月31日まで

実施事項	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 計画準備	←→				
(2) MaaSサービス（観光交通サブスクリプション事業）に係るFS調査					
1) MaaSサービスの方向性検討	←→				
2) MaaSサービスの設計	←→				
3) 実証実験の実施					
①周知・広報			←→	←→	←→
②実証実験の実施		←→	←→	←→	←→
4) 効果検証調査				←→	←→
5) 課題整理（実装に向けた取組検討）				←→	←→
(3) 検討委員会の開催		第1回 (12/16) ←→	第2回 (2/2) ←→	第3回 (3/16) ←→	
(4) スマートモビリティチャレンジ地域シンポジウムの開催			準備・広報 ←→	開催 (2/22) ←→	とりまとめ ←→
(5) 報告書作成					←→

チケット造成

実証実施

(2/10～3/5 ※24日間)

第1回 (12/16)

第2回 (2/2)

第3回 (3/16)

準備・広報

開催 (2/22)

とりまとめ

2. MaaSサービス（観光交通サブスクリプション事業）に係るFS調査

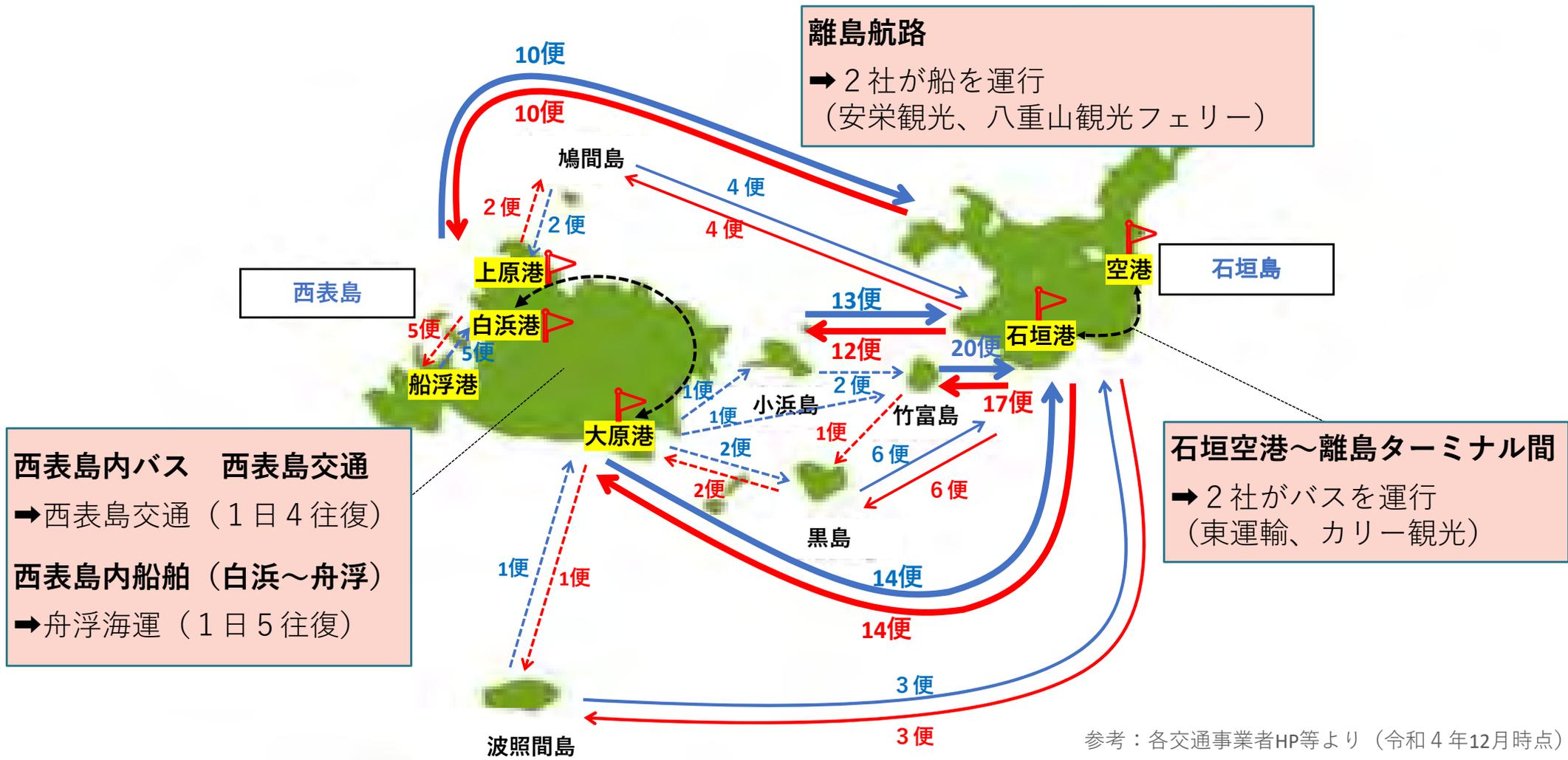
2. 1 MaaSサービスの方向性検討



県内のMaaS関連サービス等の動向や、路線網、地域・事業者側の意向、観光客ニーズ等より、実現性、実装可能性等を勘案し、**八重山圏域**を対象地域として設定する。

【八重山圏域の交通環境（主な航路、バス等の状況）】

- 石垣島内：島内全域を**東運輸**、石垣空港～石垣港離島ターミナル間は**東運輸**と**カーリー観光**の2社が路線バスを運行
- 離島航路：**安栄観光**、**八重山観光フェリー**の2社がほぼ同じ航路を運航（運行時間も似ている）
- 西表島内：**西表島交通**が路線バスを運行。舟浮地区に渡るための船を**舟浮海運**が運航



参考：各交通事業者HP等より（令和4年12月時点）

1) 観光客込人数 (H30およびR3) (出典：沖縄県八重山観光統計より)

● 観光客入込人数

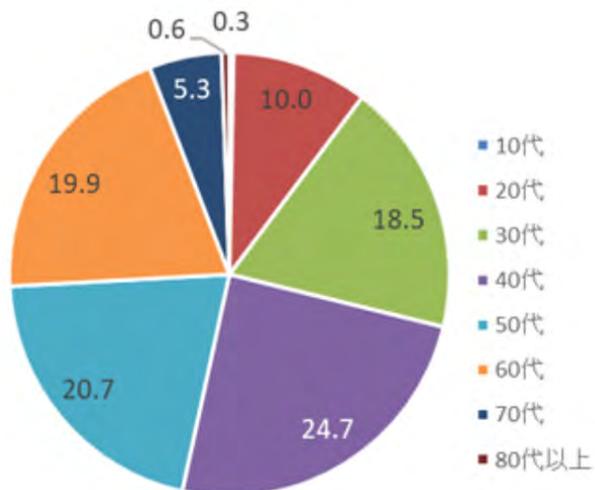
平成30年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
石垣	84,871	85,289	108,737	130,658	148,610	120,023	140,190	143,208	112,128	106,547	102,996	86,155	1,369,412
内、海路	16,784	14,494	14,688	41,509	69,653	30,540	32,594	22,880	18,585	9,956	14,730	6,744	293,157
竹富	38,094	38,075	51,120	43,561	39,582	36,674	42,428	50,879	42,236	44,606	43,732	35,586	506,573
西表	25,313	24,587	31,689	28,776	24,501	22,816	24,016	27,713	18,169	23,162	27,738	22,934	301,414
内、大原	23,931	22,444	27,171	21,733	16,763	14,692	13,146	14,394	9,808	19,055	24,939	21,078	229,154
内、上原	1,382	2,143	4,518	7,043	7,738	8,124	10,870	13,319	8,361	4,107	2,799	1,856	72,260
小浜	12,881	13,967	17,181	14,194	12,861	11,702	12,094	13,892	11,230	13,192	16,494	14,393	164,081
黒島	1,569	3,124	1,671	1,475	2,195	2,288	2,874	2,950	2,183	1,820	1,670	1,772	25,591
鳩間	30	63	80	367	849	614	793	646	330	138	46	77	4,033
波照間	1,469	1,303	2,679	4,209	4,213	3,598	5,582	5,416	4,781	2,649	2,365	1,214	39,478

令和3年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
石垣	22,950	19,712	55,159	51,173	38,211	26,778	48,841	54,053	38,762	59,256	64,082	66,854	545,831
内、海路	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
竹富	6,009	3,693	17,477	17,174	10,564	4,933	9,484	16,411	10,172	15,795	21,936	22,787	156,435
西表	4,437	3,143	12,117	11,898	8,620	6,353	8,912	14,223	8,013	12,228	16,900	17,290	124,134
内、大原	4,274	2,164	8,059	8,555	3,781	2,267	3,282	6,206	3,002	8,410	12,863	16,660	79,523
内、上原	163	979	4,058	3,343	4,839	4,086	5,630	8,017	5,011	3,818	4,037	630	44,611
小浜	2,577	3,376	6,817	7,704	4,222	4,573	3,251	6,831	6,352	8,713	10,716	9,413	74,545
黒島	810	478	1,510	1,345	1,075	417	639	944	604	835	1,447	1,458	11,562
鳩間	41	126	227	243	480	291	440	555	382	312	194	75	3,366
波照間	885	659	2,224	2,194	2,723	1,272	2,961	2,886	2,351	2,430	2,175	1,466	24,226

2) 主な観光客の属性 (出典：沖縄県令和元年度観光統計実態調査より)

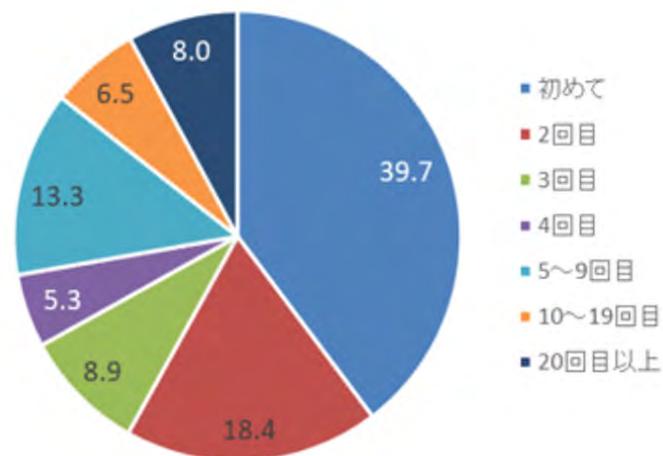
年代

・20・30代から60代まで一定割合で来訪



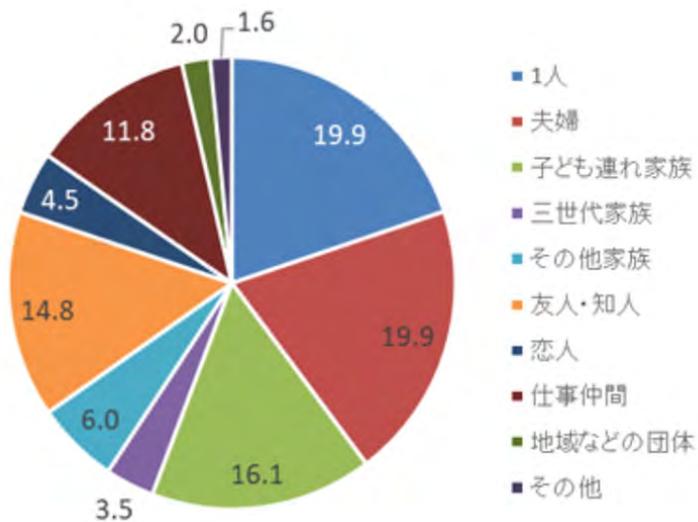
訪問回数

・初回訪問 4 割、リピーター 6 割



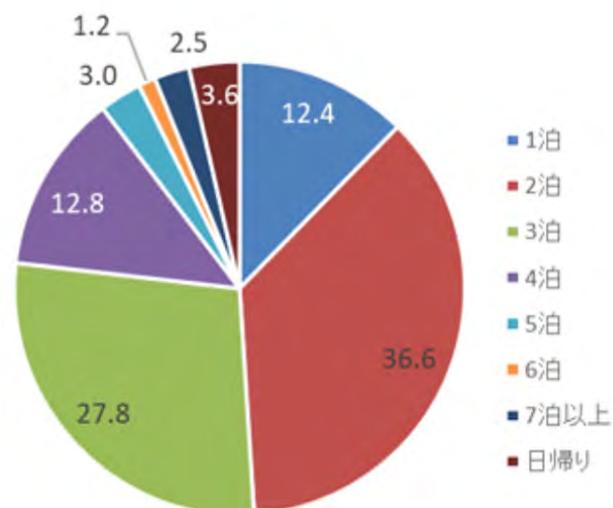
同行者

・夫婦、一人が多く、次いで家族、友人・知人と続く



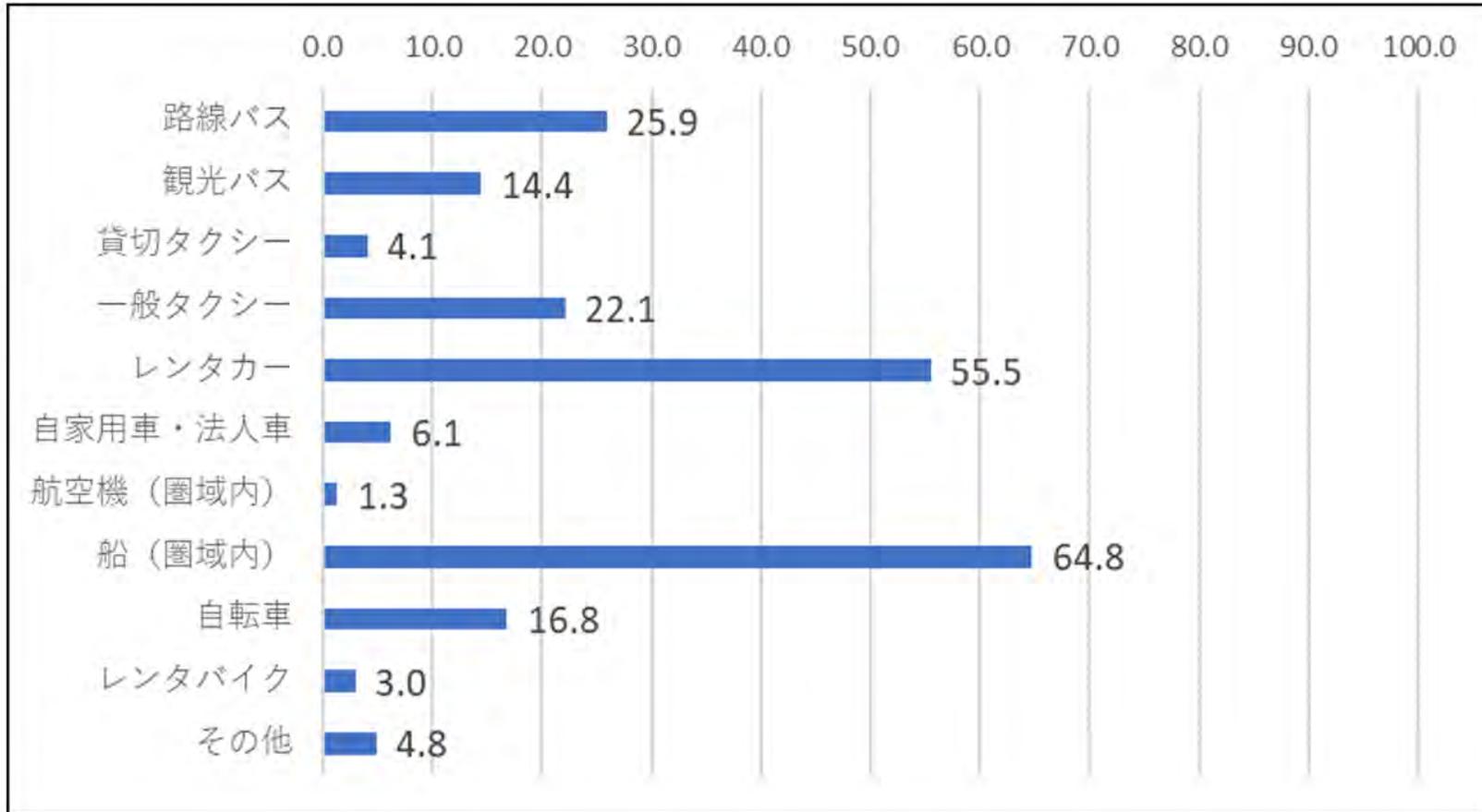
宿泊数 (平均 3.07 泊)

・2泊3日、3泊4日が多い



3) 観光客の交通手段 (出典：沖縄県令和元年度観光統計実態調査より)

- ・圏域内船舶が64.8%、レンタカー55.5%、路線バス25.9%
⇒離島に渡る方が多い

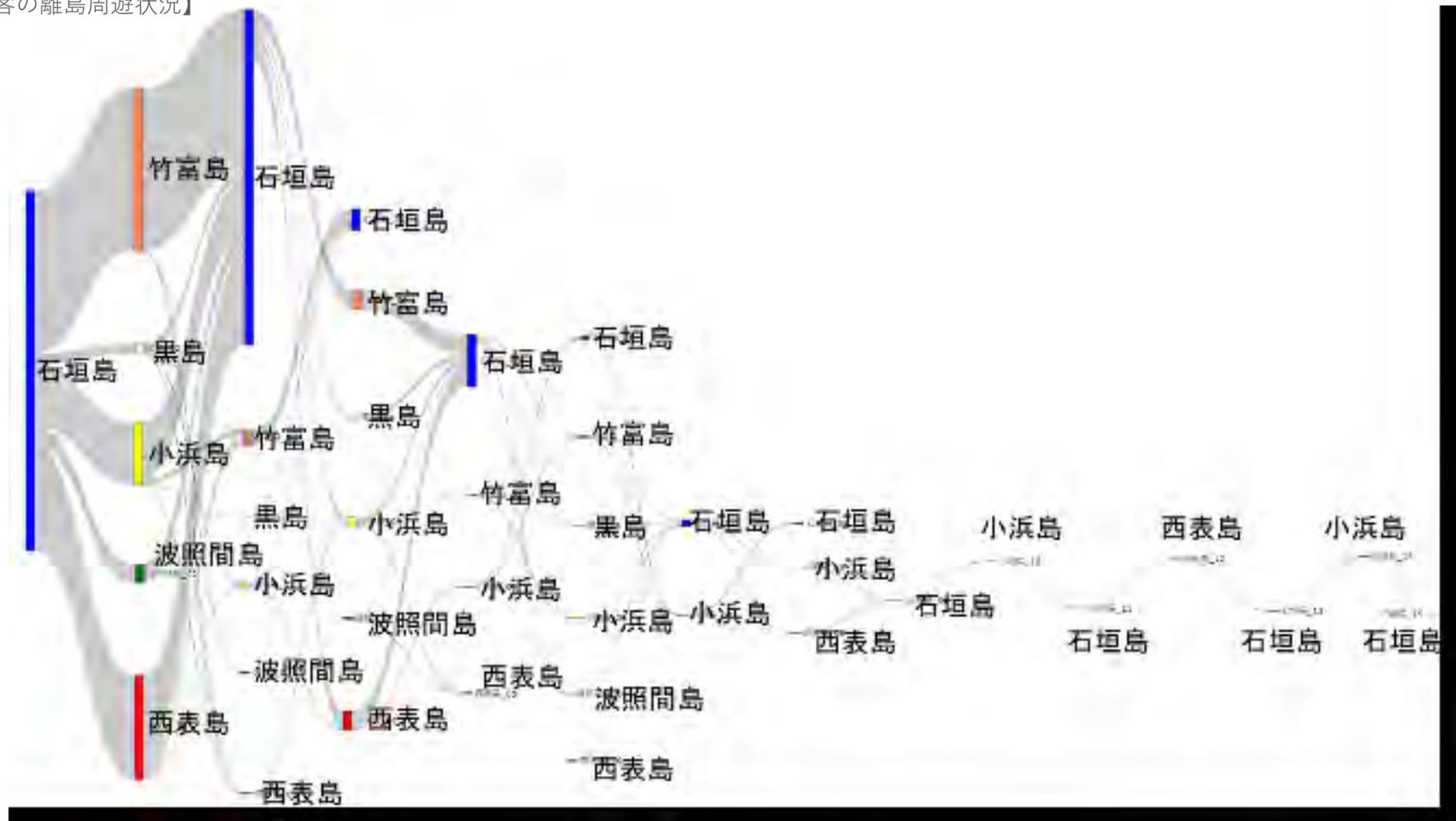


4) 周遊動向

・来訪した島は、石垣島 90.9%、竹富島 44.8%、西表島 34.8%、小浜島 11.7%、波照間島 7.7%の順。
(出典：沖縄県文化観光スポーツ部観光政策課、令和元年度観光統計実態調査報告書、令和2年10月)

・周遊動向は、【石垣-竹富-石垣】、【石垣-西表-石垣】、【石垣-小浜-石垣】が大半を占めている。
(出典：琉球大学工学部工学科 社会基盤デザインコース 神谷 大介准教授 等、論文：Bluetoothスキャナを用いた流動調査の可能性 -八重山地域を対象として-)

【観光客の離島周遊状況】



5) 訪問スポット (出典：沖縄県令和元年度観光統計実態調査より)

- ・来訪目的(活動)として、観光地めぐりが62.8%と多い。
- ・訪問先として、川平湾58.4%、コンドイ浜33.7%、玉取崎展望台33.1%、公設市場25.1%、平久保御崎灯台23.7%、由布島21.1%、石垣島鍾乳洞20.9%、バナナ公園20.7%、仲間川19.8%、竹富島内その他17.4%、なごみの塔14.5%、御神崎灯台14.3%、石垣島内その他12.1%、唐人墓10.6%、ヤエヤマヤシ群生10.6%、浦内川10.1%、小浜島内その他8.2%、大岳7.1%、石垣島天文台6.9%、西表島内その他6.2%

	H31/R元年度	第1回・5月 (4-6月期)	第2回・7月 (7-9月期)	第3回・10月 (10-12月期)	第4回・2月 (1-3月期)
川平湾	58.4	62.6	56.3	62.6	50.6
コンドイ浜	33.7	34.3	33.2	37.8	28.5
玉取崎展望台	33.1	32.1	34.9	30.6	34.9
石垣市公設市場	25.1	24.2	22.3	27.0	28.5
平久保御崎灯台	23.7	25.7	22.7	25.2	20.9
由布島	21.1	22.3	21.8	21.2	18.3
石垣島鍾乳洞	20.9	21.9	22.3	21.2	17.0
バナナ公園	20.7	23.0	18.1	19.8	22.6
仲間川	19.8	22.6	16.4	21.6	18.7
竹富島内その他	17.4	17.4	13.0	25.5	14.5
なごみの塔	14.5	15.1	14.7	14.0	14.0
御神崎灯台	14.3	18.9	11.3	12.2	14.9
石垣島内その他	12.1	13.6	7.6	14.7	13.6
唐人墓	10.6	14.0	7.6	11.9	8.9
ヤエヤマヤシ群生	10.6	4.9	4.6	25.2	9.8
浦内川	10.1	9.8	10.9	10.4	8.9
小浜島内その他	8.2	7.9	7.6	9.0	8.5
大岳	7.1	5.7	8.0	6.8	8.1
石垣島天文台	6.9	6.0	7.1	6.5	8.1
西表島内その他	6.2	3.4	9.2	6.1	5.5

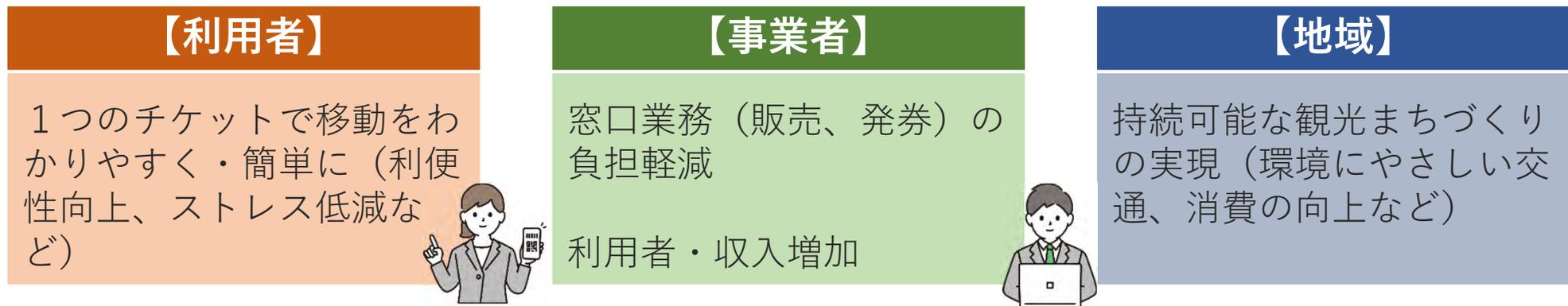
1枚のモバイルチケットで、滞在期間中、以下に示す事業者の路線バス、船舶（定期航路）への乗車・乗船を、原則制約を設けずに利用可能とすることで、移動に係わる予約や決済のストレスの低減、利便性向上を図り、公共交通観光の促進、圏域における周遊・滞在・消費等の促進、満足度向上等につなげることを目指すものとする。

【対象事業者および路線・航路】

石垣島路線バス	東運輸 カリー観光	石垣島内の全路線バス
離島間定期航路	安栄観光 八重山観光フェリー	石垣島・西表島・竹富島・小浜島・黒島・鳩間島間の全定期船 (今回の実証では波照間島関連航路は対象外)
離島内バス	西表島交通	西表島内の全路線バス
離島内船	船浮海運	西表島内の白浜ー船浮間の定期船

+もう1島への訪問や、路線バスでの周遊促進
レンタカー利用の低減・レンタカー利用からの転換
一人旅、夫婦・恋人、友人・知人等をターゲットに

【目指すべき方向性】・・・三方良しの取組



※上記および次ページ記載内容については、八重山圏域の対象全事業者、自治体（石垣市、竹富町）等にヒアリングの上で、沖縄総合事務局運輸部、沖縄県（観光部局、交通部局）、八重山ビジターズビューロー等を委員に加えた委員会の中で協議のうえ、合意形成を図った。

※制度的課題（法令）についても、沖縄総合事務局運輸部陸上交通課ならびに総務運航課に確認のうえ、本MaaS実施に必要な申請書類を確認し、各事業者より沖縄総合事務局に対して必要な届け出を提出のうえ、事業を実施した。

モバイルチケットについて、具体的には、観光客の八重山圏域での観光動向や滞在日数を踏まえるとともに、今年度は実証としてニーズ等の把握や検証を行うため、2日券、3日券、4日券、5日券を作成する方針とした。また料金について、現状の八重山圏域の観光特性を踏まえて、もう1島への訪問や、路線バスでの周遊を促進できる料金設定とした。

【実証におけるMaaSチケットの料金】 ※大人運賃

	燃料サーチャージ 第1段階の場合	燃料サーチャージ 第2段階の場合	燃料サーチャージ 第3段階の場合
石垣・西表 周遊フリーパス(バス・船) [2日券]	5,000円	5,500円	6,000円
石垣・西表 周遊フリーパス(バス・船) [3日券]	6,000円	7,000円	8,000円
石垣・西表 周遊フリーパス(バス・船) [4日券]	7,000円	8,000円	9,000円
石垣・西表 周遊フリーパス(バス・船) [5日券]	8,000円	9,000円	10,000円



※小人運賃（小学生）は、大人運賃の半額とする（未就学児は無料）。

※今年度の実証の料金については、実証時期の燃料サーチャージの段階に応じて設定する方針とする。今回の実証時期は第2段階となるため、上記赤枠の料金とする。

※2日券は48時間、3日券は72時間、4日券は96時間、5日券は120時間利用可能とする。さらに今回の実証では、帰りの石垣空港までのバスへの乗車を考慮し、東運輸（石垣空港～離島ターミナル間）およびカリー観光の乗車券については、+6時間利用可能とする（例：2日券であれば2社の当該路線は54時間利用可、等）



琉球銀行およびジョルダン社の「沖縄県内における電子チケット取扱推進に関する連携協定」(R4.8.17)等を踏まえ、本事業ではジョルダン社のモバイルチケットのプラットフォームを活用することとした。

【ジョルダン乗換案内アプリ】



ジョルダン乗換案内

移動に提案を。
行きたい場所へ行ける。
チケットを使える。

アプリ **4,000万**
ダウンロード

【沖縄県内における導入・検討状況】

- ・東京バス：フリー乗車券等
- ・沖縄バス：空港リムジンバス
- ・やんばる急行バス：空港線、四島線
- ・カーリー観光：石垣路線
- ・南城市Nバス：1日乗車券
- ・その他、造成協議中多数

東京バス沖縄営業所の場合

やんばる急行バスの場合

沖縄バスの場合

カーリー観光の場合

【ジョルダンモバイルチケット】全国180券種、80事業者への導入実績

経路検索から知る そのまま購入 アプリで利用

一つのアプリでシームレスな利用を実現

チケットバリエーション

多様なチケットに対応することが可能

フリー乗車券

特定日や曜日設定も可能



時間券

特定時間のみの有効化



その他

往復乗車券や回数券など



認証バリエーション

目検



乗務員・係員の方にチケット券面を見ていただきます

アプリ認証



チケットのコードを簡易認証機で読み取ります

ハード連携



改札機や運賃箱と連携してチケットを読み取ります

多様な決済手段

クレジットカードの他、PayPay・au Payなどの決済手段に対応。クレジットカード保有者以外へのチケット購入アプローチを行うことが可能に。



※事前決済時の決済手段

【利用実績の把握】

利用者の性別・年代、どの事業者、路線、航路を利用したかの実績把握が可能

デジタル化による多様な情報取得、分析が可能に



2. 2 MaaSサービスの設計

MaaSサービス (モバイルチケット) の名称については、観光客の地名に対する認知度等を勘案し、八重山という名称はあえて使用せず、またバスと船の両方が乗り放題ということが伝わるよう【石垣・西表周遊フリーパス (バス・船)】という名称とし、サービス (チケット) を設計・造成した。

石垣 西表 周遊フリーパス

バス・船

2023年2月1日(水)販売開始

利用期間(実証実験)

2023年2月10日(金)～3月5日(日)

石垣・西表周遊フリーパスで
沖縄八重山諸島の観光を満喫！

「石垣・西表周遊フリーパス(バス・船)」は、1枚のデジタルチケットで石垣島・西表島・竹富島・小浜島・黒島など、沖縄は八重山諸島のバス・船が、期間中定額で乗り放題になる、とってもお得で便利なフリーパスです。2日券(48時間券)、3日券(72時間券)、4日券(96時間券)、5日券(120時間券)の4種類から、ご予約に合わせて購入が可能です。沖縄離島観光のおともに、ぜひご利用ください。



ここが便利！石垣・西表周遊フリーパス



👍 事前予約・都度支払い不要

スマートフォンアプリ「乗換案内」でデジタルチケットを購入すれば、画面を見せるだけで対象のバス・船が期間中乗り放題に。旅行の移動がもっと便利になります。

らくらく！



👍 滞在日数にあわせて選べるチケット

乗り放題時間ごとに、2日券(48時間乗り放題)から5日券(120時間乗り放題)までご用意。旅程にあわせて商品を選べます。

ちょうどいい！



👍 帰りのバスまであんしん「プラス6時間」

帰りのユーグレナ石垣港離島ターミナルから石垣空港までのバスは、各チケットの利用時間がプラス6時間されます。

あんしん！



- ◆前述のとおり、観光客の八重山圏域での観光動向や滞在日数を踏まえるとともに、今年度は実証としてニーズ等の把握や検証を行うため、2日券、3日券、4日券、5日券を作成
- ◆料金について、現状の八重山圏域の観光特性を踏まえて、もう1島への訪問や、路線バスでの周遊を促進できる料金を検討。(各事業者との個別協議のうえ、委員会を開催し合意形成)

フリーパスの種類



「石垣・西表 周遊フリーパス(バス・船)」は、東運輸・カリー観光・西表島交通のバスと、安栄観光(波照間航路を除く)・八重山観光フェリー・船浮海運のフェリーが乗り放題のデジタルチケットです。

2日券(48時間券)

大人	5,500円
小人	2,750円

3日券(72時間券)

大人	7,000円
小人	3,500円

4日券(96時間券)

大人	8,000円
小人	4,000円

5日券(120時間券)

大人	9,000円
小人	4,500円

たとえばこんな方に！ お得なご利用方法



① 2泊3日で石垣島・西表島・竹富島を観光♪

初日

お昼頃に石垣島到着！ 対象の島内路線バスが乗り放題なので、川平湾か、平久保岬か、玉取崎展望台か…どの絶景スポットを目指すこともできます♪



平久保岬



川平湾

2日目

2日目は丸1日使って西表島を満喫！ 移動は島内を走る路線バスで。船も事前予約が不要で、どちらの会社でも乗船できるので、気兼ねなく西表島探検ができます。



西表島のマングローブ



由布島

3日目

最終日は竹富島へ！ 竹富島は船の本数が多いので観光にはもってこいです。帰りの飛行機の時間に合わせて、路線バスで石垣空港へ。石垣・西表周遊フリーパス2日券には、ご利用可能時間が6時間プラスされるので、帰りのバスまでお得で安心です♪



コンドイ浜



竹富島の水牛車

石垣・西表周遊フリーパス(バス・船)
2日券(48時間券)なら(※1)

通常運賃(※2)
8,030円



5,500円

2,530円
お得!

船・バスに乗って島をめぐる
お得なデジタルチケット!



スマートフォンアプリ「乗換案内」
から購入いただけます

2023年2月1日より販売開始!
ただいま準備中です。

「石垣・西表周遊フリーパス(バス・船)」のご利用には、スマートフォンアプリ「乗換案内」の最新バージョン(※)が必要です。
(※)iOS 4.38.0以上、Android v5.18.0以上

(※1) 飛行機の時間によっては、3日券(72時間券) 7,000円をお買い求めください。

(※2) 通常運賃は以下の合計額です。

- ・初日 石垣島路線バス1日乗車券:1,000円
- ・2日目 石垣島～西表島(大原)往復乗船券:3,960円
西表島路線バス1日乗車券:1,050円
- ・3日目 石垣島～竹富島往復乗船券:1,520円
石垣島離島ターミナル～石垣空港路線バス片道:500円



モバイルチケット購入方法①



1. 「乗換案内」アプリの経路検索のページで、中段左側の「チケット」を押します。



2. チケットの一覧が表示されます。「地域」のタブを押し、「沖縄」を選択します。



3. 沖縄のチケット一覧の中から、「石垣・西表 周遊フリーパス (バス・船)」のパネル画像を押します。



石垣・西表周遊フリーパスで
沖縄八重山諸島の観光を満喫!

チケットをみる

事前予約・都度支払い不要。滞在日数にあわせて選べるチケット。
「石垣・西表周遊フリーパス(バス・船)」は、1枚のデジタルチケットで石垣島・西表島・竹富島・小浜島・黒島など、沖縄は八重山諸島のバス・船が、期間中定額で乗り放題になる、とってもお得なフリーパスです。
2日券(48時間券)、3日券(72時間券)、4日券(96時間券)、5日券(120時間券)の4種類から、ご予定に合わせて購入が可能です。沖縄離島観光のおともに、ぜひご利用ください。

石垣島内の路線バス
(運行：東運輸、カリー観光)
石垣島・西表島・竹富島・小浜島・黒島・鳩間島間の定期船
(運航：安栄観光(※)、八重山観光フェリー)
西表島内の路線バス
(運行：西表島交通)
西表島内の白浜一船浮間の定期船
(運航：船浮海運)

4. 石垣・西表 周遊フリーパスのチケット販売ページが表示されます。

モバイルチケット購入方法②



5. 「4.」のページを下にスクロールし、利用したいチケットの「このチケットを購入」を押します。



6. 券種、利用期間を確認し、同時乗車人数を指定します。



7. 利用人数と運賃を確認し、決済方法を選択します。



8. 支払い情報を入力します。
※個人属性登録がない場合は、登録画面が表示されます。

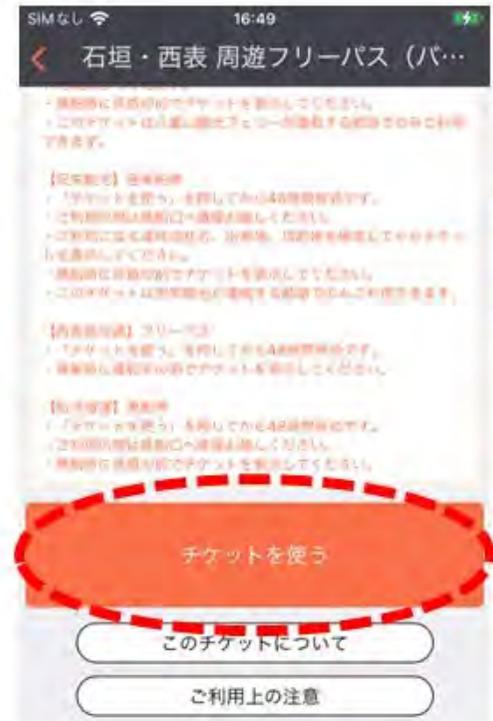
モバイルチケット利用方法①



9. 購入したチケットは乗換案内アプリ内の「Myチケット」の中に入ります。「Myチケット」へは、購入完了画面の「Myチケットを確認」から、または、「2.」画面の「Myチケット」から移動できます。該当チケットをクリックすると利用前画面へ遷移します。



10. 購入したチケットの注意事項／詳細が再度表示されます。確認後「チケットを使う」を押します。※基本的にチケットのキャンセル／払い戻しは受け付けませんが、



モバイルチケット利用方法②



11. 再度確認のメッセージが出ます。



12. 表示された画面で「乗車券」を選択すると券面が表示されます。



13. 乗車直前に「チケットを使用する」を押してください。



14. カラーバーが表示されます。この画面でチケットは利用済みとなります。

モバイルチケット券面

東運輸用



カーリー観光用



安栄観光用



モバイルチケット券面

八重山観光フェリー用



西表島交通用

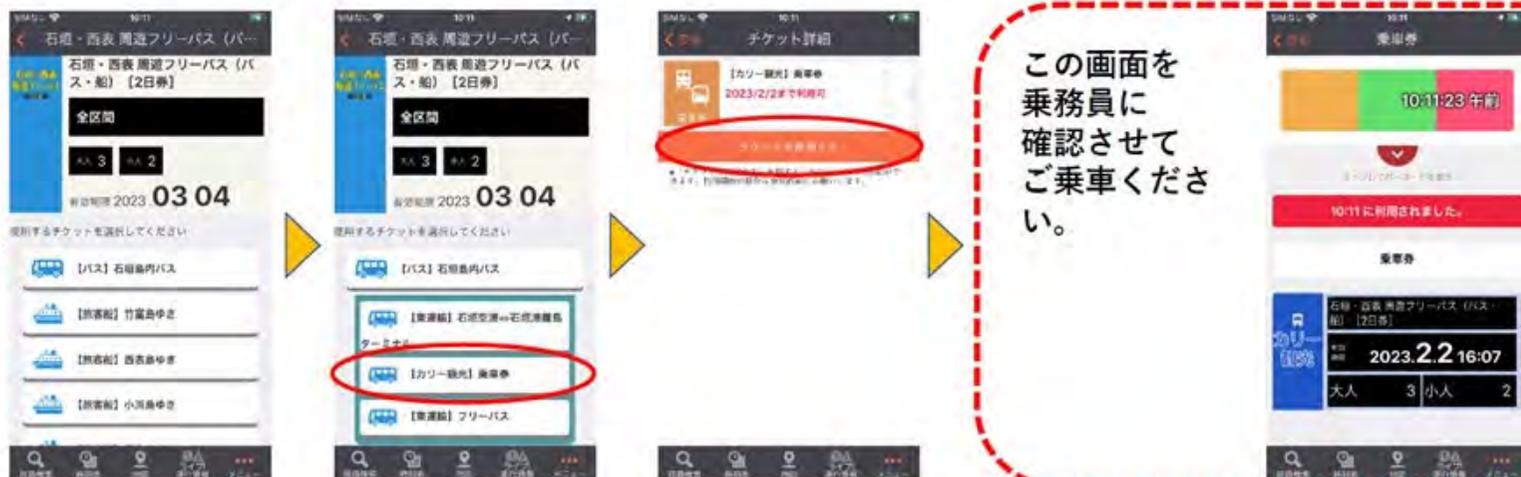
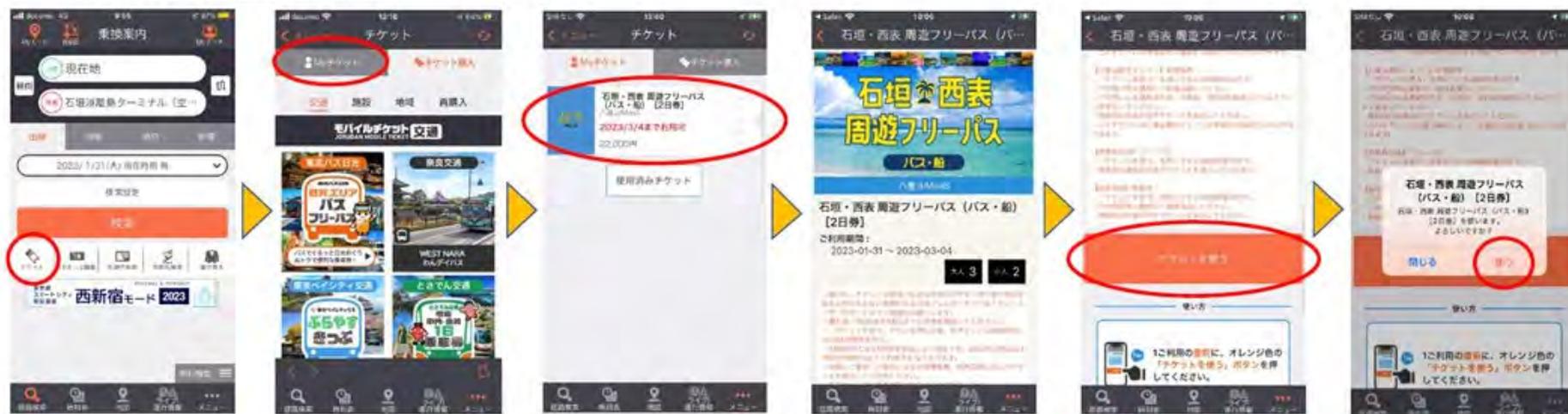


船浮海運用



利用者配布用資料①

チケット表示手順



利用者配布用資料②

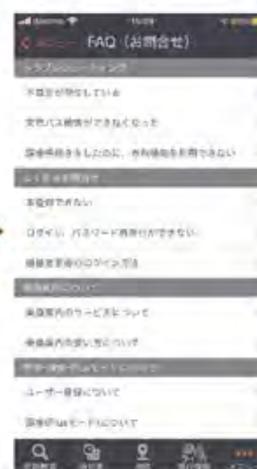
お問い合わせ



iPhone画面



Android画面



お問い合わせ一覧より、問い合わせしたい内容を選択しメールをお送りください。

【受付対応時間】

平日（月～金）

9:30～12:00 / 13:00～17:00

Mail : ticket-support@jorudan.co.jp

乗務員様向け資料①

乗車券確認ポイント

お客様に提示いただく画面



① カラーバーを確認
 ・時刻が左右に動いているか
 ・色がついているか
 を確認してください。

② 青色の券面（カーリー観光様用）と人数
 をご確認ください。

※表示されている人数は
 同時に乗車される人数になります。

※青色の券面がカーリー観光様
 専用の乗車券となります。

不正の疑い

- カラーバー内の文字が動いていない
 ⇒ スクリーンショットの可能性があります。
- カラーバーが黒く表示されている
 ⇒ スマホの画面を録画している可能性があります。

! カラーバーが
 黒くなっている。



画面の動画を撮影して
 見せています。

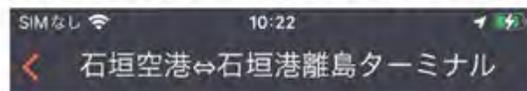
不正乗車の可能性があります。
 適切な画面の提示を求めるが、
 運賃の請求を促してください。



乗務員様向け資料②

乗車券確認ポイント

他社の券面を見せられた場合



タップしてバーコードを表示

10:22 に利用されました。

券面が青色ではない



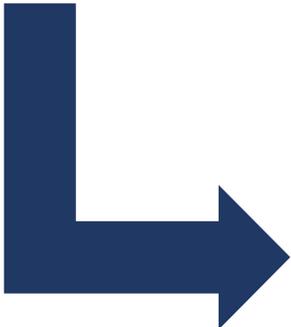
青色（カーリー観光様用）でない券面を提示された場合は、カーリー観光の乗車券ではない事をお伝えし、以下のご対応をお願いいたします。

- ①券面左上の「<」（もどる）ボタンを押してチケット選択画面に戻り、カーリー観光様のチケットを選択して提示してもらう。
- ②別紙のチケット表示手順をお客様にお渡しし、カーリー観光の乗車券を選んでいただくようにする。

2. 3 実証実験の実施

実証目的	造成したMaaSサービスの有効性検証、課題把握 (利用者側のニーズや課題、提供側の評価や運用上の課題、等)
実証するMaaSサービス案	石垣・西表 周遊フリーパス (バス・船) [2日券～5日券の4つの券種]
提供方法	ジョルダンアプリのモバイルチケットを活用
実証期間	実証期間：2023年2月10日(金)～3月5日(日) ※24日間 (チケット販売は2月1日(水)より開始)
実証規模	100-150名程度を想定 ※予算上限(約100万)に達した場合、期間前に終了とする

【実施結果の概要】

- 
- 販売期間：2023年2月1日(水)～2月26日(日)
※予算上限に達したため期間前に販売終了
 - 販売件数：139件、販売枚数：186名
 - 販売金額：115万8千円

実証についての利用者への周知、作成したモバイルチケット（アプリ）への導線等のためのWEBサイトを作成した。

石垣西表 周遊フリーパス

バス・船

石垣島 西表島 竹富島
小浜島 黒島 鳩間島

2023年2月1日(水)販売開始

利用期間(実証実験)
2023年2月10日(金) 3月5日(日)

石垣・西表周遊フリーパスで 沖縄八重山諸島の観光を満喫！

「石垣・西表周遊フリーパス(バス・船)」は、1枚のデジタルチケットで石垣島・西表島・竹富島・小浜島・黒島など、沖縄は八重山諸島のバス・船が、期間中定額で乗り放題になる、とってもお得で便利なフリーパスです。

2日券(48時間券)、3日券(72時間券)、4日券(96時間券)、5日券(120時間券)の4種類から、ご予定に合わせて購入が可能です。沖縄離島観光のおともに、ぜひご利用ください。

(※)本フリーパスは、令和4年度沖縄地域MaaS導入推進調査事業(内閣府沖縄総合事務局)の一環として実証的に提供しています。予算の上限に達した場合は、利用期間の途中であっても販売終了する場合がございます。

ご利用可能な交通機関はこちら

ここが便利！石垣・西表周遊フリーパス

事前予約・都度支払い不要

スマートフォンアプリ「乗換案内」でデジタルチケットを購入すれば、画面を見せるだけで対象のバス・船が期間中乗り放題に。旅行の移動がもっと便利になります。

らくらく!

滞在日数にあわせて選べるチケット

乗り放題時間ごとに、2日券(48時間乗り放題)から5日券(120時間乗り放題)までご用意。旅程にあわせて商品を選べます。

ちょうどいい!

帰りのバスまであんしん「プラス6時間」

帰りのユーグレナ石垣港離島ターミナルから石垣空港までのバスは、各チケットの利用時間がプラス6時間されます。

あんしん!

「石垣・西表周遊フリーパス(バス・船)」は、スマートフォンアプリ「乗換案内」から購入いただけます。

「石垣・西表周遊フリーパス(バス・船)」のご利用には、スマートフォンアプリ「乗換案内」の最新バージョン(※)が必要です。
(※)iOS 4.38.0以上、Android v5.18.0以上

乗換案内へ

フリーパスの種類

「石垣・西表 周遊フリーパス(バス・船)」は、東運輸・カリー観光・西表島交通のバスと、安栄観光(波照間航路を除く)・八重山観光フェリー・船浮海運のフェリーが乗り放題のデジタルチケットです。

種類	大人(中学生以上)	小人(小学生)
2日券(48時間券)	5,500円	2,750円
3日券(72時間券)	7,000円	3,500円
4日券(96時間券)	8,000円	4,000円
5日券(120時間券)	9,000円	4,500円

(※)各券、未就学のお子様は大人1名につき1名まで無料、それ以上は小人料金となります。
(※)料金には燃油サーチャージ(燃油価格変動調整金)が含まれております。乗船時に追加料金のお支払いはございません。

「石垣・西表周遊フリーパス(バス・船)」は、スマートフォンアプリ「乗換案内」から購入いただけます。

ご利用上の注意など、詳しい情報は「乗換案内」の販売ページからご確認ください。

乗換案内へ

「石垣・西表周遊フリーパス(バス・船)」のご利用には、スマートフォンアプリ「乗換案内」の最新バージョン(※)が必要です。
(※)iOS 4.38.0以上、Android v5.18.0以上

ご利用可能な交通機関

ご利用可能な交通機関

ご利用可能な交通機関

- 石垣島内の全路線バス(運行:東運輸、カリー観光)
- 石垣島・西表島・竹富島・小浜島・黒島・鳩間島間の全定期船(運航:安栄観光(※)、八重山観光フェリー)
- 西表島内の全路線バス(運行:西表島交通)
- 西表島内の白浜一船浮間の定期船(運航:船浮海運)

(※)波照間島間連航路は対象外です。

時刻表

フリーパスご利用の参考に、石垣空港⇄石垣港離島ターミナル間のバス、および離島航路に関する2つの共通時刻表を掲載しています。バスのその他区間については、各事業者のホームページからご確認ください。

石垣空港 ⇄ 石垣港離島ターミナル間バス

石垣空港～石垣港離島ターミナル間は、東運輸、カリー観光の2社のバスが運行しており、本フリーパスではどちらもご乗車いただけます。

石垣空港⇄石垣港離島ターミナル間バス共通時刻表(PDF)

離島航路

本フリーパスは、石垣島、西表島(大原港および上原港)、竹富島、小浜島、黒島、鳩間島間の定期離島航路すべてにご乗船いただけます。運航は安栄観光、八重山観光フェリーの2社が運航しており、どちらも乗船可能です。また、西表島内の白浜港一船浮港間(船浮海運)の船にも乗船いただけます。

離島航路 共通時刻表(PDF)

(※)本フリーパスの利用期間である2月から3月上旬は、西表島

(※) 本フリーパスの利用期間である2月から3月上旬は、西表島(上原港)、鳩間島発着の船が、波の関係で欠航することが非常に多い時期です。ご予約の際にはご注意ください。
 (※) 上原航路欠航時に運航される石垣～大原の臨時便をご利用の場合は、石垣⇒大原もしくは大原⇒石垣のチケットをご提示の上ご乗船ください。
 (※) このチケットで乗車/乗船の予約はできません。
 (※) ご希望便が満席の場合、乗車/乗船できない場合がございます。

各事業者の路線・航路
および運航状況について

最新の情報は以下の各事業者ホームページからご確認ください。

- ➔ 東運輸(路線情報)
- ➔ カリー観光(路線情報)
- ➔ 安栄観光(航路情報、運航状況)
- ➔ 八重山観光フェリー(航路情報、運航状況)
- ➔ 西表島交通(路線情報)
- ➔ 船浮海運(航路情報、運航状況)



たとえばこんな方に！お得なご利用方法

① 2泊3日で石垣島・西表島・竹富島を観光♪

初日

お昼頃に石垣島到着！対象の島内路線バスが乗り放題なので、川平湾か、平久保岬か、玉取崎展望台か…どの絶景スポットを目指すこともできます♪



2日目

2日目

2日目は丸1日使って西表島を満喫！移動は島内を走る路線バスで。船も事前予約が不要で、どちらの会社でも乗船できるので、気兼ねなく西表島探検ができます。



3日目

最終日は竹富島へ！竹富島は船の本数が多いので観光にはもってこいです。帰りの飛行機の時間に合わせて、路線バスで石垣空港へ。石垣・西表周遊フリーパス2日券には、ご利用可能時間が6時間プラスされるので、帰りのバスまでお得で安心です♪



石垣・西表周遊フリーパス(バス・船)
2日券(48時間券)なら(※1)

通常運賃(※2) 8,030円 → 5,500円

2,530円
お得！

船・バスに乗って島をめぐる
お得なデジタルチケット！



スマートフォンアプリ「乗換案内」
から購入いただけます

乗換案内へ



「石垣・西表周遊フリーパス(バス・船)」のご利用には、スマートフォンアプリ「乗換案内」の最新バージョン(※)が必要です。

(※) iOS 4.38.0以上、Android v5.18.0以上

(※1) 飛行機の時間によっては、3日券(72時間券) 7,000円をお買い求めください。

(※2) 通常運賃は以下の合計額です。

- ・初日 石垣島路線バス1日乗車券:1,000円
- ・2日目 石垣島～西表島(大原)往復乗船券:3,960円
西表島路線バス1日乗車券:1,050円
- ・3日目 石垣島～竹富島往復乗船券:1,520円
石垣港離島ターミナル～石垣空港路線バス片道:500円



② 5泊6日で石垣島・西表島・小浜島・黒島・竹富島を満喫

初日

お昼頃に石垣島へ到着。路線バスで石垣島の美しい絶景へ！川平湾、平久保岬、玉取崎展望台、ビーチなど、どこへ行っても見ごたえバツグンです。



2日目・3日目

1泊2日で西表島を満喫♪仲間川マングローブや由布島の水牛車など、見どころや貴重な体験スポットをめぐるみましょう。移動は島内を走る路線バスが便利です。船でしか行くことのできない船浮集落への乗船代もセットになっているので安心です。



4日目

4日目は西表島大原港から小浜島へ移動。八重山を見渡せる大岳・海人公園・シュガーロードなど、のどかな島でゆったりとした時間をすごしてリフレッシュしましょう。

5日目

5日目は黒島へ。石垣港より約30分で到着します。自転車に乗れば1時間40分ほどで島を一周できます♪お昼の乗船でも、夕方の最終の船で石垣港へ戻ることができるので、時間の余裕も作れます。



6日目

最終日は竹富島へ。帰りの飛行機の時間にに合わせて、路線バスで石垣空港へ。帰りのバスはプラス6時間があるので、夕方の便でも5日券でお得に観光ができます♪



石垣・西表周遊フリーパス(バス・船)
5日券(120時間券)なら

通常運賃(※) 13,770円 → 9,000円

4,770円
お得！

船・バスに乗って島をめぐる お得なデジタルチケット!



スマートフォンアプリ「乗換案内」
から購入いただけます

乗換案内へ

「石垣・西表周遊フリーバス(バス・船)」のご利用には、スマートフォンアプリ「乗換案内」の最新バージョン(*)が必要で、
(※)iOS 4.3.0以上、Android v5.18.0以上

- (※) バス・船利用の場合、通常運賃は以下の合計額です。
- ・初日 石垣島路線バス1日乗車券:1,000円
- ・2日目 石垣島～西表島(大原)片道乗船券:2,060円
- ・3日目 白浜港～船浮港往復乗船券:960円
西表島路線バス3日乗車券:1,570円
- ・4日目 大原港～小浜島片道乗船券:1,850円
小浜島～石垣島片道乗船券:1,400円
- ・5日目 石垣島～黒島往復乗船券:2,910円
- ・6日目 石垣島～竹富島往復乗船券:1,520円
石垣港離島ターミナル～石垣港路線バス片道:500円



おすすめ観光スポット

離島・石垣島の観光情報は以下の公式HPからご覧ください。

離島の観光情報はこちら
(竹富町観光協会HP)

石垣島の観光情報はこちら
(石垣市観光交流協会HP)

一度は行ってみたい!魅力がいっぱいの石垣島観光スポットを少しだけご紹介します。

- ★ 系統名を押すと、バス事業者のホームページで時刻表を確認できます。
- ★ 現在地や現在時刻から各スポットまでの経路の確認は「乗換案内」か、「Google Maps」が便利です。「乗換案内」は、iPhoneをご利用の方は[こちら](#)から、Androidをご利用の方は[こちら](#)から、スマートフォンアプリをご活用ください。



川平湾

エメラルドグリーンの海が広がる絶景
🚗 川平公園前

バスターミナル発

系統2

系統7

系統8

系統9

石垣空港発

系統3

系統11

ひとことメモ

バスターミナル発の川平湾行き路線バスは、およそ1時間に1本、1日に11本走っています。川平湾を一望できる「川平公園展望台」へは、バス停から歩いて約2分で行けます。
※出典:石垣島トリップアシスト「川平湾へ路線バスで行く」



バナナ公園

南国の木々に囲まれた、海の見える公園
🚗 八重守の塔(バナナ公園南口まで徒歩約2分)

バスターミナル発

系統2

系統7

系統8

ひとことメモ

「八重守の塔」バス停からの便は、2本(9:14、13:59)しかないため、帰り時間の予定を確認しておきましょう。



石垣島鍾乳洞

日本最南端、石垣島最大の鍾乳洞
🚗 自然村入口(鍾乳洞まで約800m、徒歩約10分)

バスターミナル発

系統7

系統8 (※)行きのみ

ひとことメモ

「自然村入口」バス停からの便は、2本(9:15、14:00)しかないため、帰り時間の予定を確認しておきましょう。



平久保崎

石垣島最北端でサンゴ礁の海を見下ろす
🚗 平野

バスターミナル発・石垣空港発

系統6 (※) 1日3本

ひとことメモ

平久保崎灯台はバスのフリー乗降区間となっています。バス乗車の際に乗務員へ「平久保崎灯台へ行く」ことを伝えると、バス停以外の灯台最寄り(下写真)で、下ろしてくれます。



帰りも下りた場所でバスを待ち、バスが来たら手を上げてバスを止めると、乗車できるようになっています。バスの出発時刻は、「平野」バス停の時刻のおよそ1分後です。時刻表を確認しておきましょう。

※出典:石垣島トリップアシスト「平久保崎灯台へ路線バスで行く」



御神崎

サンセットスポットとしても名高い景勝地
🚗 崎枝

バスターミナル発

系統9

ひとことメモ

「崎枝」バス停から御神崎までは5kmほどあります!バス停から徒歩で向きたい場合はご注意ください。



玉取崎展望台

ハイビスカスが美しい南国の展望台
🚗 玉取崎(展望台まで徒歩約3分)

バスターミナル発・石垣空港発

系統3

系統6 (※) 1日4本

ひとことメモ

路線バスの本数が少なく、タクシーも常駐していないスポットです。時刻表を確認しておきましょう。



ユージュレナモール

日本最南端のアーケード商店街
🚗 博物館前(系統4:徒歩約3分)、棧橋通り(系統10:徒歩約4分)

石垣空港発

系統4

系統10

ひとことメモ

石垣港離島ターミナルから徒歩で約5分、バスターミナルから徒歩で3分。立地が良いのでお食事にもショッピングにも便利です。



白保海岸

世界最大級のアオサンゴ群落
🚗 白保(海岸まで徒歩約5分)

バスターミナル発

系統3

系統4

系統6

系統10

ひとことメモ

路線バスの本数が少なく、タクシーも常駐していないスポットです。時刻表を確認しておきましょう。



玉取崎展望台



米原ビーチ

米原ビーチ

白砂が美しい、人気の天然ビーチ
🚶 米原キャンプ場(ビーチまで徒歩約3分)

バスターミナル発

系統2 → 系統8 →
系統11 →

石垣空港発

系統3 → 系統11 →

📌 ひとことメモ
路線バスの本数が少ないので、事前に時刻表を確認しておきましょう。

底地ビーチ

遠浅で波も穏やかなマリッジスポット
🚶 川平ロータリー(徒歩約20分)

バスターミナル発

系統9 →

石垣島の観光スポットをめぐるなら「石垣・西表 周遊フリーパス(バス・船)」が便利！
「石垣・西表 周遊フリーパス(バス・船)」はスマートフォンアプリ「乗換案内」から購入いただけます。

乗換案内へ →

「石垣・西表周遊フリーパス(バス・船)」のご利用には、スマートフォンアプリ「乗換案内」の最新バージョン(※)が必要です。
(※)iOS 4.38.0以上、Android v5.18.0以上

公式Twitter →
公式Instagram →

実証実験について

本サービスは、令和4年度沖縄地域MaaS導入推進調査事業(内閣府沖縄総合事務局)の一環として実証的に提供しています。

本件に関するお問い合わせ

【乗換案内アプリやデジタルチケットの購入方法、利用方法等について】
ジョルダン株式会社 モバイルチケットユーザーサポート
ticket-support@jorudan.co.jp
※メールのご返信は「平日の10:00~17:00」の時間内に行わせていただいております。なお、返信までお時間をいただくこともございます。

【事業や実証実験について】
八重山MaaS実証事務局:株式会社オリエンタルコンサルタンツ沖縄支社内
yaeyamaas@oriconsul.com
※メールのご返信は、翌日以降(土日祝日のお問い合わせメールは翌営業日(平日)以降)になる場合があります。

アクセス解析ツールについて

本ページでは、Googleのアクセス解析ツール「Google Analytics」を利用しており、本ページのアクセス情報収集のためにCookieを使用しています。
このアクセス情報は匿名で収集されており、個人を特定するものではありません。
Google AnalyticsのCookieは、自動的に期限切れにならないよう設定されています。Cookieを無効にすることで収集を拒否することが出来ますので、お使いのブラウザの設定や、以下の「Google Analytics オプトアウトアドオン」をご確認ください。

- Google Analytics オプトアウトアドオン
- Google Analytics 利用規約
- Googleのサービスを使用するサイトやアプリから収集した情報のGoogleによる使用

また、当サイトでは、Googleシグナルによるデータ収集を行っています。Googleシグナルでは、Google Analyticsで訪問データが収集されそのデータがログインユーザーのGoogleアカウント情報と個人が特定できない状況下で、関連付けられます。

また、当サイトでは、Googleシグナルによるデータ収集を行っています。Googleシグナルでは、Google Analyticsで訪問データが収集されそのデータがログインユーザーのGoogleアカウント情報と個人が特定できない状況下で、関連付けられます。(ただし、関連付けの対象となるのは、広告のカスタマイズを目的とした、関連付けに同意しているユーザーのみとなります)

・Google、Android、Google Maps、Google Analyticsは、Google LLCの商標です。
・iPhoneは、Apple inc.の登録商標です。iPhone商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
・写真画像提供: ©OCVB ©石垣市観光交流協会

内閣府沖縄総合事務局
©2023 Okinawa General Bureau All Rights Reserved.

・ プレスリリース :

→Yahoo!ニュースなど20以上の媒体で転載

・ 関係者の皆様からの告知等 :

→沖縄観光コンベンションビューロー、八重山ビジターズビューロー、石垣市観光交流協会、竹富町観光交流協会、沖縄県観光振興課等のWEBページ、SNS等における告知

・ リスティング広告 :

→「石垣 バス」「西表 船」等の想定される検索キーワードに対して、Google等の検索結果に連動して表示されるリスティング広告を実施

・ 経路検索バナー :

→ジョルダン乗り換え案内の検索結果に連動し、本造成チケットへのリンクを掲出

(イメージ)



・ ラジオでの告知 :

→東京FMラジオ番組における告知 (2月17日、TOKYO TEPPAN FRIDAY、てっぱんぶらり旅)

・ 石垣空港でのチラシ配布 :

→2月10日-11日かけて、石垣空港のバス停付近で本チケットに関するチラシを配布

関係者の皆様からの告知等



一般の方のSNS等での拡散も (Twitter、ブログ等)

- この前フォロワーさんに教えて頂いた **石垣・西表周遊フリーパス** ほんとお得だから改めて紹介 3/5まで利用できるよ 船だけでなく石垣・西表のバスまで乗り放題 期間中に旅行される方は必見です
- 石垣・西表周遊フリーパスの何が良かったってスマホで行き先ポチポチして画面見せるだけで乗船出来るから、港に2分前に着いても余裕でスムーズに乗船できるの良かったですね
- 3/5までに時間が作れる方は是非。残念ながら、私は行けないのです(;O;)
- 使えるチケットがスマホにずらっと並ぶから最強の気分になれる
- 各離島間のフェリー2社とも乗り放題で石垣島、西表島のバスも乗り放題で3日間7,000円、4日間8,000円、5日間9,000円無敵最強の石垣・西表周遊フリーパス全人類使った方が良い

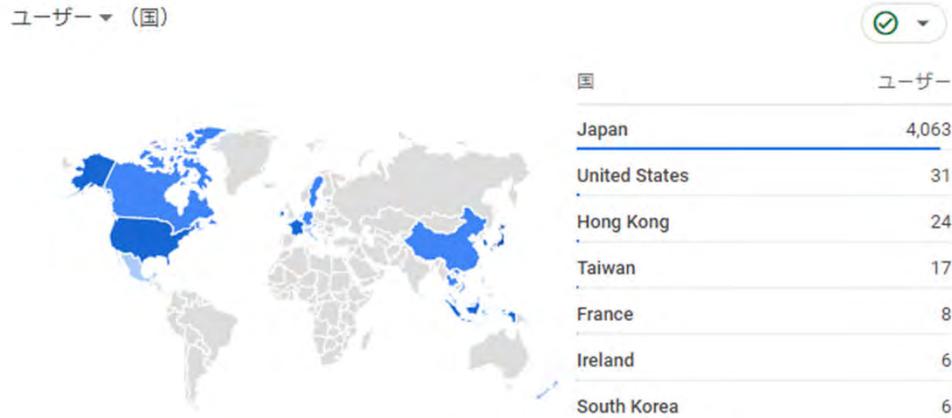
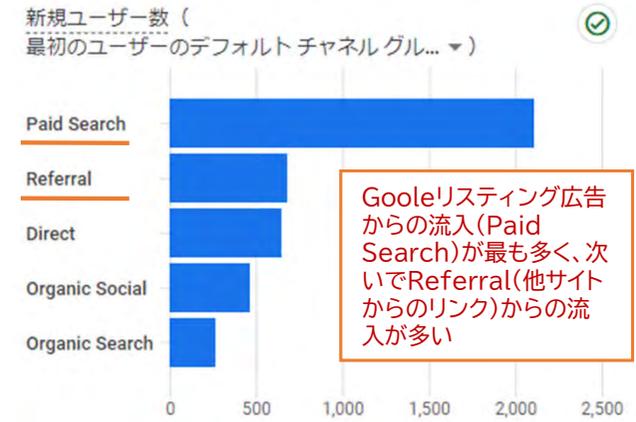
ユーザー 4,186
平均エンゲージメント時間 0分55秒

期間中のPVIは6,462PV。
ユーザー数は4,186人。



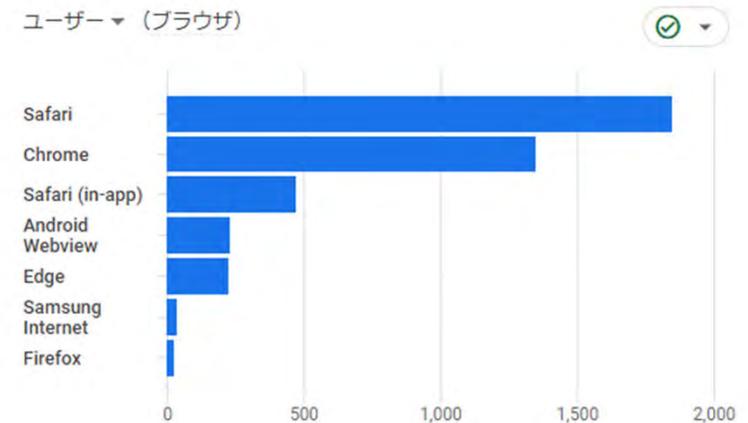
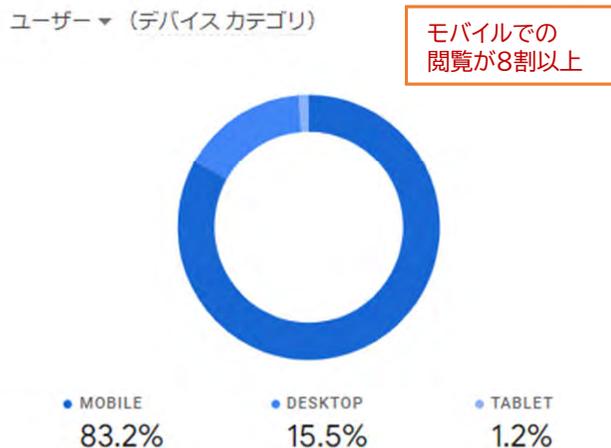
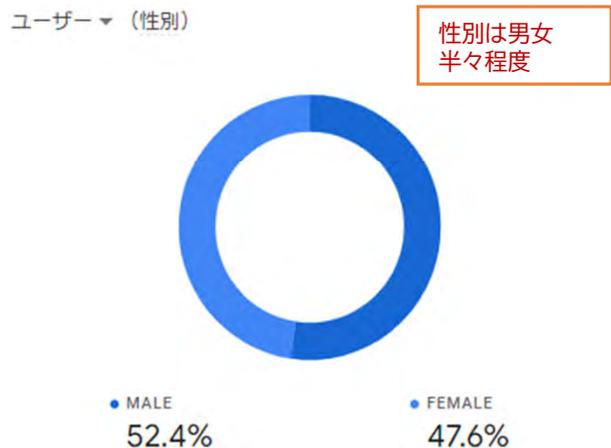
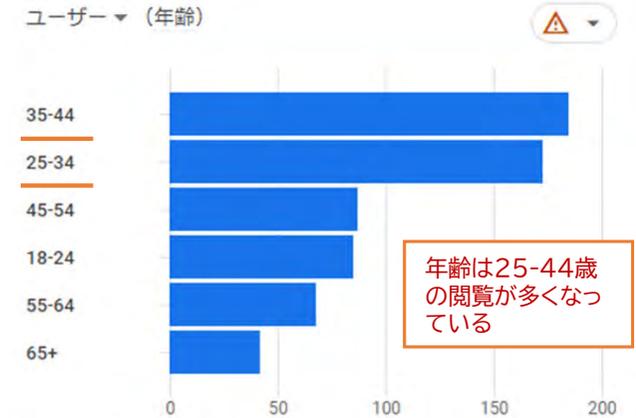
イベント数 (イベント名)

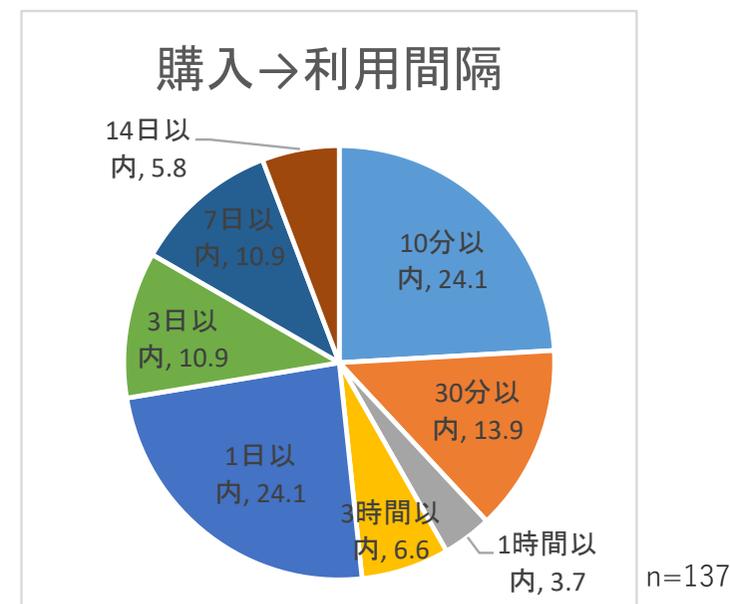
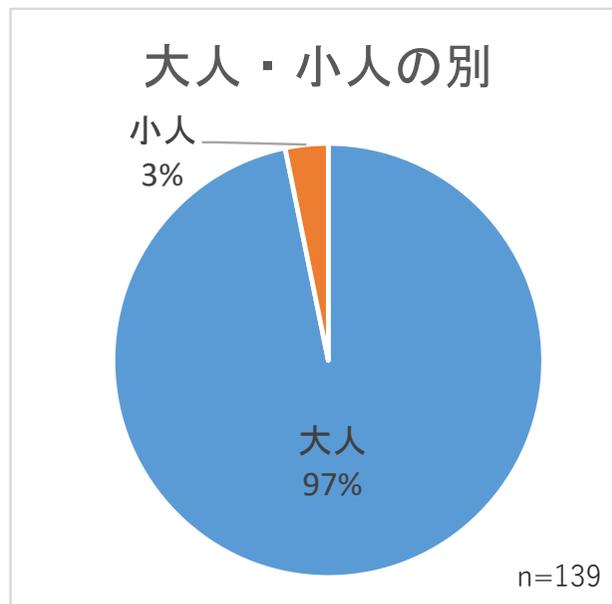
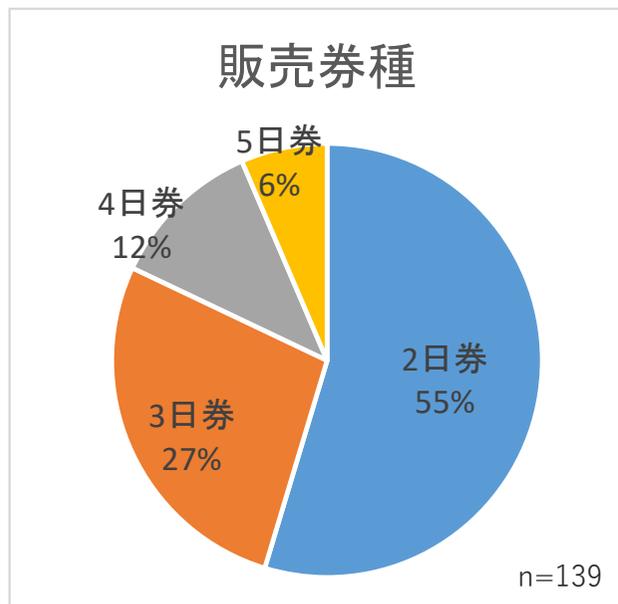
イベント名	イベント数
page_view	6,462
session_start	5,363
first_visit	4,170
user_engagement	2,475
scroll	1,321
click	1,304
file_download	304



ユーザー (市区町村)

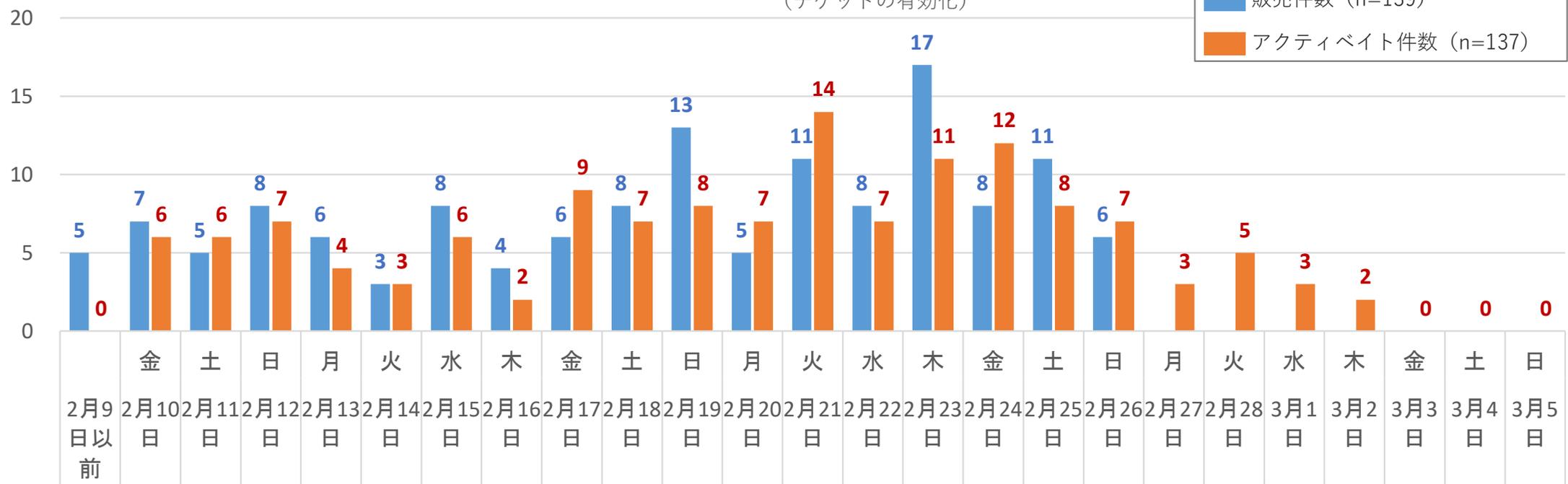
市区町村	ユーザー
Osaka	351
Fukuoka	147
Naha	130
Ishigaki	125
Yokohama	90
Nagoya	89
Kobe	79



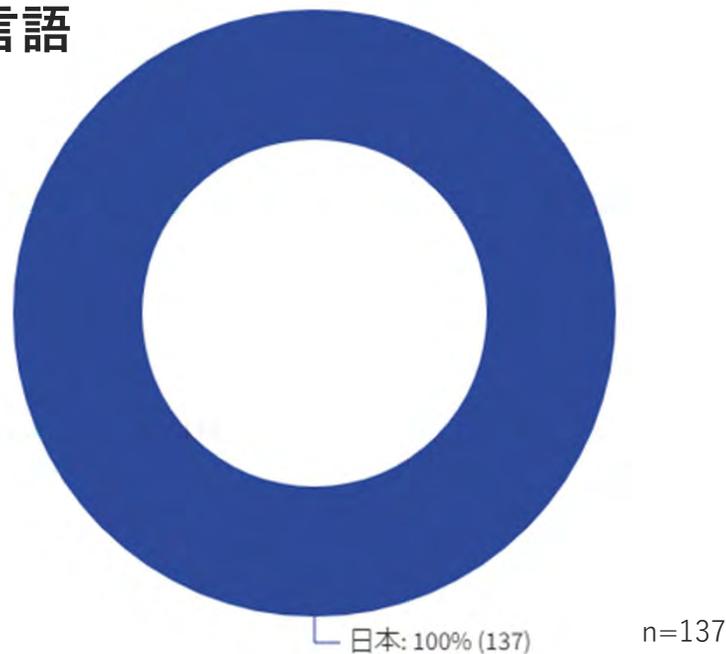


販売件数およびアクティベート件数

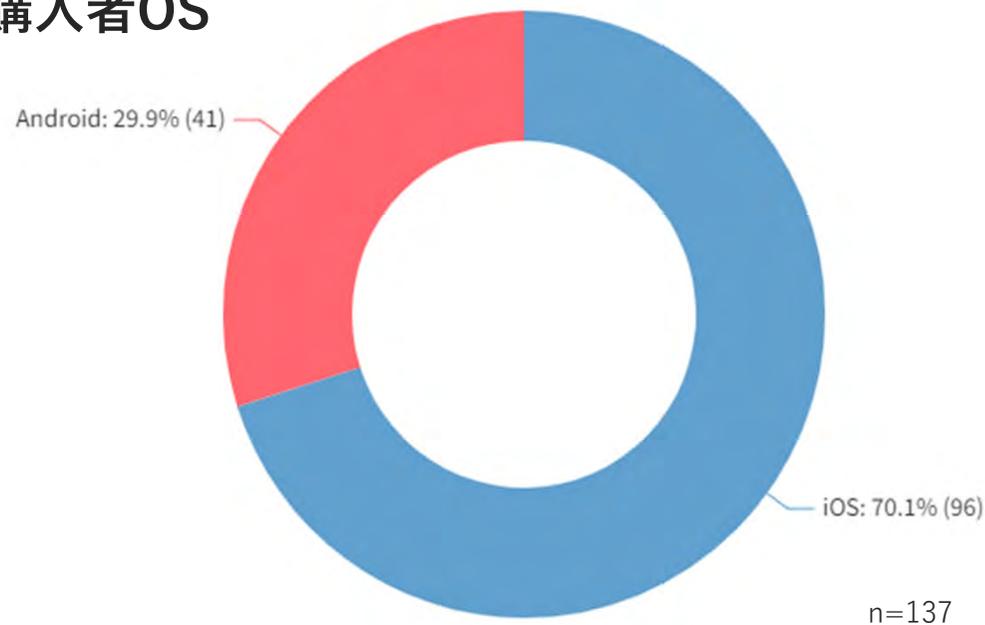
(チケットの有効化)



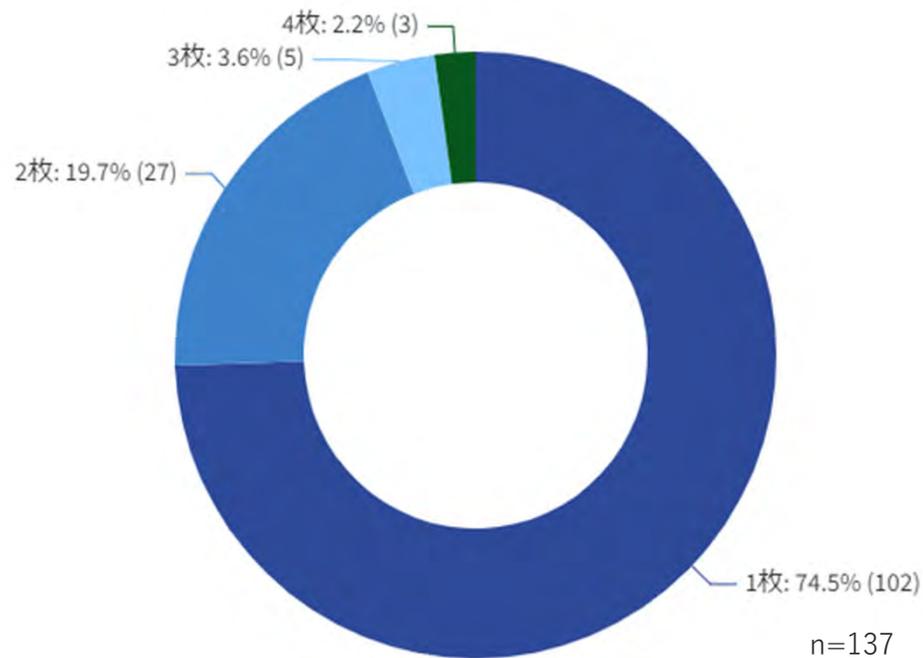
購入者言語



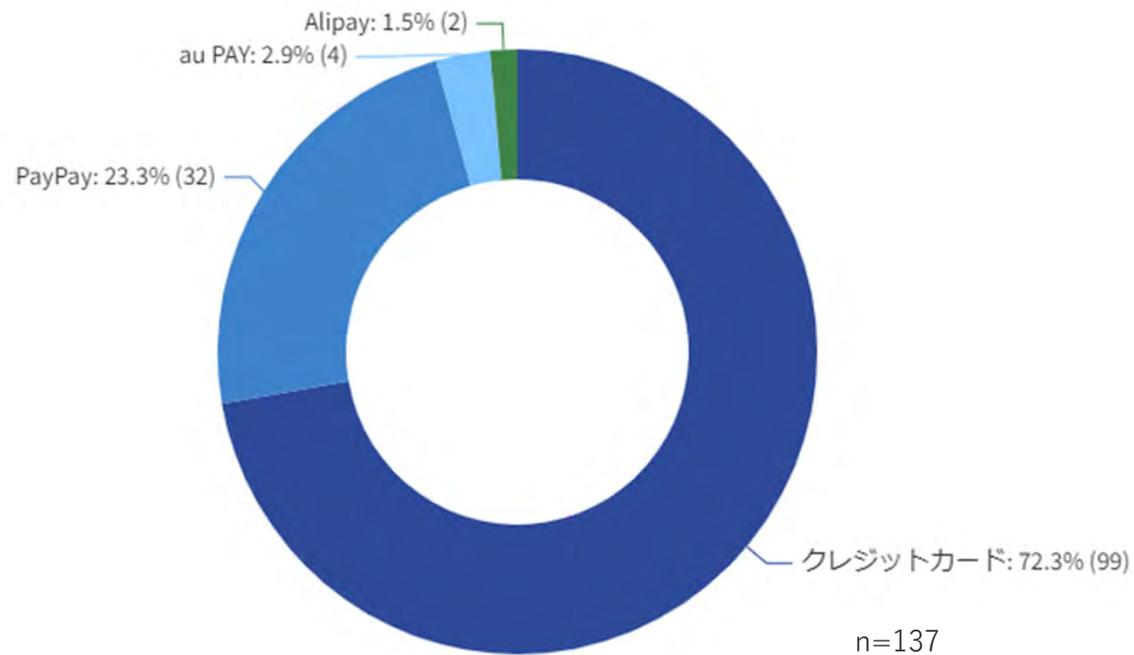
購入者OS

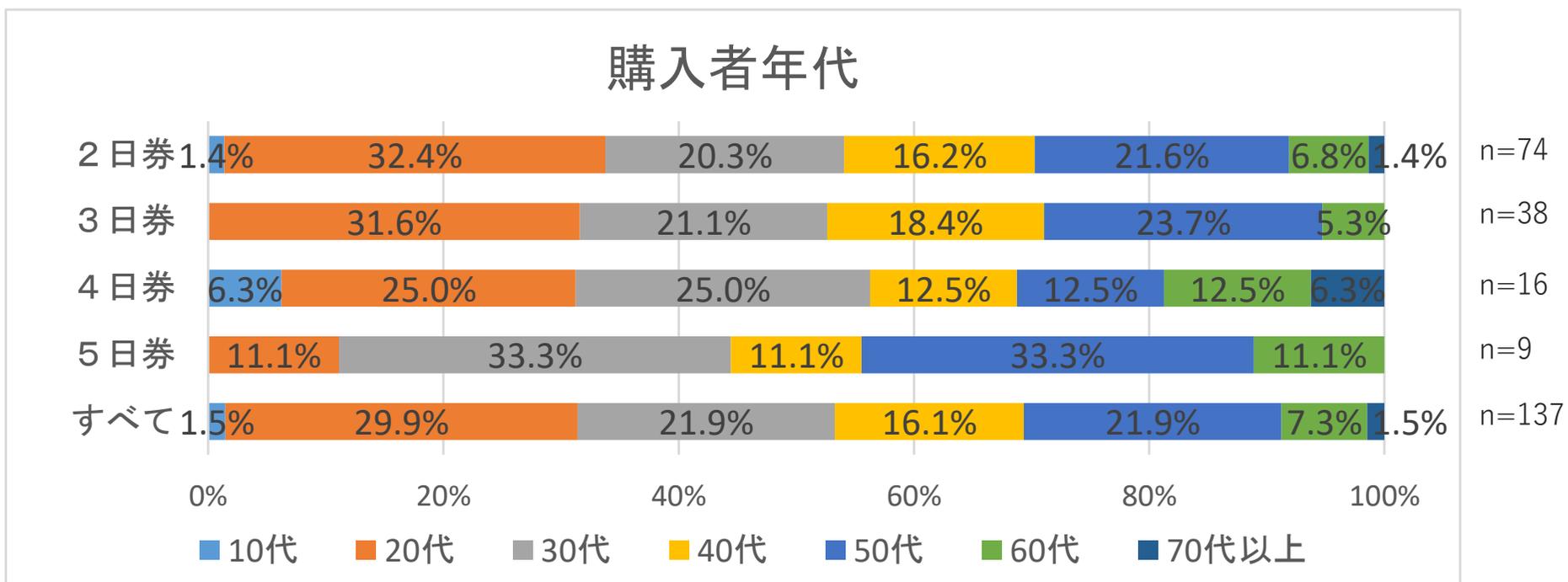
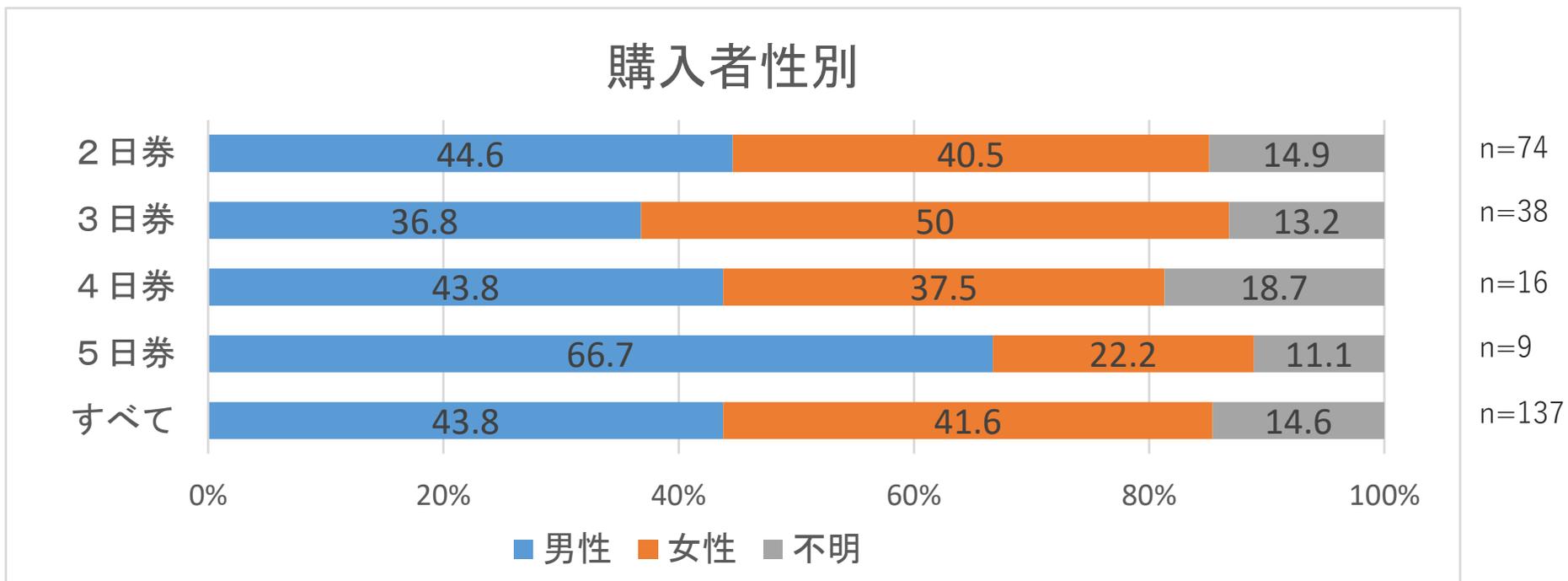


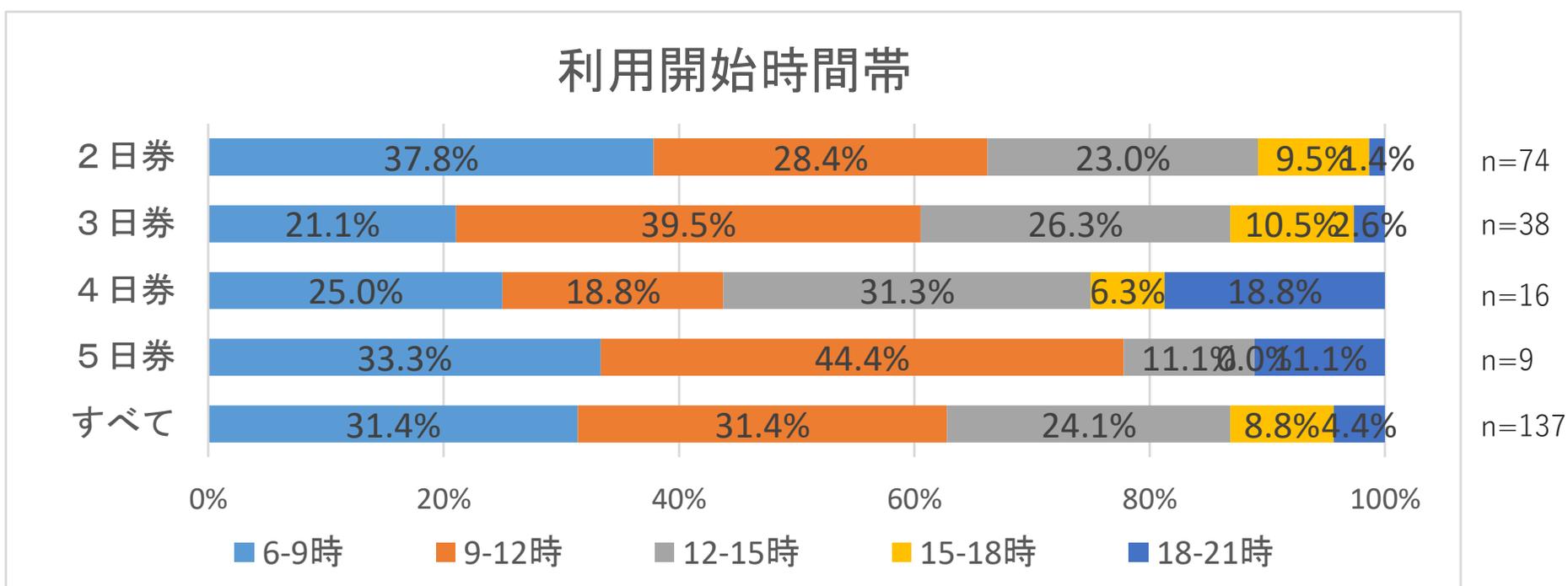
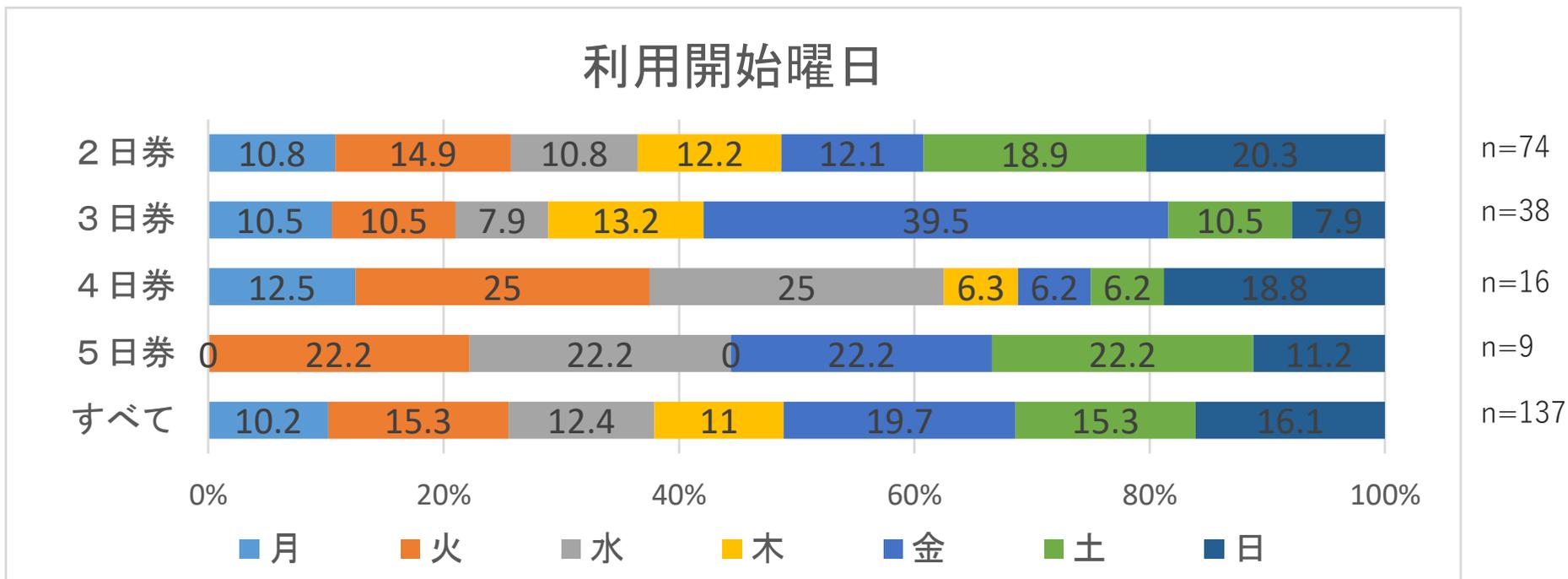
購入同時枚数

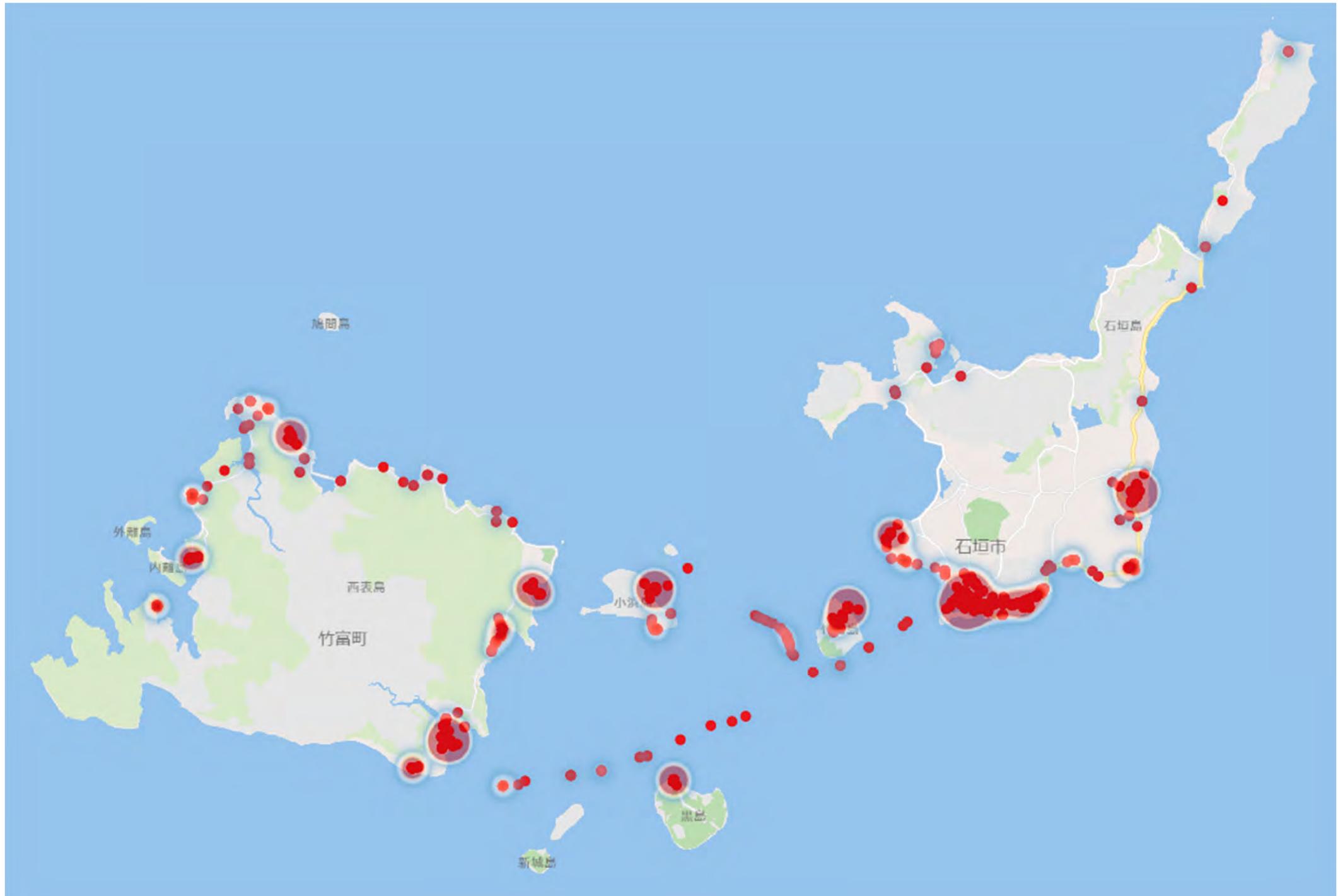


購入決済手段









チケット利用のあった137件のうち、136件が石垣島以外の離島を訪問。
その内訳は以下のとおり。

西表島訪問	123件（90%）
竹富島訪問	104件（76%）
小浜島訪問	73件（53%）
黒島訪問	35件（26%）
鳩間島訪問	2件（1%）

→平均 石垣島 + 2.46 島訪問

石垣島 + 4 島周遊（19件、13.9%）						
西表島	竹富島	小浜島	黒島	鳩間島	件数	割合
●	●	●	●	－	17	12.4%
●	●	●	－	●	1	0.7%
●	－	●	●	●	1	0.7%
石垣島 + 3 島周遊（40件、29.2%）						
西表島	竹富島	小浜島	黒島	鳩間島	件数	割合
●	●	●	－	－	29	21.2%
●	●	－	●	－	5	3.6%
●	－	●	●	－	4	2.9%
－	●	●	●	－	2	1.5%
石垣島 + 2 島周遊（64件、46.7%）						
西表島	竹富島	小浜島	黒島	鳩間島	件数	割合
●	●	－	－	－	39	28.5%
●	－	●	－	－	11	8.0%
－	●	●	－	－	8	5.8%
●	－	－	●	－	6	4.4%
石垣島 + 1 島周遊（13件、9.5%）						
西表島	竹富島	小浜島	黒島	鳩間島	件数	割合
●	－	－	－	－	10	7.3%
－	●	－	－	－	3	2.2%

3位

2位

1位

4位

5位

チケット利用のあった137件のうち、各者ごとの利用件数、割合を以下に示す。

石垣島路線バス	東運輸 カリー観光	117件 (85%) うち東運輸 94件 (69%) うちカリー観光 47件 (34%)
離島間定期航路	安栄観光 八重山観光フェリー	136件 (99%) うち安栄観光 120件 (88%) うち八重山観光 129件 (94%)
離島内バス	西表島交通	67件 (49%)
離島内船	船浮海運	14件 (10%)

東運輸				
		大人	小人	計
空港－離島ターミナル	片道	48	2	50
	往復	14	0	14
フリーパス	1日	31	1	32
	5日	43	0	43
計		136	3	139
カリー観光				
		大人	小人	計
空港－離島ターミナル	片道	43	1	44
	往復	20	0	20
計		63	1	64
西表島交通				
		大人	小人	計
フリーパス	1日	69	1	70
	3日	15	0	15
計		84	1	85
船浮海運				
		大人	小人	計
白浜－船浮	往復	17	0	17

航路	合計		安栄観光		八重山観光フェリー	
	大人枚数	子ども枚数	大人枚数	子ども枚数	大人枚数	子ども枚数
石垣⇒大原（西表島）	131	3	49	0	82	3
大原（西表島）⇒石垣	99	3	52	3	47	0
石垣⇒上原（西表島）	38	1	22	0	16	1
上原（西表島）⇒石垣	23	0	15	0	8	0
石垣⇒竹富島	119	6	28	1	91	5
竹富島⇒石垣	148	6	63	2	85	4
石垣⇒小浜島	91	4	22	2	69	2
小浜島⇒石垣	98	5	24	0	74	5
石垣⇒黒島	39	0	19	0	20	0
黒島⇒石垣	38	0	15	0	23	0
石垣⇒鳩間島	1	0	1	0		
鳩間島⇒石垣	2	0	1	0	1	0
大原（西表島）⇒小浜島	15	1	15	1		
大原（西表島）⇒竹富島	24	0	17	0	7	0
大原（西表島）⇒黒島	2	0	2	0		
黒島⇒大原（西表島）	3	0	3	0		
小浜島⇒竹富島	7	0	7	0		
竹富島⇒黒島	2	0	2	0		
上原（西表島）⇒鳩間島	1	0	1	0		
総計	881	29	358	9	523	20

今後の自走を見据えて、①今回の利用実績データより各交通機関の利用が通常運賃だった場合の金額を算出、各社ごとに集計し、②通常運賃の合計額とMaaSチケットの売上合計額より調整比率を算出。③各社の通常金額に調整比率を乗じることで、実績に応じた配分金額の試算を行った。

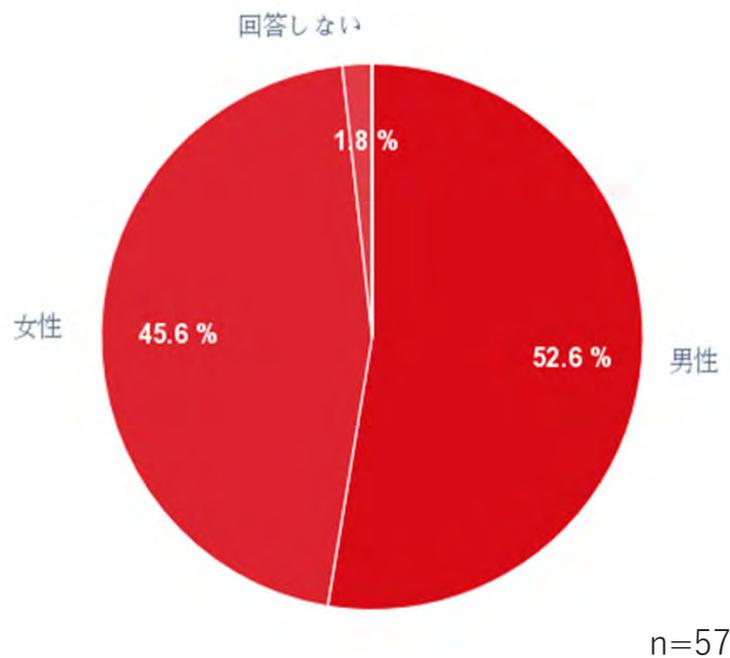
→今回の調整比率は通常金額の合計に対してMaaSチケットの比率が**69.8%**という結果となった。事業者からは「この比率が**80%以上**、できれば**90%以上**になるような料金設定がよいのではないか」「閑散期はこの数字でよいかもしれないが繁忙期はもう少しあがるような料金設定とした方がよい」等の意見や、有識者からは「通常料金よりも減っている、ではなく、このパスがあることによる需要喚起という部分を踏まえたうえで、観光客が利用することで収益が上がり、地元の人たちの足の確保にもつながるという視点が重要」等の意見があがっており、次年度以降の取組において引き続き検討していく必要がある。

	通常金額の合計		実績に応じた配分金額
東運輸	157,960	× 0.698	110,284
カリー観光	39,750		27,753
安栄観光	584,770		408,274
八重山観光フェリー	763,270		532,899
西表島交通	96,530		67,395
船浮海運	16,320		11,395
合計 (A)	1,658,600		1,158,000
チケット売上 (B)	1,158,000		
調整比率 (B/A)	69.8%		

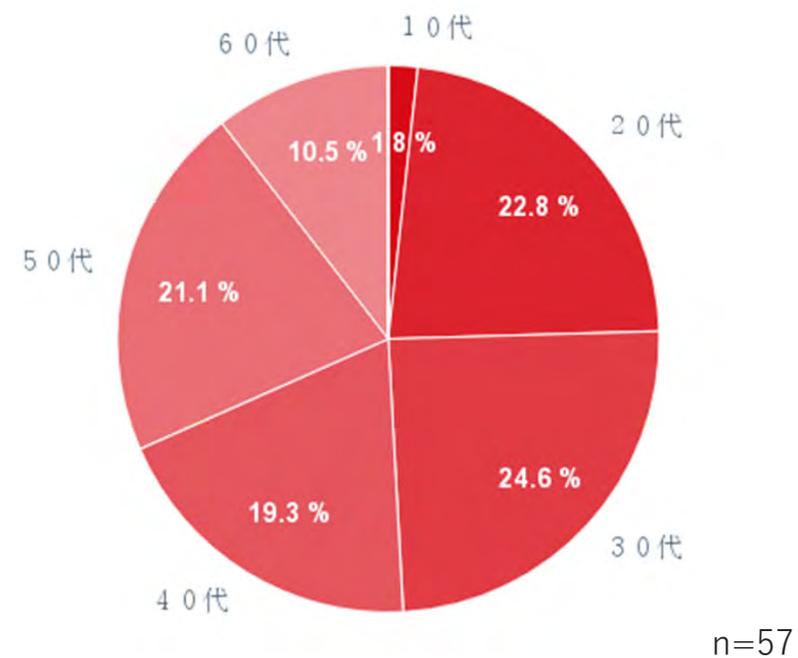
※安栄観光、八重山観光フェリーは片道運賃適用

2. 4 効果検証調査

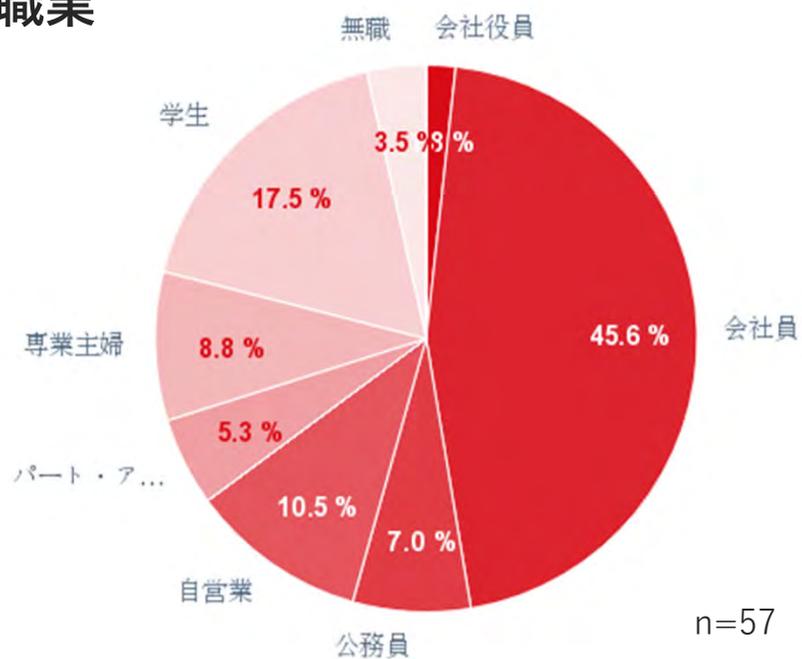
性別



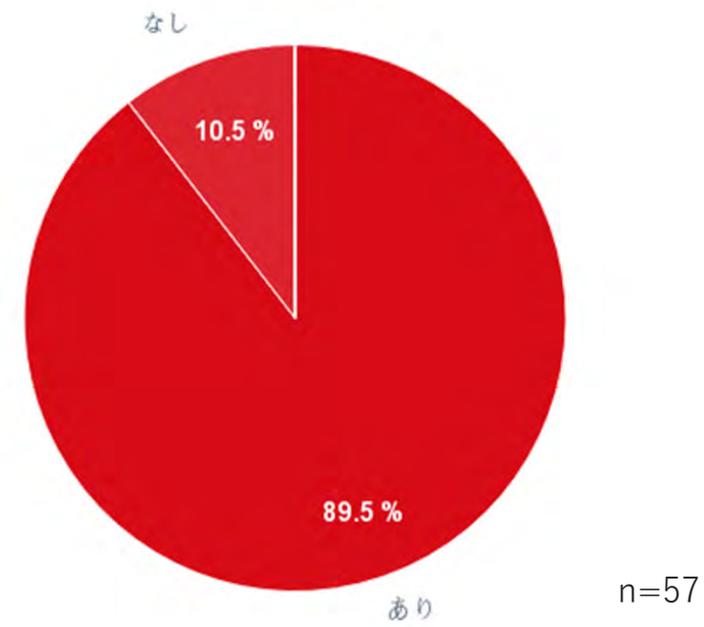
年代



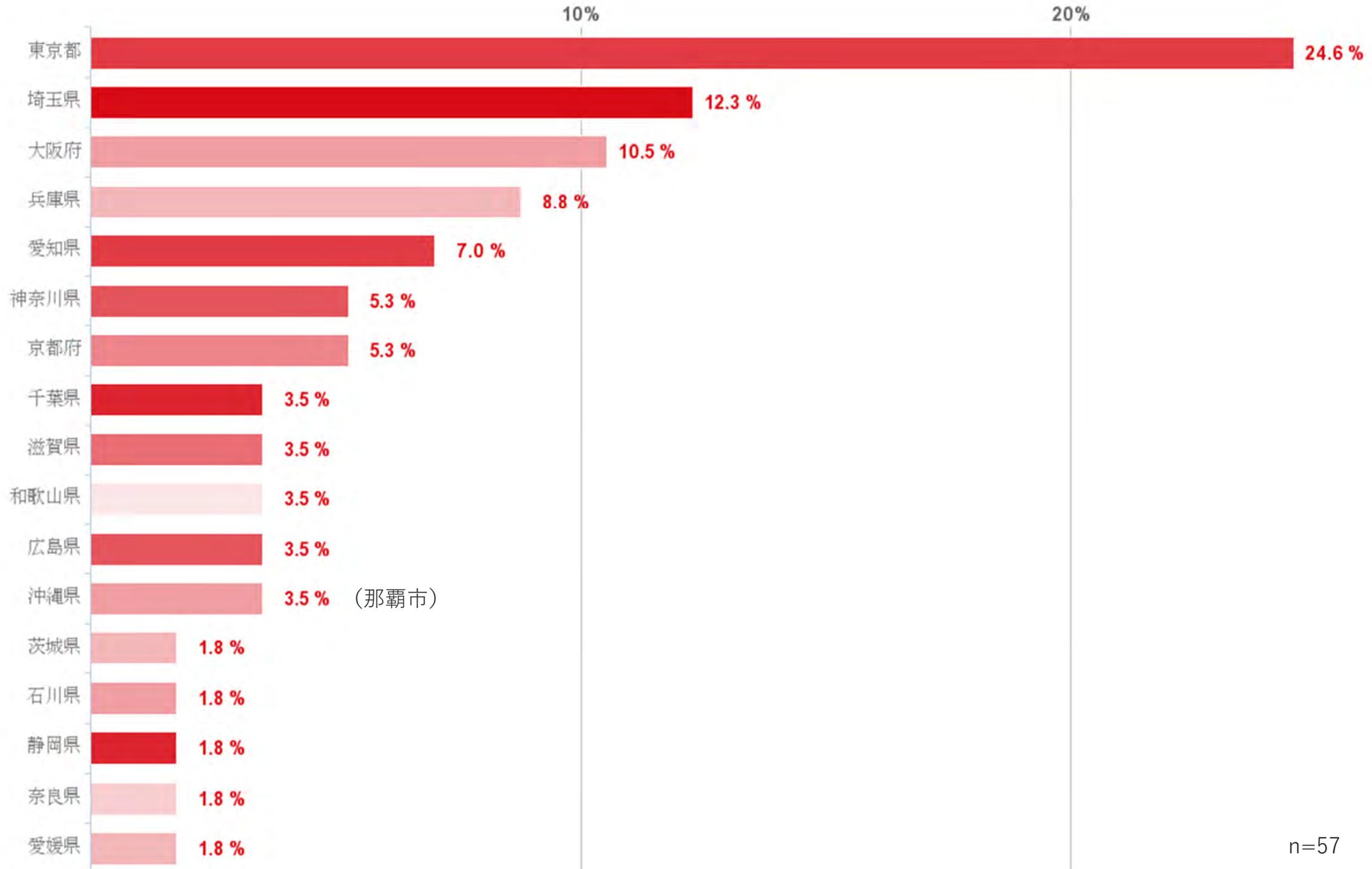
職業



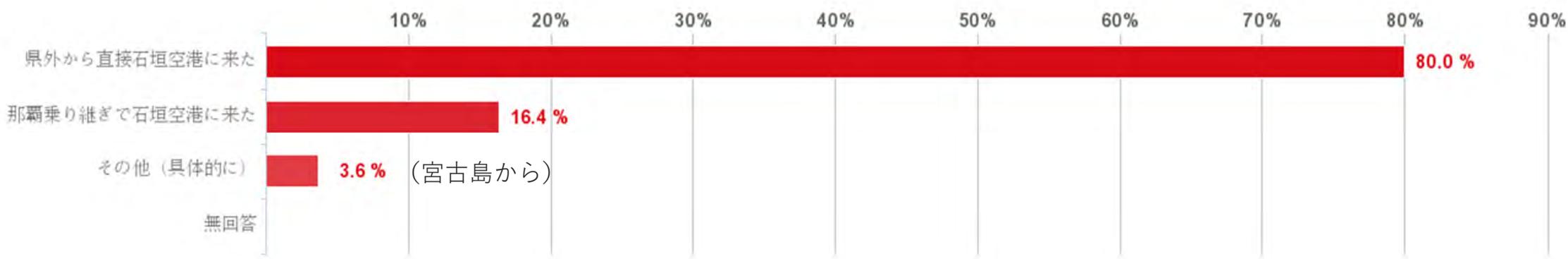
運転免許の保有



居住地

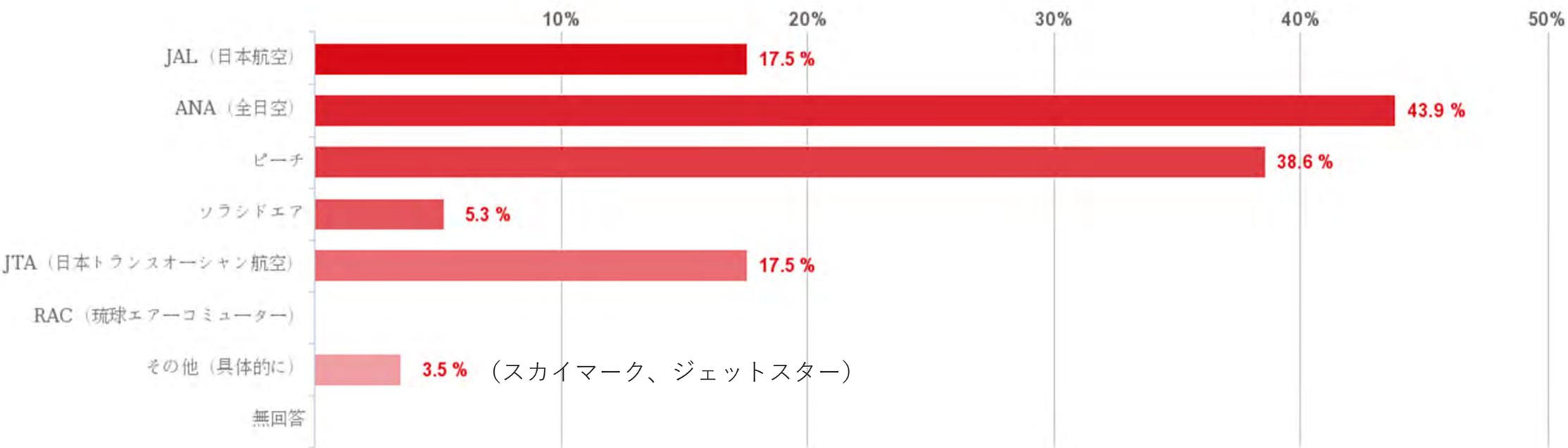


石垣空港までの移動方法



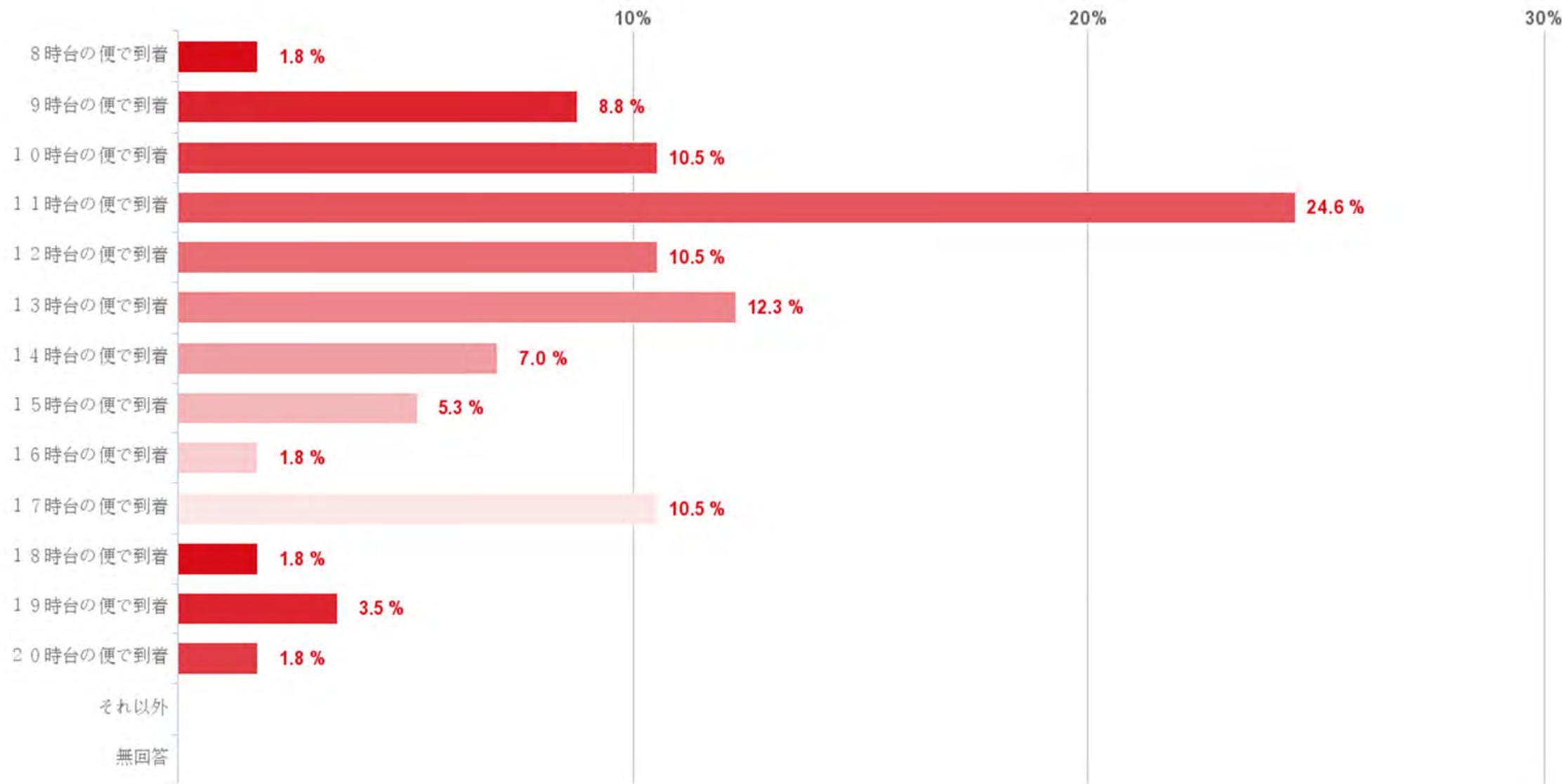
n=57

行き・帰りで利用した航空会社

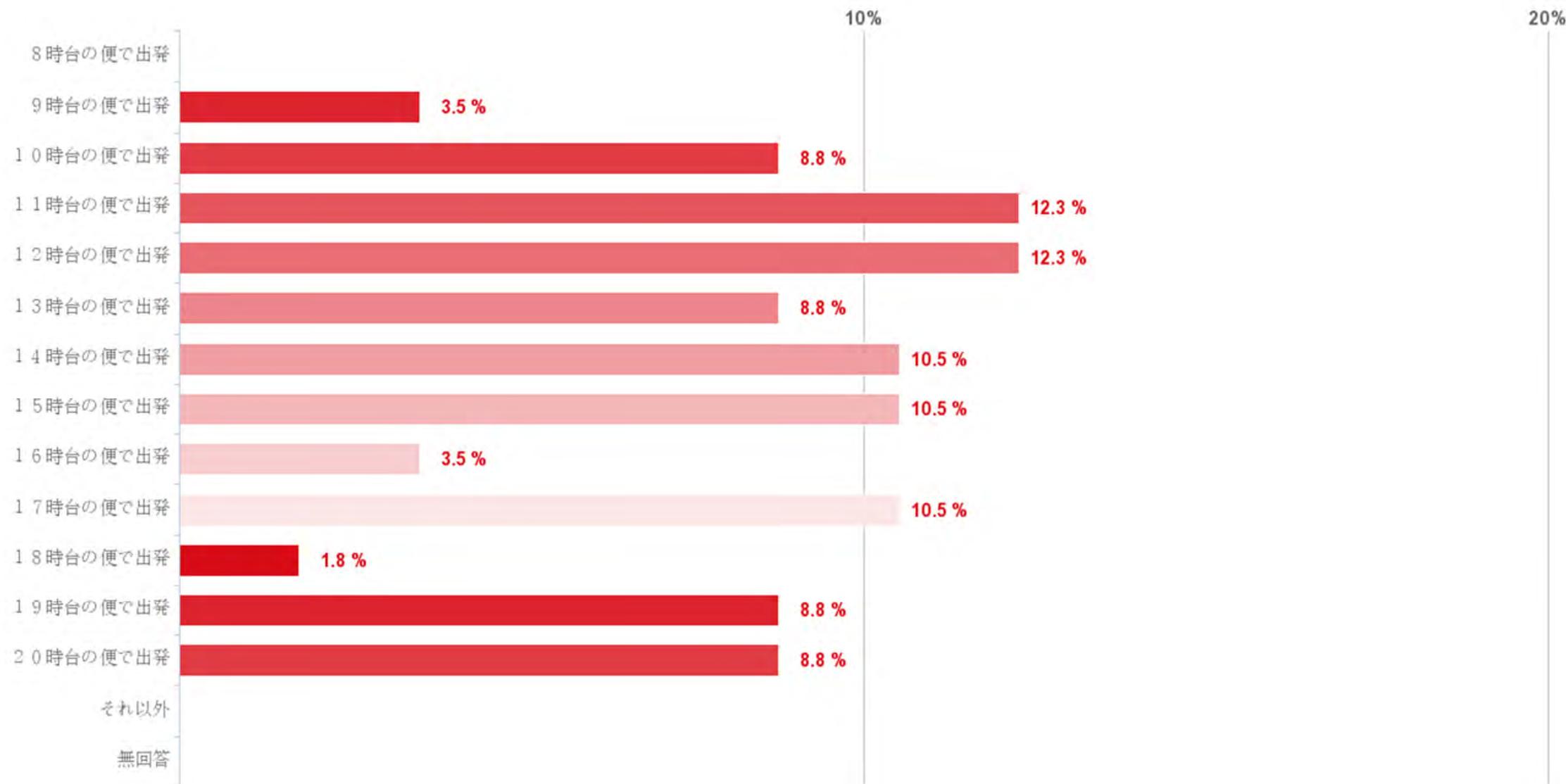


n=57

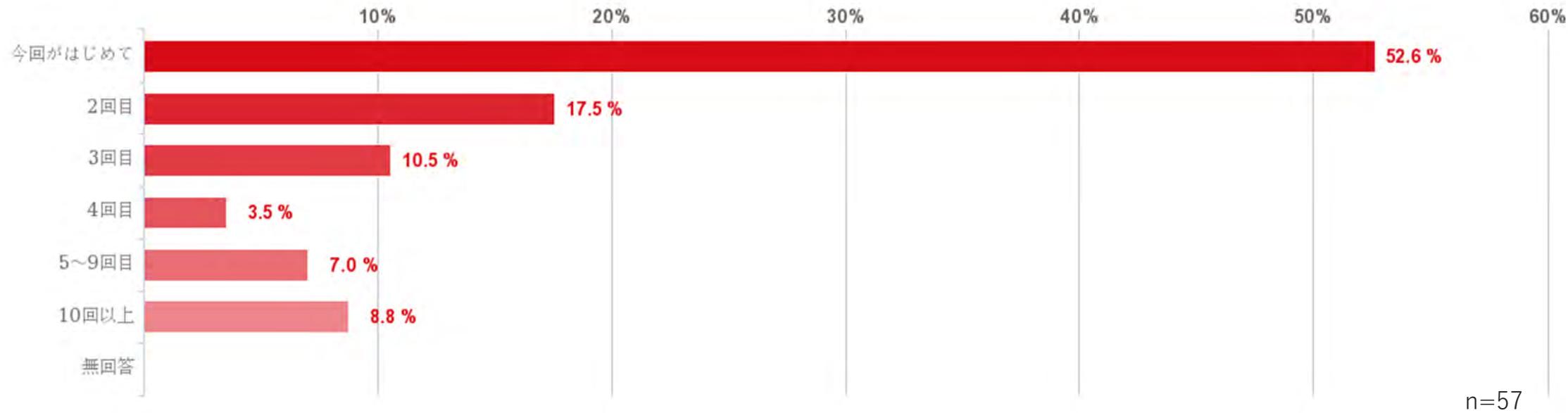
石垣空港への到着時刻



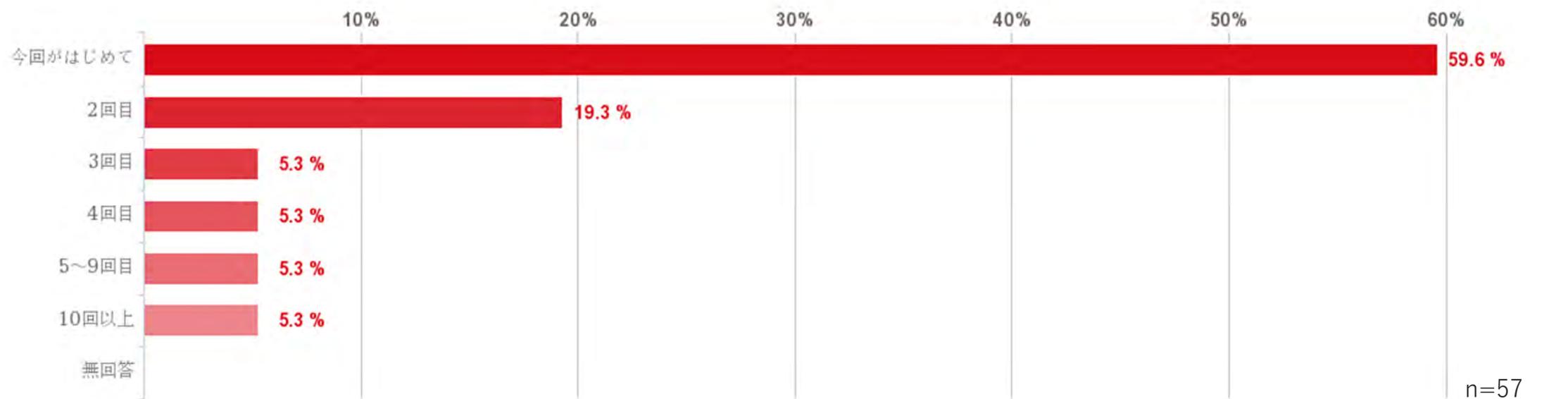
石垣空港からの出発時刻



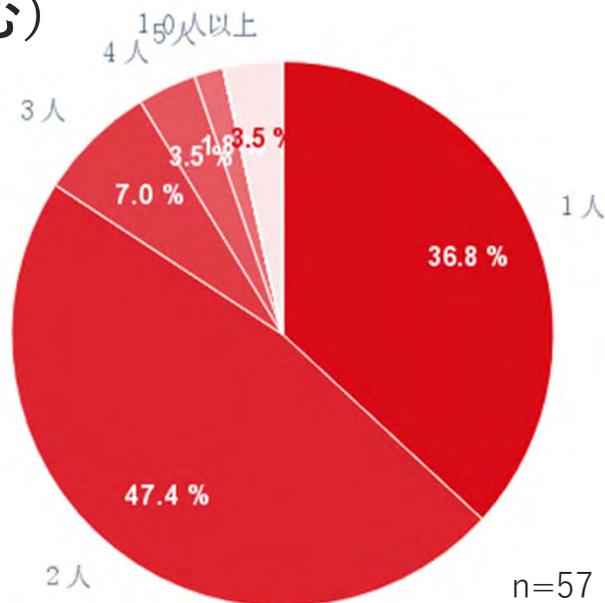
石垣市（石垣島）への来訪経験



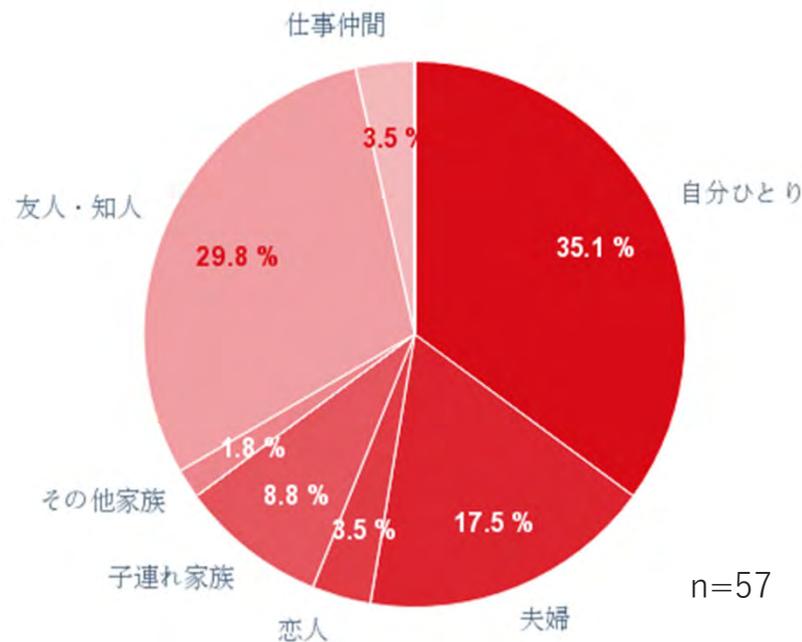
竹富町（竹富島、西表島、小浜島、黒島等）への来訪経験



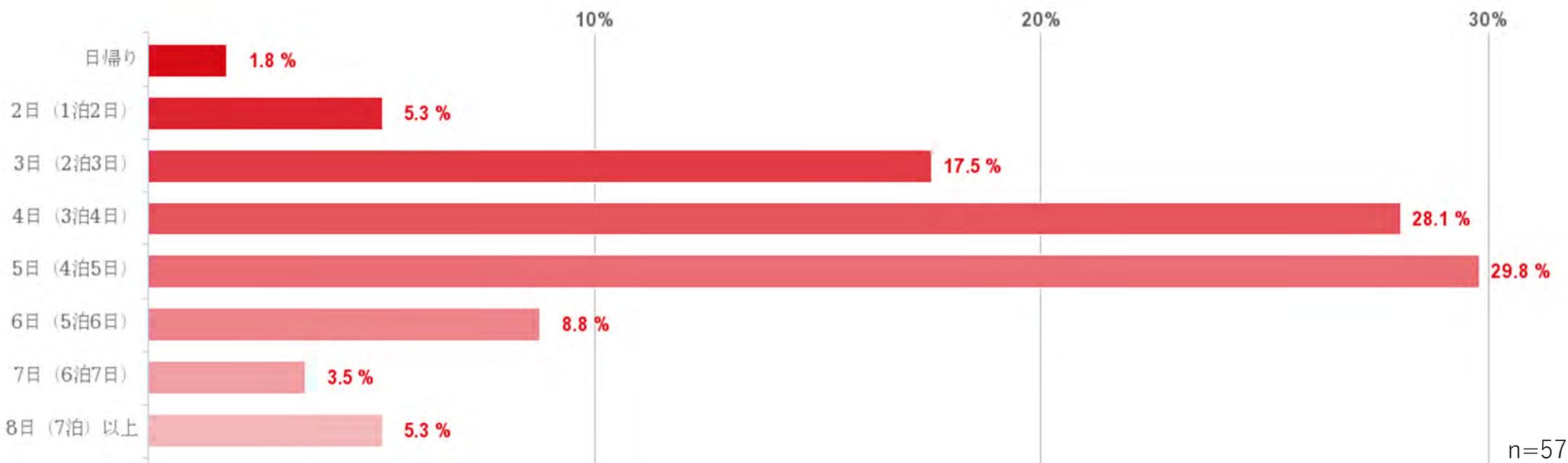
同行人数 (自身含む)



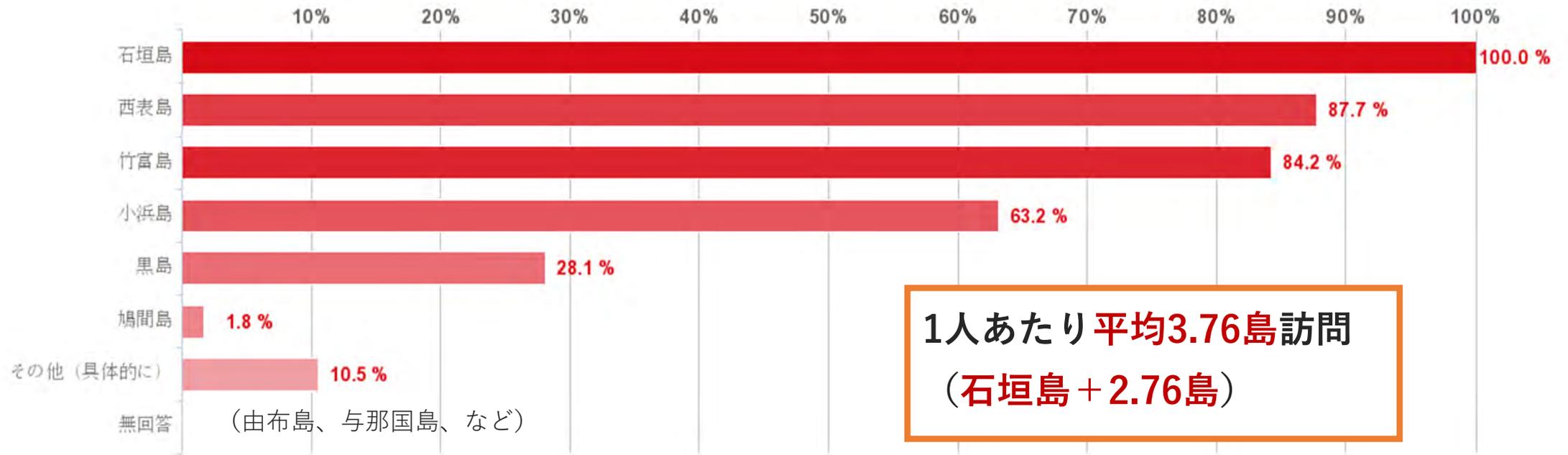
同行者との関係



八重山諸島での滞在日数

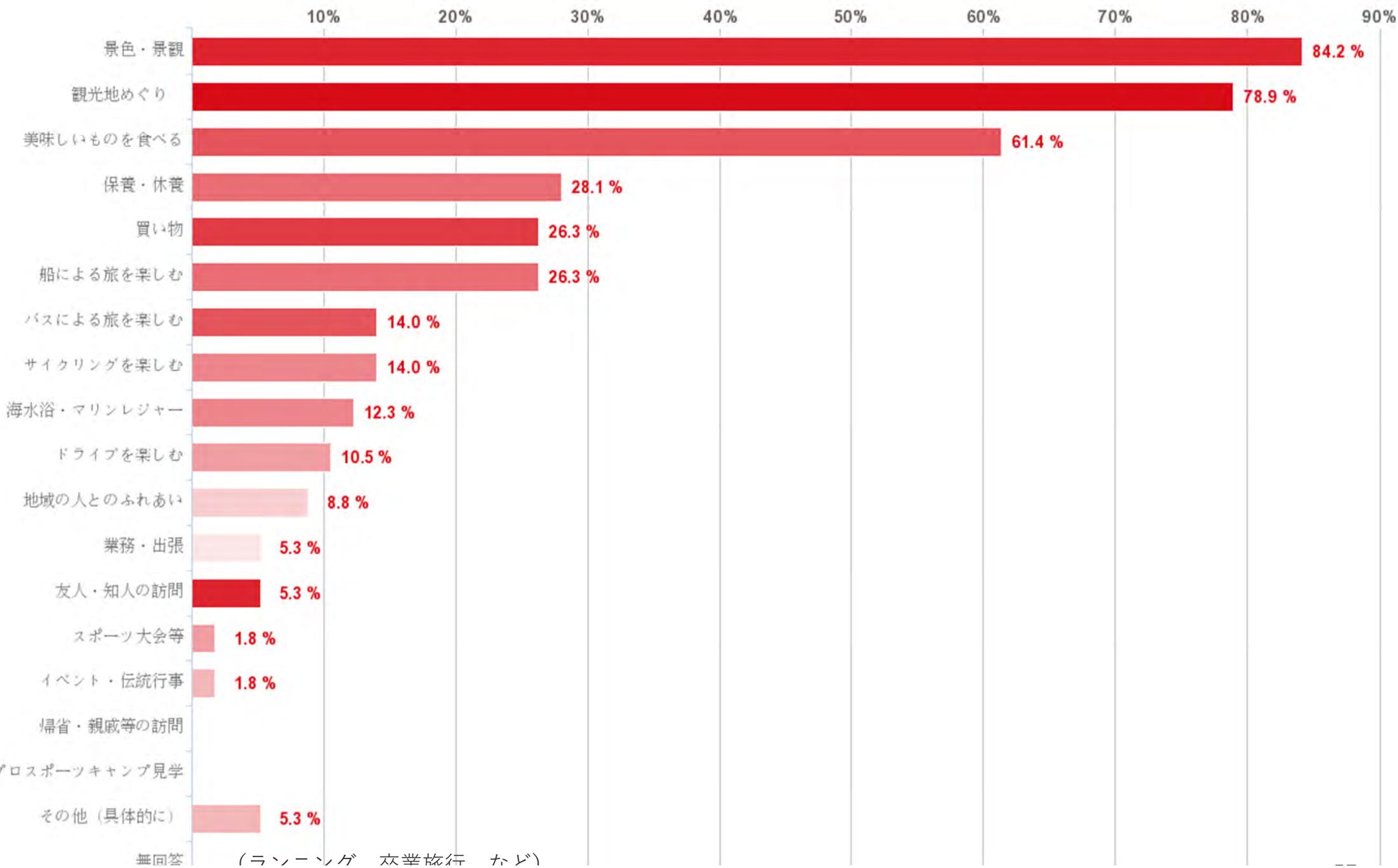


来訪した島

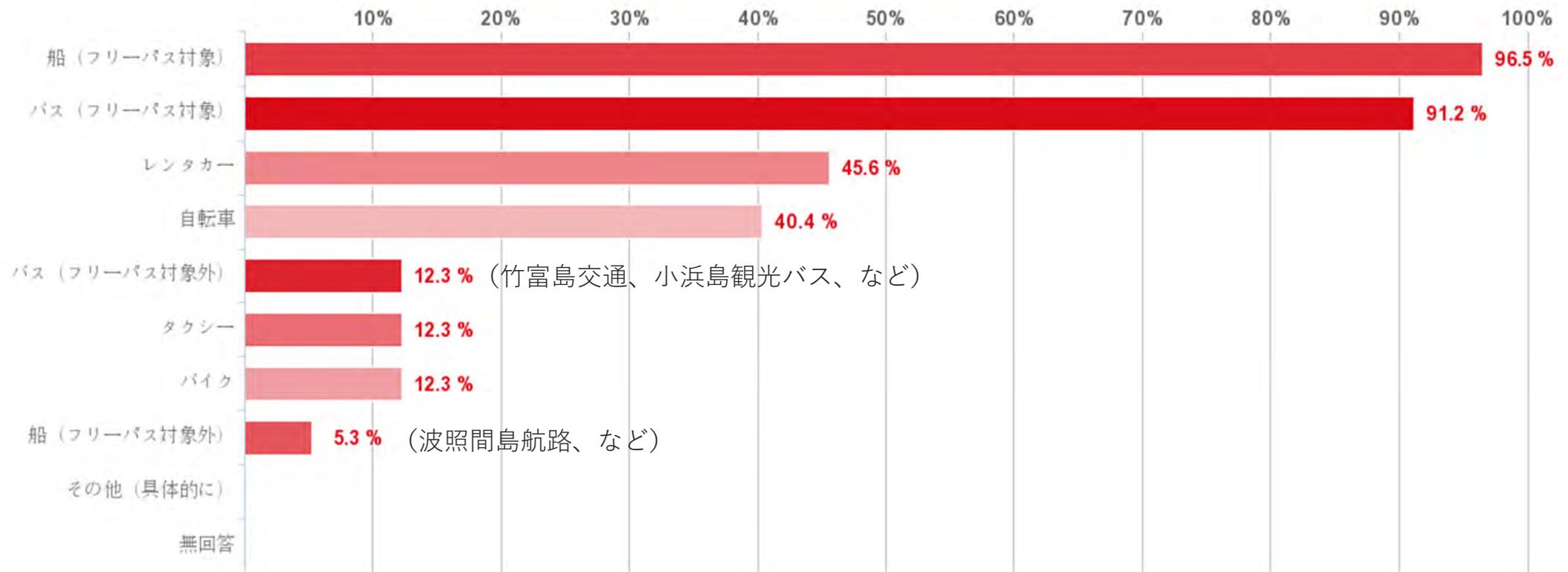


n=57

旅行の目的

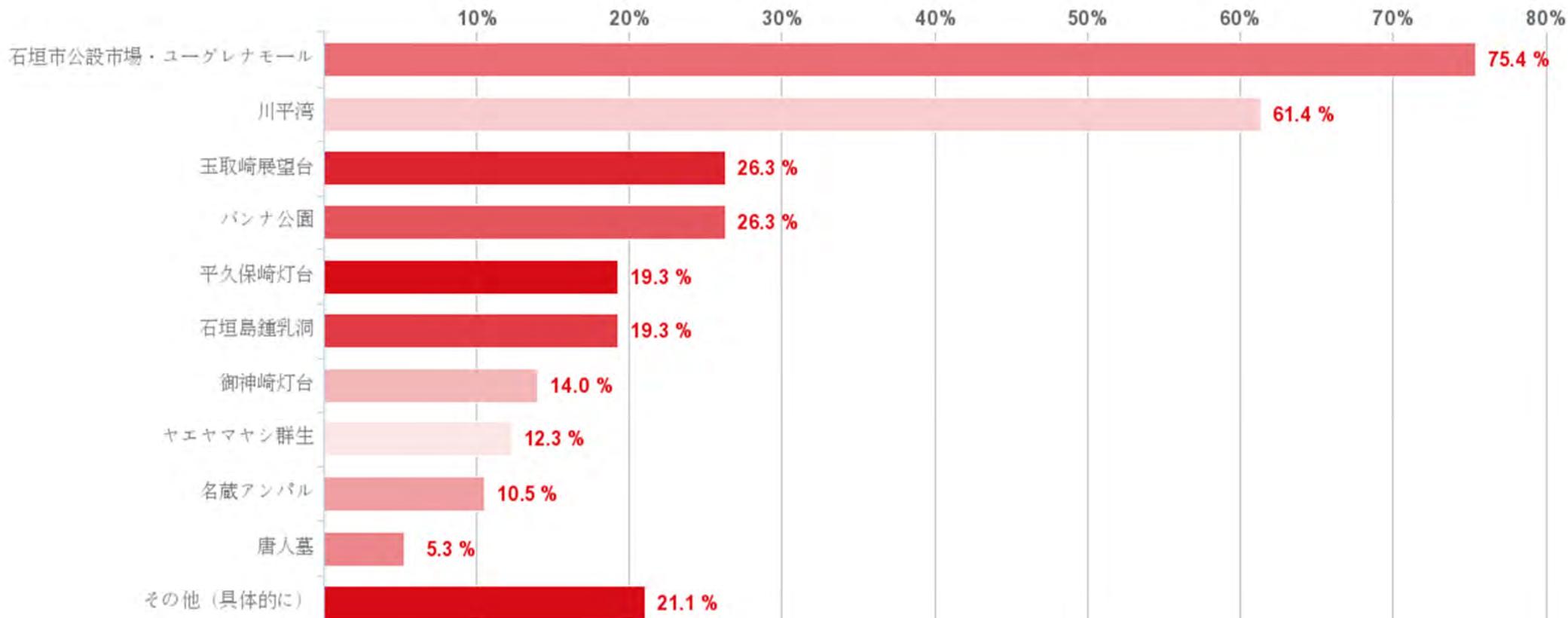


利用した交通機関



n=57

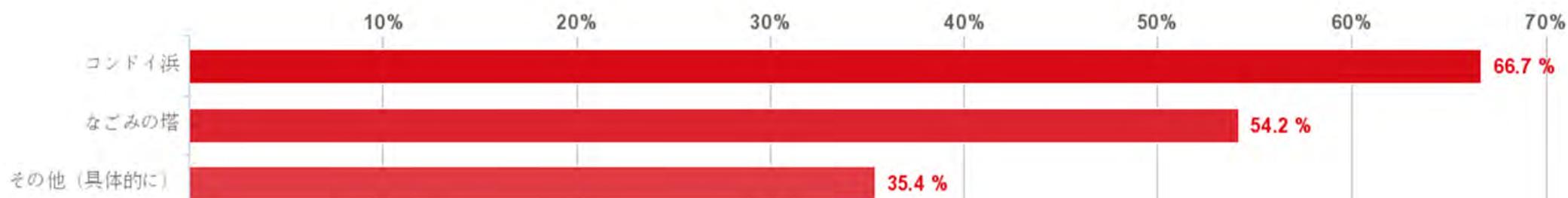
訪問場所（石垣島）



（やいま村、米原ヤエヤマヤシ群落、白保海岸、多田浜海岸、米原ビーチ、桃林寺、バスで島一周、など）

n=57

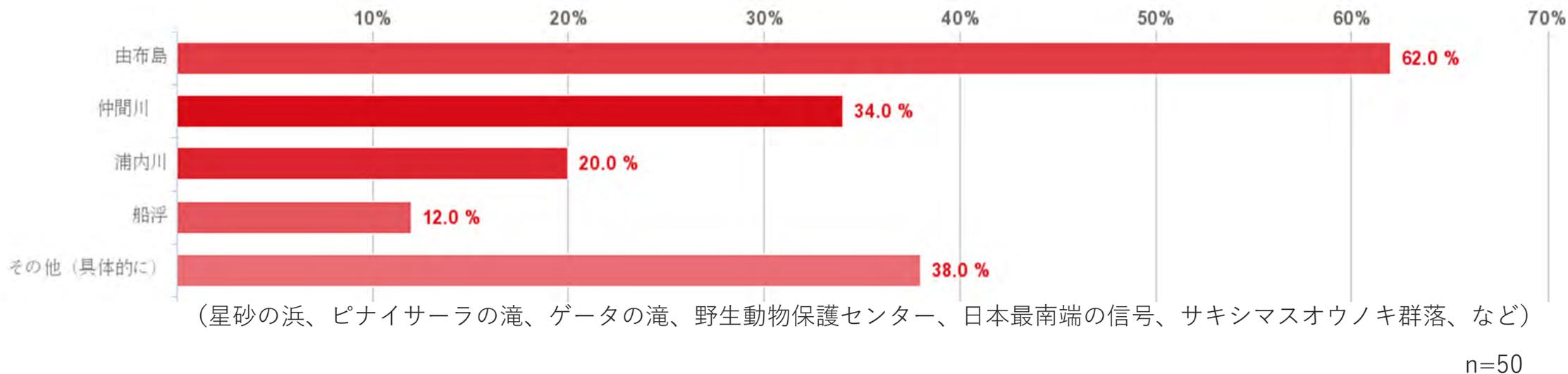
訪問場所（竹富島）



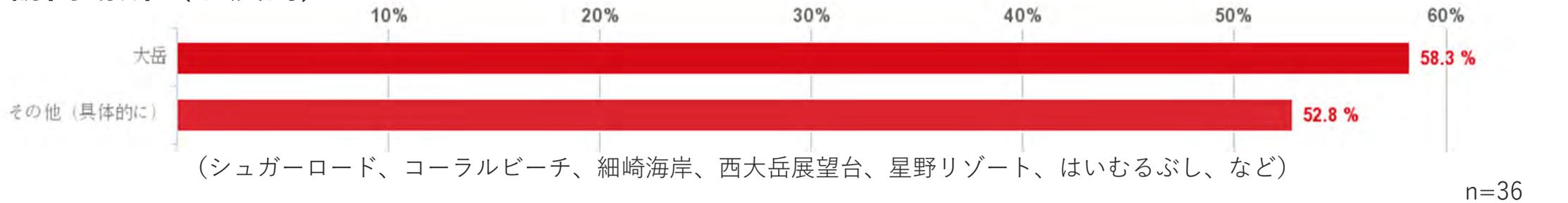
（星砂の浜(カイジ浜)、西棧橋、水牛観光、集落散策、など）

n=48

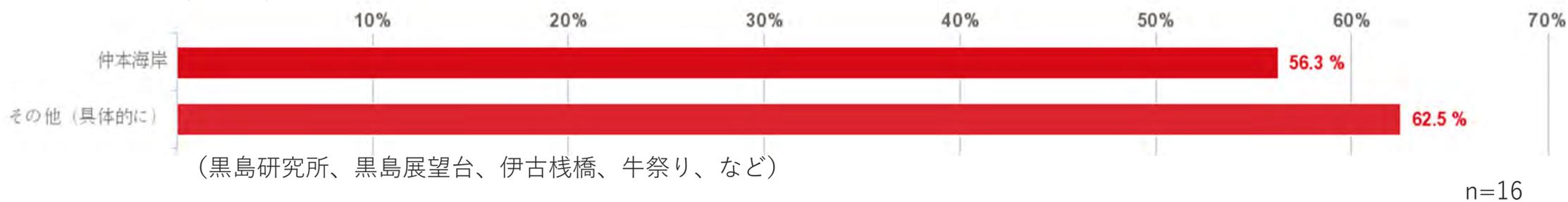
訪問場所（西表島）



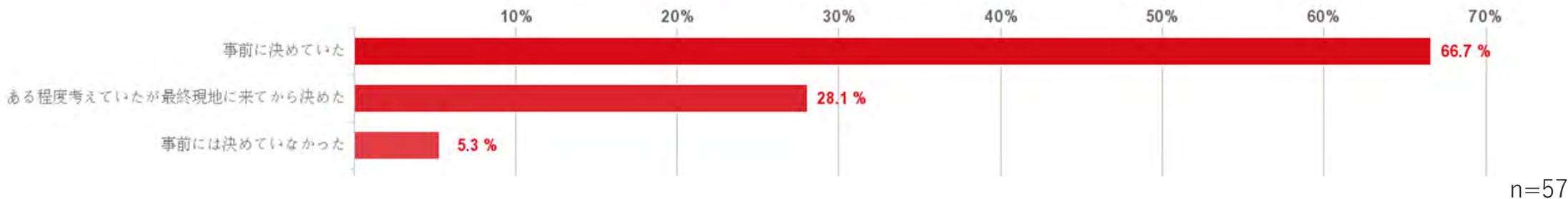
訪問場所（小浜島）



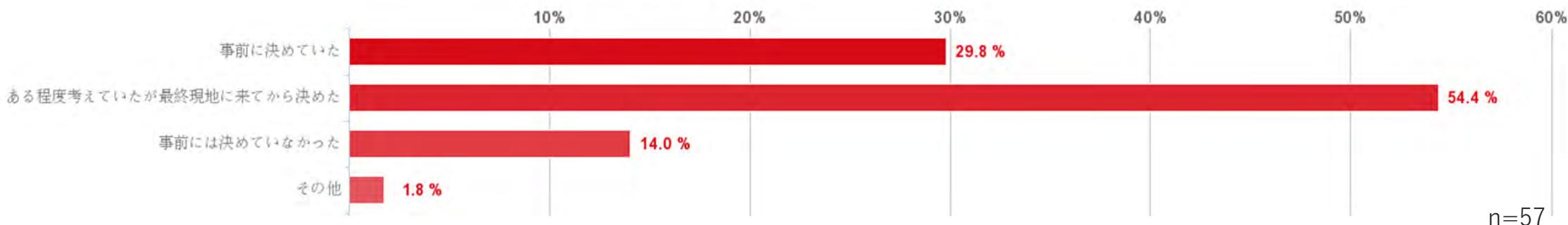
訪問場所（黒島）



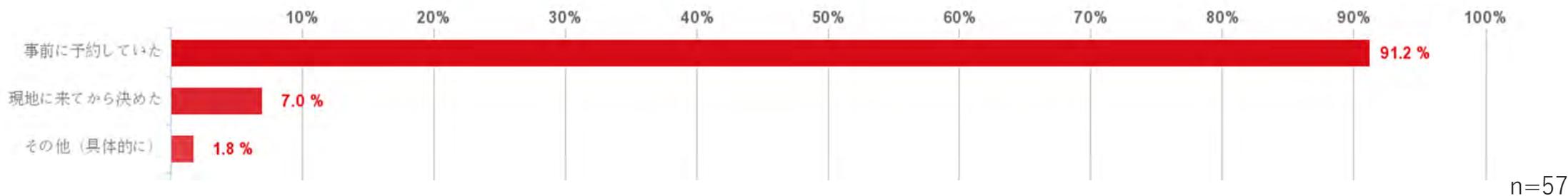
旅行前に滞在日数を決めていたか



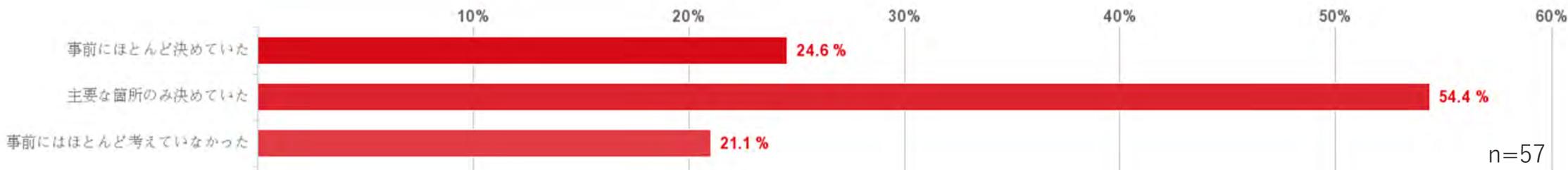
旅行前に訪問する島を決めていたか



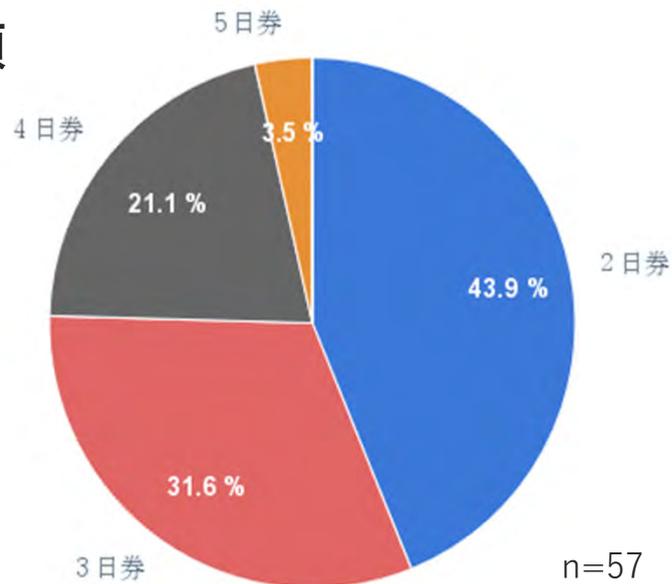
旅行前に宿泊先を決めていたか



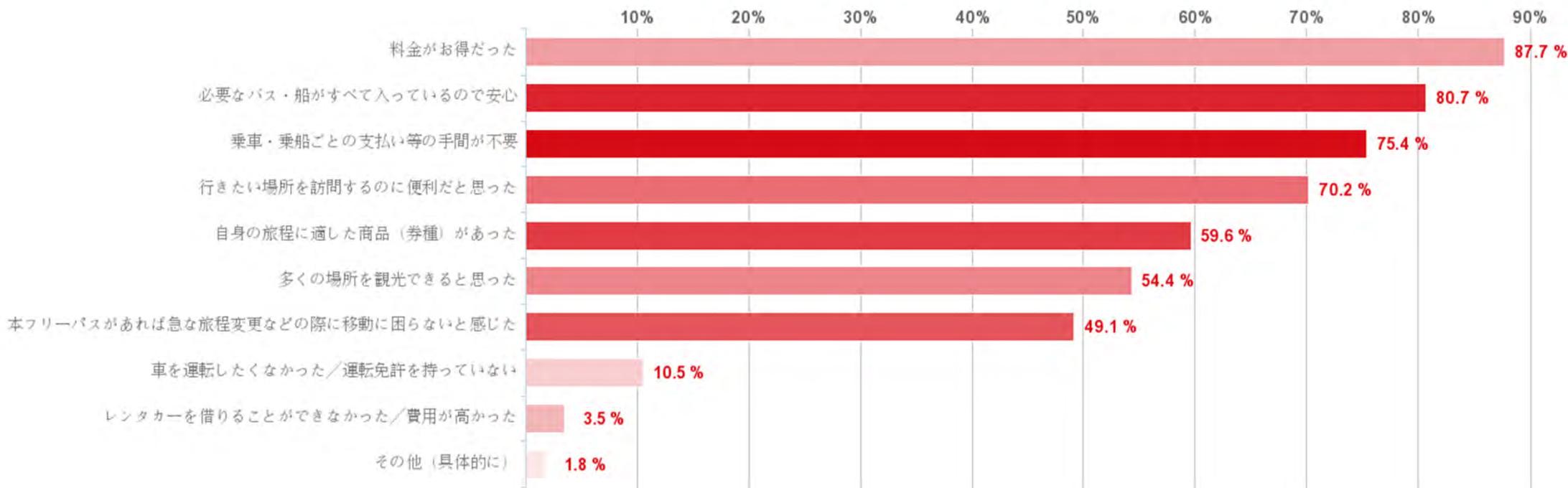
旅行前に訪問箇所を決めていたか



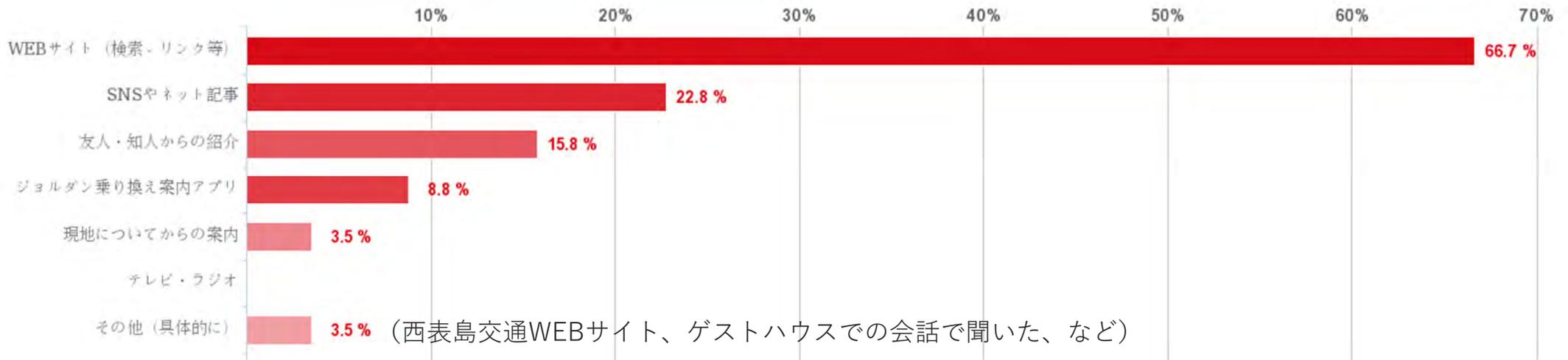
石垣・西表周遊フリーパスの種類



フリーパスを購入・利用した理由

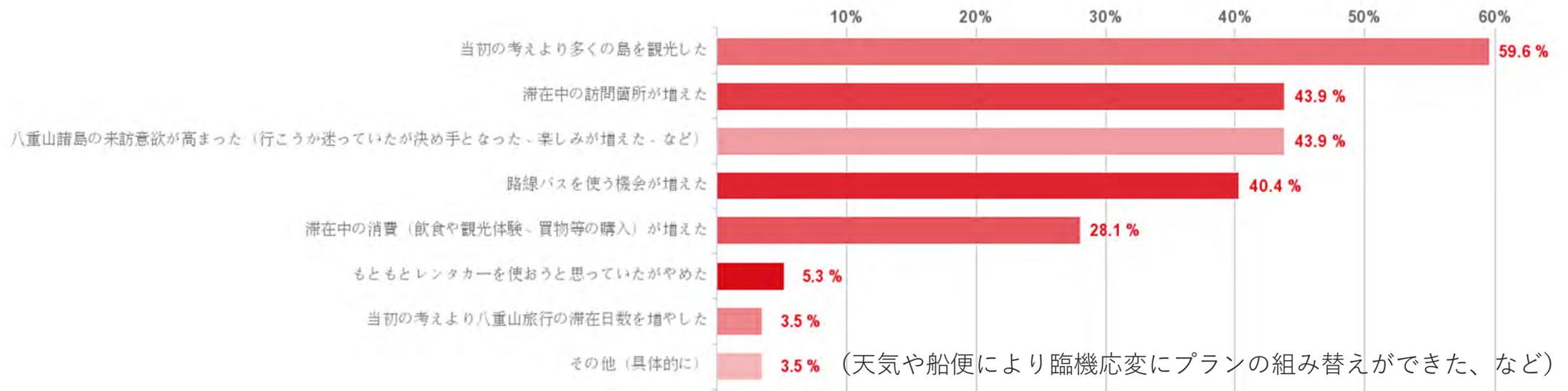


フリーパスをどこで知ったか



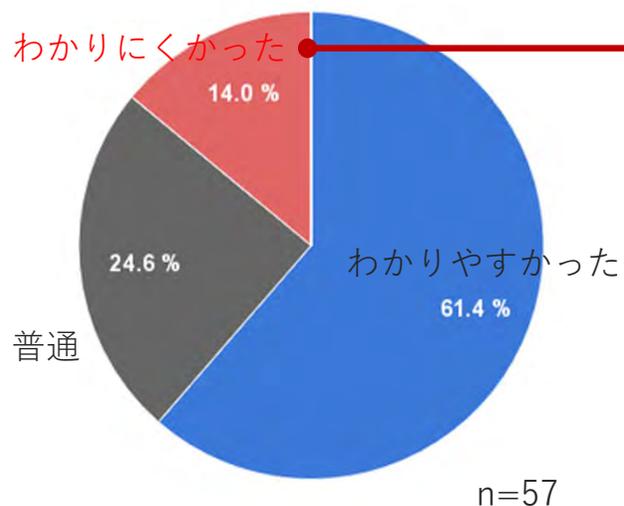
n=57

フリーパスを購入・利用したことによる移動手段や観光プランの変化



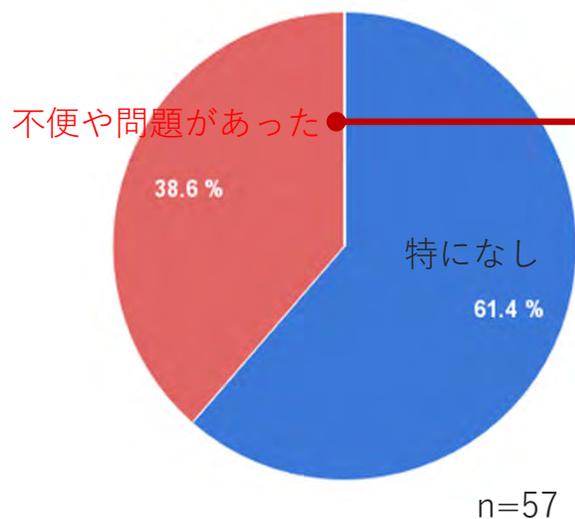
n=57

フリーパス（アプリ）の利用のわかりやすさ



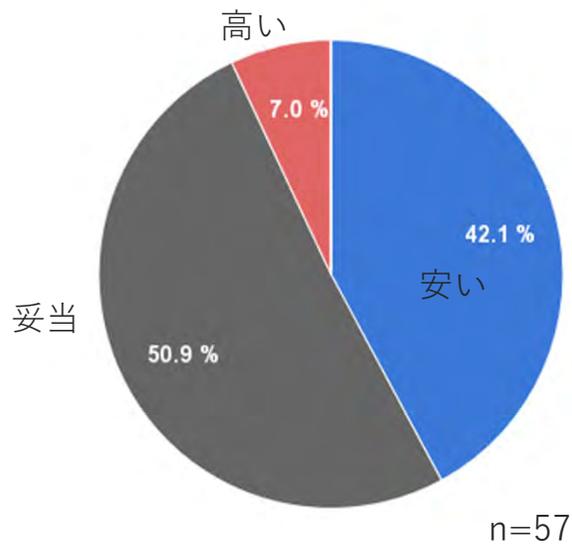
- ・利用する会社や行き先ごとにチケット選択しなければならない。
- ・初めての石垣島だったので、船やバスの会社の名前や停留所や時刻表などが分かりにくかった
- ・利用方法の細かい説明がなかった。特に、通常は離島フェリー利用時は乗りたい船の時間を指定してチケットを購入する為、本フリーパスの利用で本当に乗りたい便に乗れるのか不安が大きかった。
- ・使いはじめは分かりにくかったが、スタッフに尋ねるとすぐに分かった。 など

フリーパス（アプリ）の利用にあたっての不便や問題の有無

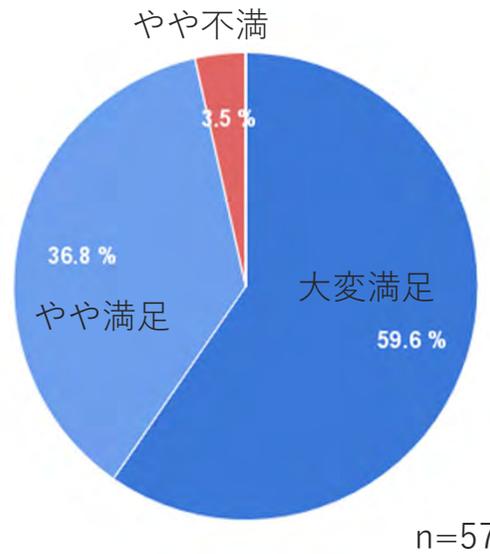


- ・スタッフの中にパスを理解していない方がいた。従業員の方が把握しきれていなかった。乗るまでに時間がかかった。不安を感じながら旅を進めるのが少しストレスだった。
- ・購入後直ぐに使おうとした時にどの会社のどのバスがわからず、チケットを表示するのに時間がかかった。ギリギリ出発時間に間に合ってたが、パスを開けば直ぐに使えるとよい。
- ・路線毎にチケットを表示するのが少し手間だった。出来れば、アプリを見せるだけで乗車・乗船可能のようにしていただけると楽になります。 など

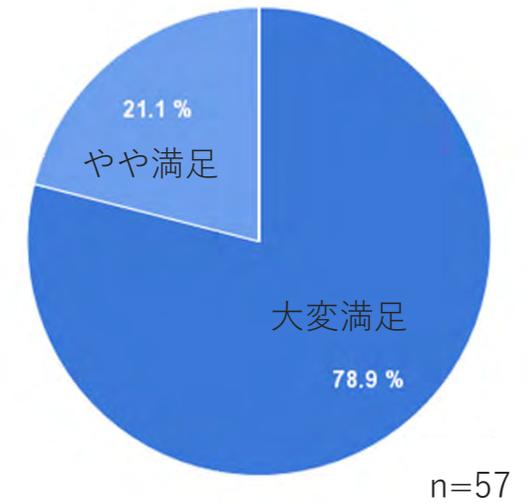
料金の妥当性



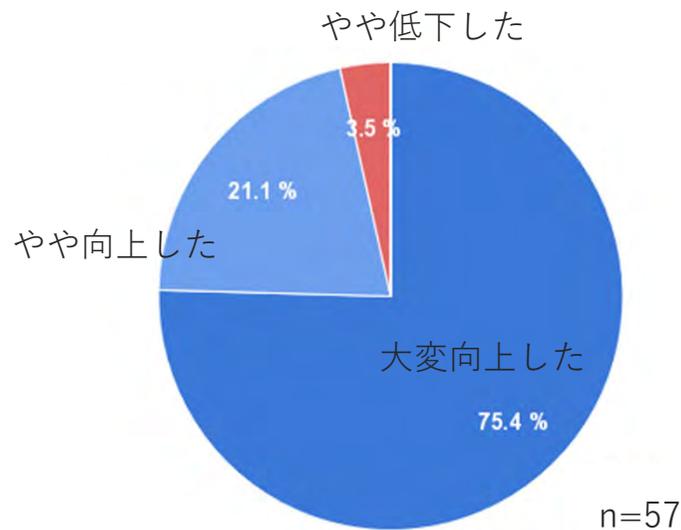
フリーパスの総合的な満足度



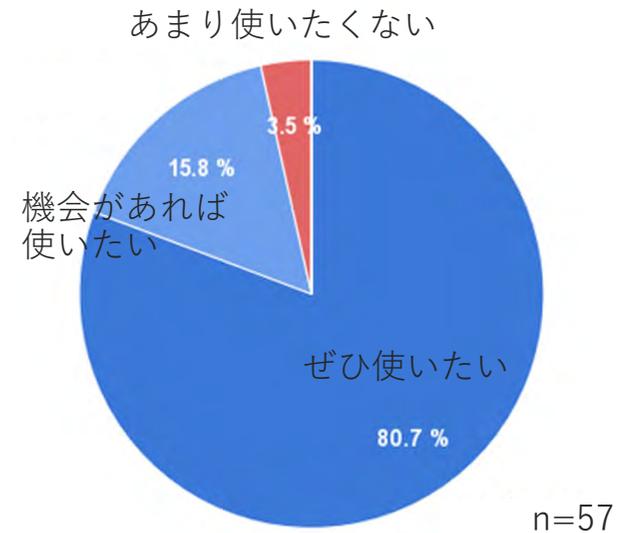
八重山旅行の満足度



フリーパスがあったことで八重山旅行の満足度は向上したか



フリーパスを本格導入した場合、利用したいか



no	フリーパスや八重山観光全般に対するご意見・ご感想等
1	初めて訪れるものにとっては八重山フェリーと安栄観光、どちらも自由に乗れるのは時間の制約や間違いを気にせずになれるので、気持ちの面でとても安心出来ました。たまたま見つけて購入したので、もっと色んなところでお知らせがあると購入する人は多いんじゃないかと思います。
2	フェリー2社とも乗船できることから、タイムスケジュールの幅がとても広がったり、同時刻の便でも混雑していなさそうな方に乗れたりするなど旅の自由度がとても向上した。仮にこのフリーパスと同内容が難しかったとしても、フェリー2社共通のフリーパスは絶対にあったほうが良いと思う。
3	画面を見せるだけだったので、大変便利でした。
4	八重山の観光は日本一素晴らしいと思います。石垣島の南国リゾートも良いのですが、離島のリゾート化されていない沖縄の原風景にとっても魅力を感じますので、またこれからもそんな風景を求めて八重山を訪れます。
5	とても使いやすく、効率的に活用させていただきました。また、あれば使いたいです。
6	どのバスや船も利用出来るところが素晴らしい。利用する会社に制約がないので、移動の際の自由度が上がる。料金が変わっても波照間島まで行けるチケットがあるとなお良い。チケット購入者向けに、物販や飲食店での割引サービスも付けて欲しい。
7	フェリーが安栄も八重山観光も両方使えるのがよかった。
8	今回、フリーパスを利用したことにより、スムーズに観光することができました。フリーパスが導入されれば、また利用したいと思います。もちろん、フリーパス範囲外のところでも充分楽しめました。
9	八重山フェリー、安栄フェリーどちらにも乗船できるのが魅力でした。フェリー乗り場などに置いてある「やえやまナビ」、ガイドブック石垣島、ぱいぬ島ストーリー、「しまじま散歩」など初めての八重山列島観光に来た人には助かる情報が満載でした。「しまじま散歩」を参考にして西表島以外は徒歩または自転車で周りました。他のガイドブックは地図が分かりやすく（ガイドブック石垣島）他の情報もカラーでものすごく重宝しました。今回は、全日程曇りやったんで今年11月ごろに1週間ほどの予定で再度訪れたいと思っています。今回利用したフリーパスは個人観光客にはありがたいチケットです。続けてもらったら嬉しいです。
10	フリーパスのおかげで移動に困ることがなく、八重山観光を楽しむことができました。ありがとうございました。
11	全体的にはこれ一本で回れるというのはとても便利でした。波照間島までの便も入っていただければもっと便利なものになとは思いました。船の乗船時に不具合が発生した際には、ギリギリに安栄観光の方に臨時の船券を出してもらったのでよかったのですが、本フリーパスが本格導入した際には船便もそこまで頻繁に出てるわけではないので、困るなど思いました。そこを改善していただきたいです。
12	このフリーパスのおかげで、旅行を楽しめました。また石垣島などに行く際はこのフリーパスを利用しようと思っています！ありがとうございました！

no	フリーパスや八重山観光全般に対するご意見・ご感想等
13	本パスはとても面白い試みだと思いました。実際これによって行く予定のなかった島にも行けましたし、旅の選択肢が驚くほど広がりました。欲を言えば、波照間島へも使えたら最高だったなと思います。また、集計等のレギュレーション上必要なことなのでしょうが、アプリで運行会社や航路を毎回選択しなくてはいけないというのはユーザビリティを若干損なっているのではないのでしょうか。共通画面を見せて乗れると尚良いですが、難しいだろうことも理解できます。（共通バーコード表示→乗車時に乗務員が読み取り、という方法なら集計も可能でしょうがその場合各乗務員に端末が必要になってしまいますね。やはり難しい）とはいえ、大変有意義な旅をさせてもらったと思っております。是非また再訪したいと思います。この度はありがとうございました。
14	非常に利用しやすいパスでした。ありがとうございます。
15	離島の飲食店の営業情報があればありがたいと感じた。フリーパスがあると石垣港からフェリーで多くの離島に行く動機になるのでぜひ続けて欲しい
16	お得に旅ができて嬉しかったです！！
17	欠航が出やすい時期のこのフリーパスは大変便利です。予定を組み替えやすく、対象の交通会社機関であればどれでも利用できるのが大変ありがたかったです。船代込みの離島ツアーが多いので購入を悩みましたが、ツアー外で西表島(上原港)に訪れる予定があったので往復額との差額も少額のことから思い切って購入しました。結果的に空いた時間にフリーパスを利用し竹富島を2度訪問したので購入してよかったです。
18	良ければ24時間で使えるフリーパスができると、1日はレンタカーを利用し、もう1日はフェリー・バスを利用して移動というフレキシブルな行動ができるので、さらにコストパフォーマンスが高い観光ができると感じた。総じて満足度の高い観光ができ、購入して良かったと感じている。
19	フェリー代が意外に高いので、お得なキャンペーンがあると他の島にも行ってみようかなと行き先の幅が広がるので、八重山諸島に少しでも貢献できたら嬉しいです
20	3日間利用で¥7000は破格の値段だと思います。フェリー会社も両方使えるのが非常に助かりました。是非、通常で使用出来るようにお願いします。
21	レンタカーをセットにしていきたい。
22	波照間島へ行く船便も使えると嬉しかったです
23	西表島に驚いた 日本にもジャングルがあることを知った
24	フリーパスがみんなに周知されて使われる様になるとキャッシュレス世代には本当に助かると思います。ただ充電が無くならないか心配はつきませんでした。

no	フリーパスや八重山観光全般に対するご意見・ご感想等
25	フリーパス提示で波照間島の乗船券割引やテナントの割引があると楽しいかもしれない。バスの時刻表が見にくいので改善してほしい。
26	今のままやるならチケット名を48時間券(空港+6時間)とわかりやすい名前にした方が良いかも？出来れば今の2日券を3日券の名前に変えて使い始め日から3日間フリーの方が年配者にもわかりやすい気がしました。このチケット凄く便利でお得だったので是非続けて欲しいです。次行く時も利用したいと思います。
27	3泊4日の旅だったので、4日のを購入したが、3日分を購入すれば良かったことが後からわかったので、何となく、損した気になった。船の欠航などもあり、フリーパスを購入した方がいいのか、天気と相談して当日購入しても金額としてはあまり変わらなかった気がする。スマホで購入出来るのは簡単でよかったが、電池切れにならないよう気をつけなければ行けなくて、ヒヤヒヤした。石垣島はバスの本数が少なくて、バスでの移動は困難だった。
28	利用可能時間が6時間プラスされるなら48時間券や72時間券でなく最初から54時間券、78時間券という表記にした方がわかりやすい。6時間プラスされるのに気が付かずに1日分多い券を購入してしまった。
29	初日12時から2日後14時まで使用する予定だったため72時間券を購入したが、石垣空港発着のバスは6時間ぶん長く設定されており、初回から48時間以降の利用は石垣空港発着のバス以外に利用しなかったため、結果的に48時間券で問題なかったが、購入当時は知らなかったため48時間券の購入にしなかったことを後悔している。
30	フリーパスについては、利用先の会社の方に使用方法の説明が必要であると感じた。
31	一部、運転手にフリーパスの周知が不足してましたので、完全周知をお願いします。
32	まだ始まったばかりなので従業員の方が把握しきれていなかった。船会社によっては、受付で乗船券との引き換えが必要かだった。浸透してればこれらの問題は解決されると思う。
33	どの船でどの画面を表示するかが面倒なので、どの会社でもすぐに分かる画面を作ったらいいと思う。会社側にしてもスムーズな乗船乗車を作れるから。
34	フェリー利用時にわざわざ利用するフェリー会社と航路を選択させる理由が不明。利用可能なバスやフェリーの会社の方にもっと周知されればもっと仕組み的に単純化できて利用者もともに使い勝手が向上すると思う。
35	訪問する日数や離島によってはお得になる金額がほとんどなく、あまりオトク感のない内容だと感じた。私は4連休に使ったため有意義に使うことができたが、通常の3連休などで来た人は、1日は石垣島で過ごして、もう1日は竹富島に行って...など考えると、私のようにドンピシャでお得になる人はそう多くないと感じました。例えば1ヶ月期限のうち有効化した●日間はフリーパス利用可、という内容であればワーケーション等の長期で八重山諸島に滞在する人にとってとても使いやすいと感じました。楽しい旅をすることができ、大変良い思い出を作ることができました。心より感謝いたします。

2. 5 課題整理（実装に向けた取組検討）

(八重山MaaSの目的・目標) 1枚のモバイルチケットで、滞在期間中、以下に示す事業者の路線バス、船舶(定期航路)への乗車・乗船を、原則制約を設けずに利用可能とすることで、移動に係わる予約や決済のストレスの低減、利便性向上を図り、公共交通観光の促進、圏域における周遊・滞在・消費等の促進、満足度向上等につなげることを目指すものとする。



【利用者側の視点(評価や課題)】

- ・当初に掲げた目的・目標は、**利用者視点では概ね狙い通り達成・評価**されたと言える(販売状況、SNS等の声。アンケート集計および意見等より)。
 - ➔特に2日券・3日券のニーズが高かった。
 - ➔県外(三大都市圏)の20代から50代の利用が多く、一人旅、もしくは夫婦、恋人、友人・知人との2人での利用が大半を占めた。
 - ➔今回初めて八重山に来訪したという方が半数以上。
 - ➔価格的な優位性だけでなく、必要なバス・船がすべて入っていて安心、都度支払いの手間が不要、行きたい場所にいくのに便利、困らないなど**安心感や利便性も購入理由の大きな要因**となっている。
- ・満足度、利用意向も極めて高いが、ユーザビリティ、わかりやすさ等についての改善は求められる。

【事業者側の視点（評価や課題）】

- ・短期的な取組であったため、スタッフへの浸透面ではやや課題があったかもしれないが、全体としては今回の取組は「見るだけなのでとても使いやすい、便利」といった反応であり、**窓口業務の負担軽減に繋がる方向**ではないかと考えられる。
 - ➔今回は閑散期なのでスムーズにできたが便数の増える繁忙期については改めて検証の必要がある。
- ・フリーパスの周遊促進効果は非常によかったと思う一方、通常運賃の70%だと年間で考えた場合のマイナスが大きく、**金額設定については検討が必要**。
 - ➔妥当な金額設定、割引率の検討（一つの目安として旅行社への手数料率等）。
 - ➔通年データ取得による閑散期・繁忙期、平日・休日等でのダイナミックプライシング検討。
 - ➔お得感よりも八重山が一つになった一体感、安心感、利便性の打ち出し。
 - ➔本フリーパスによる需要喚起効果を踏まえ、観光客が利用することで収益が上がり、地元の人たちの足の確保にもつながるという視点も重要。
- ・また、実装する上では、一定の運営コストや、モバイルチケットの利用料、決済手数料等も必要であり、この点をどう捻出するか議論をしていく必要がある。

【地域・社会的な視点】

- ・本フリーパスにより、八重山諸島の来訪意欲が向上するとともに、滞在中の訪問箇所、消費が増加。一人あたり平均3.76島訪問。八重山旅行の満足度向上にも寄与。
- ・また路線バスの利用機会が増加するなど、環境にやさしい移動手段の増加に寄与。
 - ➡利用者の40.4%が路線バスを使う機会が増えた。5.3%がレンタカーの利用を取りやめた。
 - ➡今回のフリーパス利用者の45.6%がレンタカーも併用しており、このことは、滞在中全期間ではなく、自身の観光プランに本フリーパスをうまく当てはめてかしく観光していることを示唆している（→この観点で考えると全期間レンタカー利用から一部期間はバス利用等へ置き換わっていることも想定される。したがってアンケート結果の5.3%以上にレンタカー利用からの転換があるのではないかと推察される）
- ・またデータを継続的に取得可能な点も大きく、継続することで観光客の動態データが蓄積できる。
 - ➡望ましい八重山の公共交通体系の検討への展開。
 - ➡世界自然遺産地域（西表島）でのエリア入域コントロールや、自然環境負荷へのモニタリングなど持続可能な観光マネジメントへの活用へ（詳細要検討）。

①対象事業者や航路、券種等の拡充検討

- ・ 竹富島交通、小浜島交通、由布島水牛車、レンタサイクル、など
- ・ 波照間島、与那国島
- ・ 上記を踏まえた券種のバリエーションの検討。時間券の拡充、など

②観光施設、観光アクティビティ、イベント等との連携

- ・ さらなる滞在や消費の拡大に向けた観光施設、観光体験等との連携 (パッケージ化)
- ・ 離島イベントとの連携、など

③キャリアとの連携

- ・ 航空会社と連携したMaaS展開 (航空会社のアプリ内での周知、など)
- ・ バス便と飛行機便の紐づけ、案内、など

④妥当な金額設定、割引率の検討

- ・ 本取組の効果、利用者への訴求性など踏まえた妥当な金額設定、割引率の検討
- ・ 一つの手法としての、閑散期・繁忙期、平日・休日等でのダイナミックプライシングの検討、など

⑤実績データ取得の高度化

- ・精緻な乗降実績データを取得するためのモバイルチケットの認証方法の検討
 - ⇒目検からQRコードMPM方式の検討や、認証機器の検討、など
- ・運賃分配計算ロジック (システム) の構築、など

⑥ベースとなる公共交通の利便性向上

- ・利便性の高いダイヤ等への見直し検討 (重複する路線・航路、アイランドホッピング、など)
- ・バスと船の乗り継ぎ利便性の向上
- ・自治体の交通政策との連携、など

⑦持続可能な観光マネジメントとの連携

- ・取得データの自然資源負荷モニタリングへの活用方法検討
- ・世界自然遺産エリアへの入域コントロール、エリアパスポートへの展開・連携検討、など

⑧ (仮称) 八重山観光交通コンソーシアムの組成と定期開催

- ・本取組に関連する交通事業者、観光事業者等による定常的な組織の組成
- ・八重山MaaS含む各種課題への対応と協調領域の取組促進、など



3. 検討委員会の開催

- ・ 前述の八重山MaaSを効果的に実施するため、有識者、事業者、関係行政等で構成する検討委員会を設置し、事業実施に係わる具体的方針等のとりまとめや必要な取組について検討を行った。
- ・ 委員会の運営にあたり、日程調整、会場運営、会議資料、議事録作成、謝金・旅費等の事務手続き等を行った。

▼検討委員会の実施概要

第1回	令和4年12月16日（金） 15:00～17:00	<ul style="list-style-type: none">・ 事業概要および趣旨・ 八重山地域におけるMaaSサービスの具体的な内容（案）・ 実証調査について など
第2回	令和5年2月2日（木） 15:00～17:00	<ul style="list-style-type: none">・ 八重山地域におけるMaaSサービスの実証調査について<ul style="list-style-type: none">→実証調査の概要について→モバイルチケットについて→実証中の運営体制等について など
第3回	令和5年3月16日（木） 9:30～11:30	<ul style="list-style-type: none">・ 実証調査の結果報告・ 今後の展開に関する意見交換 など

▼委員名簿

no	区分	所属役職	氏名
1	専門家	琉球大学 工学部 工学科 社会基盤デザインコース 准教授	神谷 大介
2	専門家	一般社団法人 沖縄オープンラボラトリ	山崎 里仁
3	交通事業者	東運輸株式会社 代表取締役社長	松原 栄松
4	交通事業者	有限会社カリー観光 執行役員 社長室長	鹿川 幸一郎
5	交通事業者	有限会社安栄観光 常務取締役	平安名 浩文
6	交通事業者	八重山観光フェリー株式会社 取締役管理部長	石垣 吉宣
7	交通事業者	西表島交通株式会社 代表取締役社長	玉盛 雅治
8	交通事業者	有限会社船浮海運 代表取締役	池田 卓
9	関係行政	沖縄総合事務局運輸部企画室長	村上 隼
10	関係行政	沖縄県文化観光スポーツ部観光振興課 受入推進班 班長	比嘉 真之
11	DMO	一般社団法人八重山ビジターズビューロー 専務理事	我那覇 宗広

※上記の委員以外に、沖縄県企画部交通政策課、沖縄観光コンベンションビューロー、石垣市（観光および交通担当）、竹富町（観光および交通担当）、石垣市観光交流協会、竹富町観光協会、琉球銀行等に対してオブザーバー参加の声をかけを実施した。

令和4年度 沖縄地域MaaS導入推進に向けた検討委員会（第1回）

開催日時	・ 令和4年12月16日（金）15:00～17:00
開催場所	・ 結い心センター2階 第1研修室 およびオンライン接続
出席者	・ 委員11名中11名（うち1名代理参加） ・ 随行およびオブザーバー参加13名 ・ 事務局（沖縄総合事務局経済産業部、リエントラルコンサルツ、ジョルダン）7名 ※オンライン参加者含む
議事次第	1 開 会 2 事業の目的および概要 3 八重山地域におけるMaaSサービスの具体的な内容（案） 4 実証調査について 5 意見交換 6 その他 7 閉 会
会議の様子	 

令和4年度 沖縄地域MaaS導入推進に向けた検討委員会（第2回）

開催日時	・ 令和4年12月16日（金）15:00～17:00
開催場所	・ 大濱信泉記念館2階 多目的ホール およびオンライン接続
出席者	・ 委員11名中10名（うち1名代理参加） ・ 随行動員およびオブザーバー参加10名 ・ 事務局（沖縄総合事務局経済産業部、リエントラルコンサルタンツ、ジョルダン）6名 ※オンライン参加者含む
議事次第	1 開 会 2 八重山地域におけるMaaSサービスの実証調査について （1）実証調査の概要について （2）モバイルチケットについて （3）実証中の運営体制等について 3 意見交換 4 その他 5 閉 会
会議の様子	

令和4年度 沖縄地域MaaS導入推進に向けた検討委員会（第3回）

開催日時	・ 令和5年3月16日（木）9:30～11:30
開催場所	・ 結い心センター1階 第1・2研修室 およびオンライン接続
出席者	・ 委員11名中9名 ・ 随行動員およびオブザーバー参加9名 ・ 事務局（沖縄総合事務局経済産業部、リエタルコンサルツ、ジョルダン）8名 ※オンライン参加者含む
議事次第	1 開 会 2 実証調査の結果報告 3 意見交換 4 その他 5 閉 会
会議の様子	

4. スマートモビリティチャレンジ地域 シンポジウムの開催

MaaS等を活用した新たなモビリティサービスに関する情報や課題、社会実装に向けた取組み事例を発信し、新たなモビリティサービスに対する理解を深め、各地域の支援を広げることを目的として、シンポジウムを開催した。シンポジウムでは、自動走行関連政策の紹介のほか、先進的に取り組む新しいモビリティサービスの事例や、沖縄県内での実証事業の紹介、パネルディスカッション等を実施した。

▼スマートモビリティチャレンジ地域シンポジウムの開催概要

シンポジウム名称	おきなわスマートモビリティチャレンジシンポジウム
開催日時	令和5年2月22日（水）13時30分～16時30分
開催方法	オンライン開催（Teams利用）
参加費	無料
定員	200名（先着順）
告知方法	沖縄総合事務局HPで告知、申込受付 経済産業省メールマガジンへの掲載や、本シンポジウムに関心のありそうな方の購読する県内外のメーリングリスト等における告知、県内自治体、観光・交通関係者への案内等を実施



参加申込と当日参加者数	申込者数：183名 当日参加者数：141名
-------------	--------------------------

■開会および開会挨拶 (13:30~13:35)

- ・ 沖縄総合事務局 (経済産業部地域経済課)

■自動走行関連政策の紹介 (13:35~14:10)

- ・ 経済産業省 製造産業局 自動車課 ITS・自動走行推進室 課長補佐 井澤 樹

■事例紹介 (14:10~15:10)

- ・ ジョルダンMaaS事業への取組み及び沖縄での事例紹介
ジョルダン株式会社 執行役員 営業本部長 結川 昌憲
- ・ Lv4自動運転や観光客の公共交通利用促進に向けた体制拡充 (沖縄県北谷町)
ユーデック株式会社 執行役員 長澤 将臣
- ・ 観光客・高齢者向けモビリティを両立する新たな交通手段の検証 (沖縄県恩納村)
株式会社OTSサービス経営研究所 代表取締役脳科学者 山田 真久
- ・ 八重山地域におけるMaaS (船・バス) の取組みについて (沖縄県八重山地域)
株式会社オリエンタルコンサルタンツ沖縄支社 技術部 次長 佐藤 貴行

(休憩 15:10~15:20)

■パネルディスカッション(15:20~16:20)

『将来も魅力的な観光地として沖縄が選ばれるために~旅行における移動手段の多様性確保の必要性について~』
(説明)

- ・ Z世代を対象とした「沖縄旅行における移動手段に関する意識調査」の結果について 10分
(一財) 沖縄観光コンベンションビューロー 国内事業部 国内プロモーション課長 喜瀬 涼子

(パネルディスカッション)

- ・ モデレーター：琉球大学 工学部 工学科社会基盤デザインコース 准教授 神谷 大介 氏
- ・ パネリスト：結川 昌憲 (ジョルダン)、長澤 将臣 (ユーデック)、山田 真久 (OTSサービス経営研究所)、
山崎 里仁 (沖縄オープンラボラトリ)、大城 弘文 (内閣府沖縄総合事務局経済産業部)

■質疑応答 (16:20~16:30)

■閉会 16:30

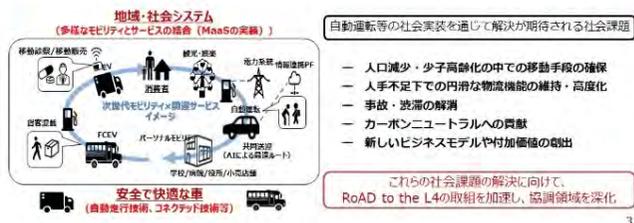
■ 自動走行関連政策の紹介

経済産業省 製造産業局 自動車課 ITS・自動走行推進室 課長補佐 井澤 樹



1. 将来のモビリティ社会像と自動走行の果たす役割①

- 昨今、CASE革命の進展や車のソフトウェア化、GX・DXによる自動車の使い方・作り方が大きく変革していく中で、**将来のモビリティ社会像も踏まえ、自動走行がその解決に貢献できる社会課題を整理していくことが重要。**
- 自動走行で解決が期待される社会課題としては、**人口減少・高齢化**の中での**移動手段の確保**、**人手不足対策**、**事故や渋滞の解消**、**カーボンニュートラルへの貢献**などが挙げられる。また、自動走行は、社会課題解決だけでなく、MaaS等との連携や技術の進展により、**新しいビジネスや価値が創出される可能性**も。
- これらの社会課題の解決に貢献するため、自動走行ビジネス検討会/RoAD to the L4において、必要な施策の具体化を図るとともに、**協調領域の深化**を行う。



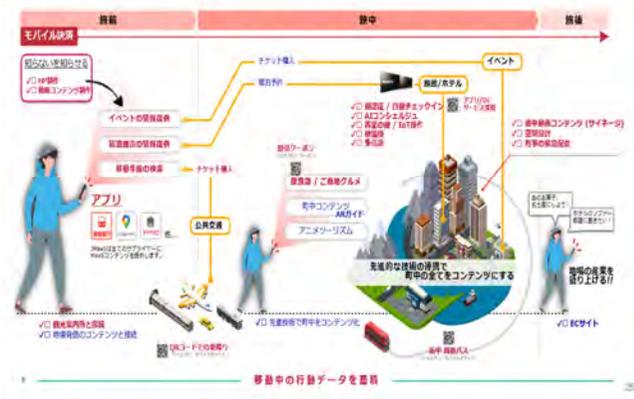
- ・ 将来のモビリティの社会像と自動走行の果たす役割、経済産業省における実証事業に関する取組の概要、最近のトレンド等に関する紹介等
- ・ CASE各分野の取組が進展し、社会実装フェーズに入りつつあること、その上では複数の視点を融合させることが重要なこと等を示唆

■ 事例紹介

・ ジョルダンMaaS事業への取組み及び沖縄での事例紹介
ジョルダン株式会社 執行役員 営業本部長 結川 昌憲 氏



4. 移動のすべてをサポート→ジョルダンが目指す将来像



- ・ ジョルダン社が全国および沖縄で進めるモバイルチケット事業やMaaS事業についての紹介
- ・ モバイルチケット事業やMaaS事業で取得できる動態データからの移動需要把握、まちづくり戦略への活用、EBPMの重要性等を示唆

- ・Lv4自動運転や観光客の公共交通利用促進に向けた体制拡充（沖縄県北谷町）
ユーデック株式会社 執行役員 長澤 将臣 氏



- ・現在実施中の北谷町における観光MaaS事業、自動走行関連の取組についての事例紹介
- ・事業モデルの実現に向けた課題や、自動運転レベル4に向けた課題、横展開に向けての活動内容等の報告

- ・観光客・高齢者向けモビリティを両立する新たな交通手段の検証（沖縄県恩納村）
株式会社OTSサービス経営研究所 代表取締役脳科学者 山田 真久 氏



- ・現在実施中の恩納村における観光客・高齢者向けモビリティを両立する新たな交通手段の検証についての事例紹介
- ・首都圏、関西圏のZ世代を中心とした高速バス、地域巡回バスへのニーズや、地域の高齢者の買い物ニーズ、リゾートホテル等で勤務する運転免許をもたない外国人従業員の移動ニーズの存在等を報告

- ・八重山地域におけるMaaS（船・バス）の取り組みについて（沖縄県八重山地域）
株式会社オリエンタルコンサルタンツ沖縄支社 技術部 次長 佐藤 貴行 氏



- ・現在実証実施中の八重山MaaS（石垣・西表周遊フリーパス（バス・船））に関する事例および進捗状況の紹介
- ・本MaaSによる、周遊・滞在の促進ならびに消費の増加効果や、公共交通利用の増加、滞在満足度の向上、来訪意欲の向上など、利用者利便性や地域観光への有効性を示唆

■ パネルディスカッション
(説明)

- ・Z世代を対象とした「沖縄旅行における移動手段に関する意識調査」の結果について 10分
(一財) 沖縄観光コンベンションビューロー 国内事業部 国内プロモーション課長 喜瀬 涼子



- ・本年1月に沖縄観光コンベンションビューローより公表された、今後の消費を牽引するZ世代を対象とした「沖縄旅行における移動手段に関する意識調査」結果についての紹介
- ・今後も引き続き魅力的な観光地として沖縄県が選ばれ続けるための移動手段の多様性確保の必要性を示唆

■ パネルディスカッション

『将来も魅力的な観光地として沖縄が選ばれるために～旅行における移動手段の多様性確保の必要性について～』

・モデレーター：琉球大学 工学部 工学科社会基盤デザインコース 准教授 神谷 大介 氏

・パネリスト：結川 昌憲（ジョルダン）、長澤 将臣（ユーデック）、山田 真久（OTSサービス経営研究所）、山崎 里仁（沖縄オープンラボラトリ）、大城 弘文（内閣府沖縄総合事務局経済産業部）



【論点1：これまでの取組みから見えてきた成果・課題について】

- ・観光の取組では、目的地の情報をどれだけ多く持っているのかが重要。その上でのMaaSであり、観光ニーズにあわせて、利便性の高い公共交通をリコメンドする必要がある。
- ・若い世代だけではなく、車を持っていない方、高齢者の方々も運転に不安があったり、持病を抱えて運転ができないという方にとっても公共交通の利便性が高くなる必要がある。沖縄という細長い地域で観光客の流れを踏まえると、路線バスだけではなく、高速を活用した交通も検討する必要がある。
- ・重要なのは、利用者が便利、使いやすいということ。これがあれば展開していくことを実感している。沖縄では、施設、レジャーチケットなどとの連携も有効。
- ・旅行前に行く先のモバイルチケットが全て購入できていて沖縄についても気にせずにスマホひとつで那覇から北部まで移動できる環境づくりをしていきたい。
- ・自動運転やMaaS等については、競争領域と協調領域をいまいちど業界全体で見直して、民業として競い合うところは公正に競い合うと同時に、利用者目線でいうと情報の入り口で統一性を持って協調していかないと初めてきた知らない土地で、どのMaaSサービスへアクセスするのがよいのかわからない。沖縄県を含む全国の旅行者の多いエリアではこの点取り組んでいく必要がある。実証途中であるが、八重山MaaSがうまくいっているのは、基本的にすべての交通事業者の入ったモバイルチケット造成という協調領域が設計できた点も大きな要因と考えられる。

【論点1：これまでの取組みから見えてきた成果・課題について（続き）】

- ・誰一人として、すくなくとも交通移動手段というものにおいて取り残さないようなことができないか振り返ったときに、観光情報サイトを運営するなかで、モデルコースと交通アクセスのページが連動していなかったり、モデルコースのページでは「車で〇分」というような表記となっていた。まずは、自分達の意識からかえていけないということで、今年度からバス・モノレール・レンタサイクルを含めたモデルコースを載せていくとともに、那覇空港に着いて「どこにいけばリムジンバスに乗れるのか」「モノレールはどこで乗れるのか」「路線バスに乗れるのか」等にも対応していく必要がある。その中で本日より、那覇空港から公共交通への乗り方を動画にて公開している。ホテルに行きたい場合は路線バス、地域を楽しんでほしい場合はシェアカートやレンタサイクル、周遊したい場合はレンタカーや観光タクシーで楽しんでもらうなど、多様な移動手段を活用して十分に沖縄を楽しんでもらうため、着眼点を変えて観光情報発信内容の精査をしている。

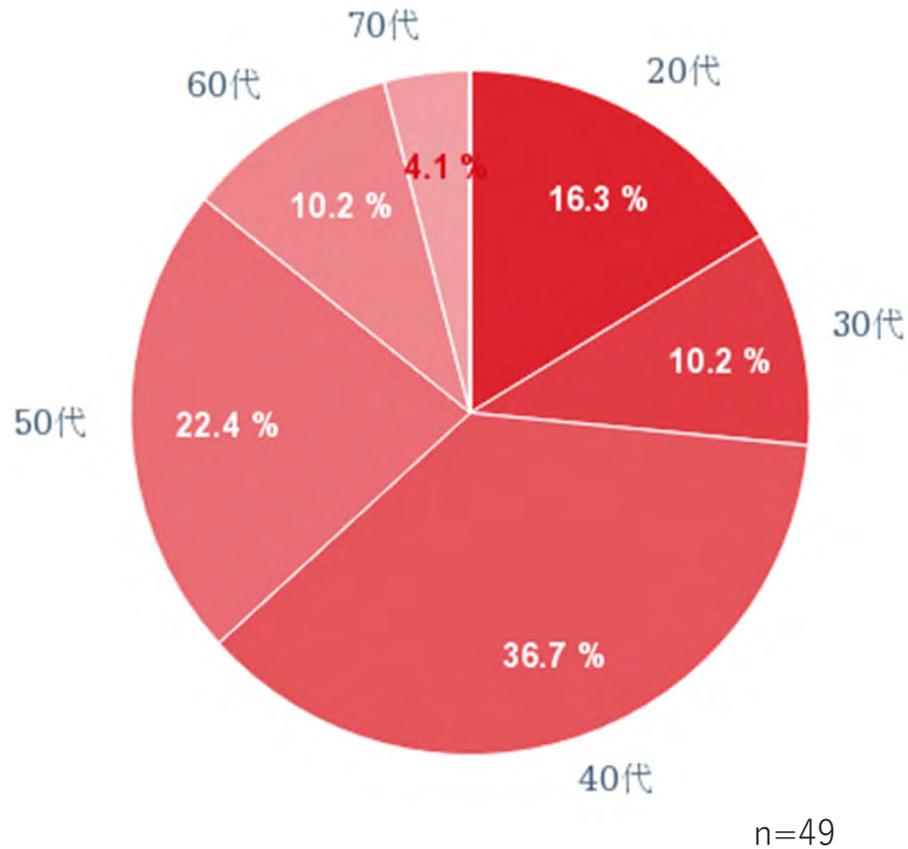
【論点2：今後の展開について】

- ・旅前の訴求は非常に大切になってくる。ターゲティング広告、若い世代へはSNS、高齢者へはホームページなど。普段使い慣れているものとの連動、見やすさ、分かりやすさ、ユーザーインターフェースをきちんとしなければ旅前、旅中の訴求は無理ではないかと思う。重要なポイントと考えている。
- ・まだまだモバイルチケット/デジタルチケットの文化ができていない。ユーザーは価格に非常に敏感に反応すると感じており、50円安いだけでもモバイルチケット/デジタルチケットに導線できる。土日と平日、閑散期と繁忙期でうまく料金設定を工夫するなど、利用文化づくりを目指していきたい。
- ・海外に関しては、WEBサイトはあまり見られずSNSなどで情報を得ているように思える。基本的に移動手段は日本人も外国人も変わらないので、日本人向けのWEBコンテンツがしっかりとSNSで発信される仕組みを考えていけないと思う。
- ・外国人ドライバーの事故が多いという点と、もう一方で私自身外国へ行ったときに運転したかったかといわれると、ライセンスはあったとしても、どちらかといえばしたくなかった。そう考えたときに公共交通で行先や待ち時間が分かればその方がよい。
- ・沖縄県全域でつくった公共交通オープンデータがこの5年で驚くほど世界中の旅行情報サイト事業者からアクセスされている。知らない土地に行つての運転は難しいのでできれば公共交通機関にのりたいという外国人の情報に対するニーズはエビデンスから明白。それをさらに情報として展開する協調領域の取組が沖縄県の行政に求められているのではないか。

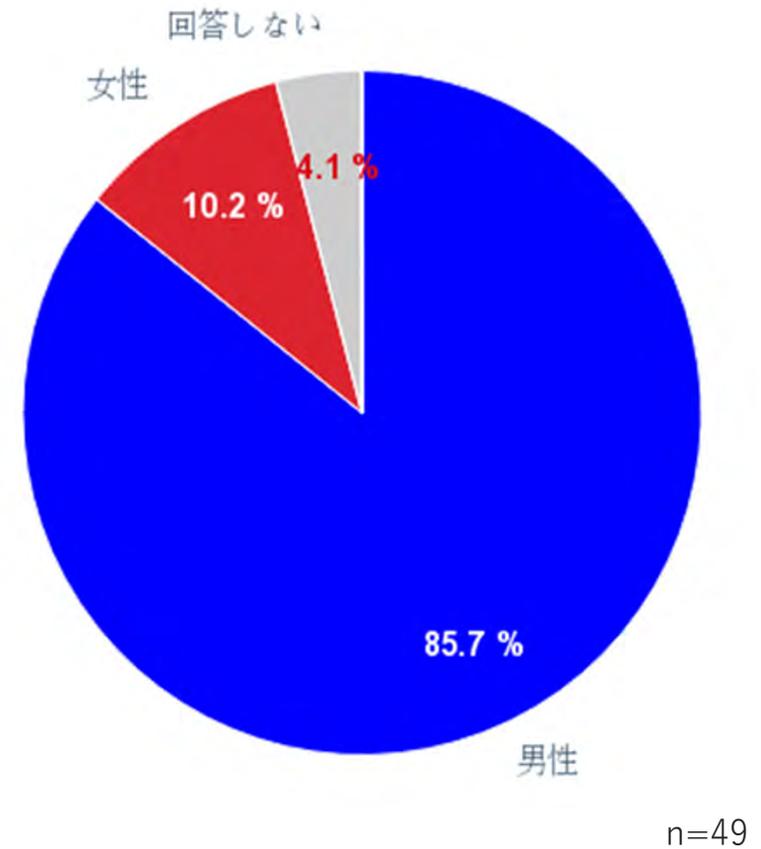
シンポジウムの参加者に対して事後のアンケート調査を依頼し、49名の回答があった。結果を以下に示す。

【参加者属性】

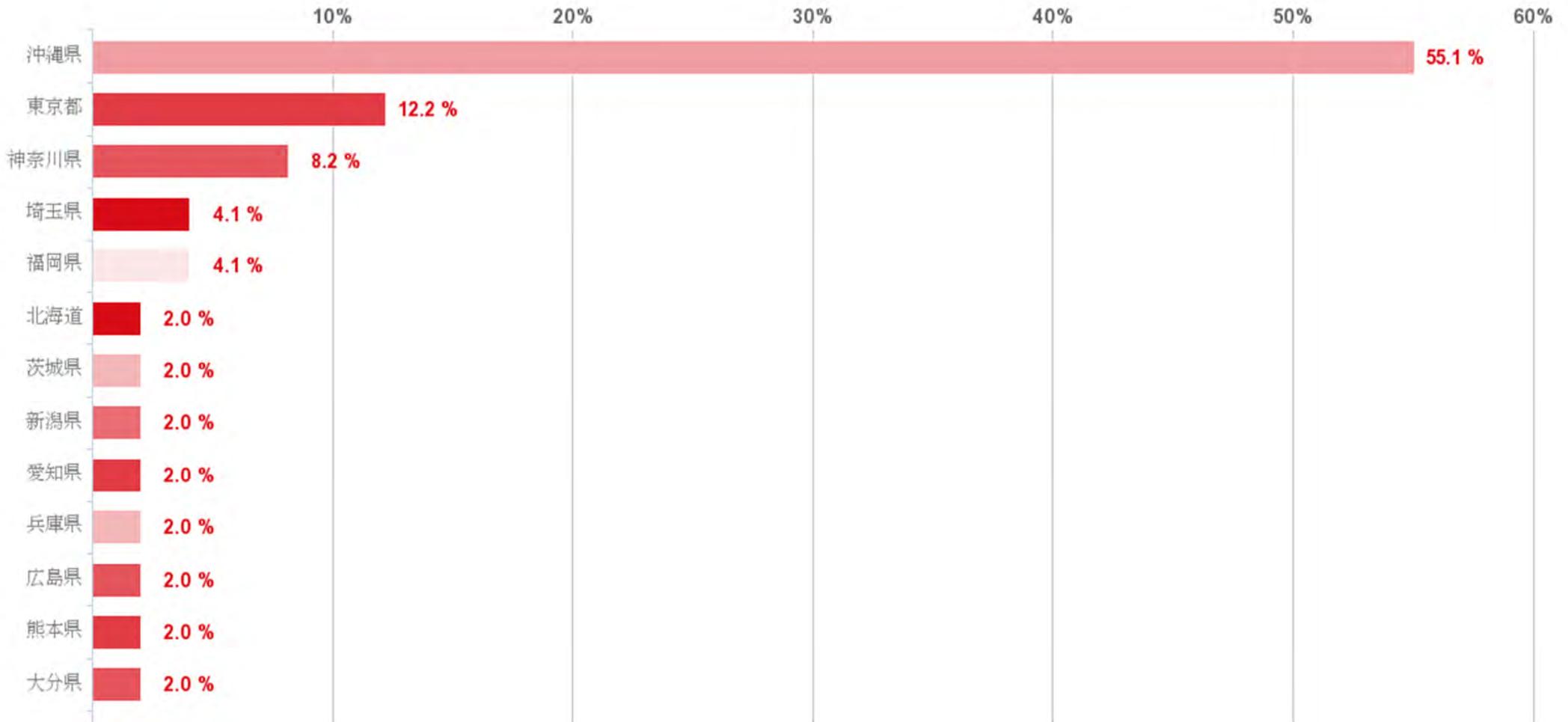
①年齢



②性別

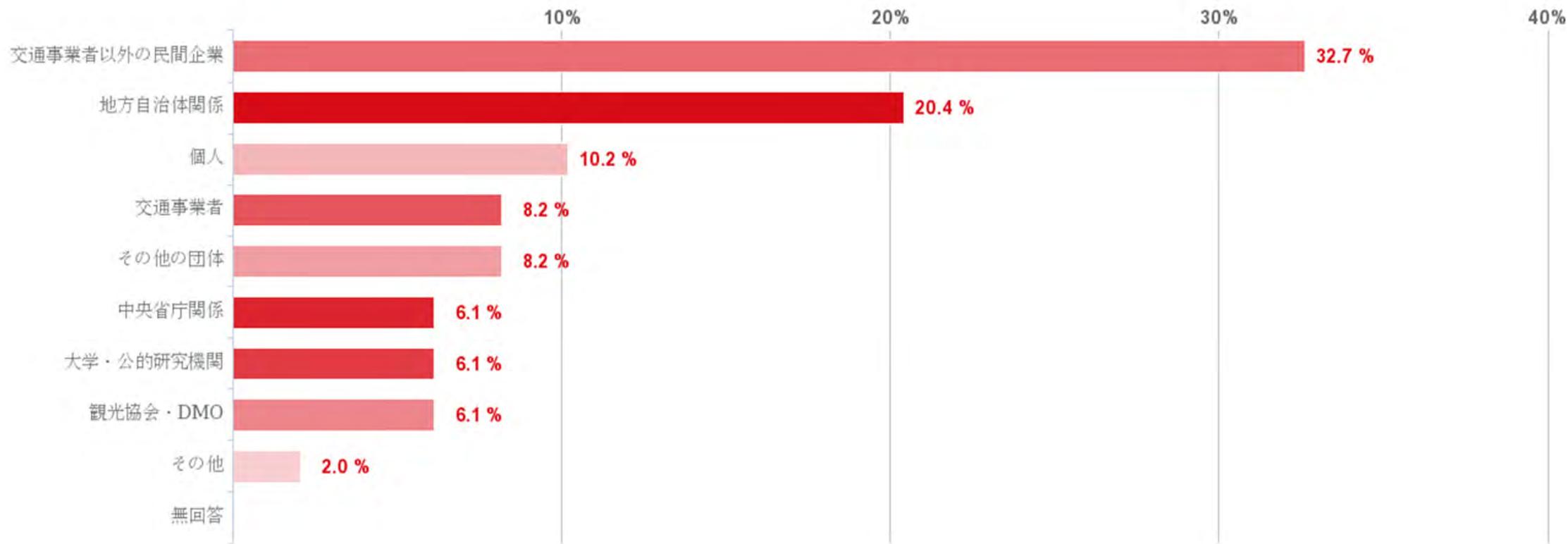


③居住地



n=49

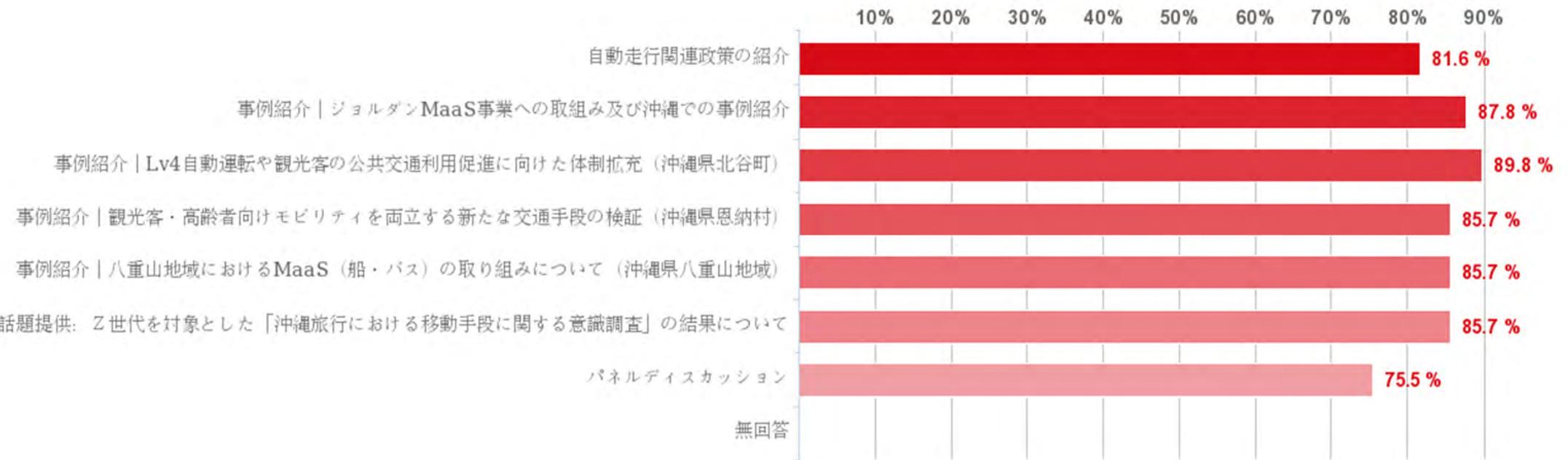
④職業



n=49

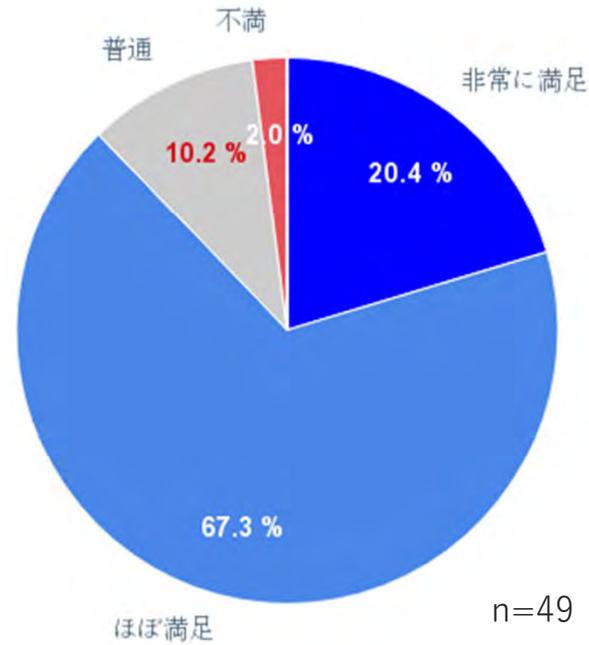
【シンポジウムについて】

①参加したプログラム

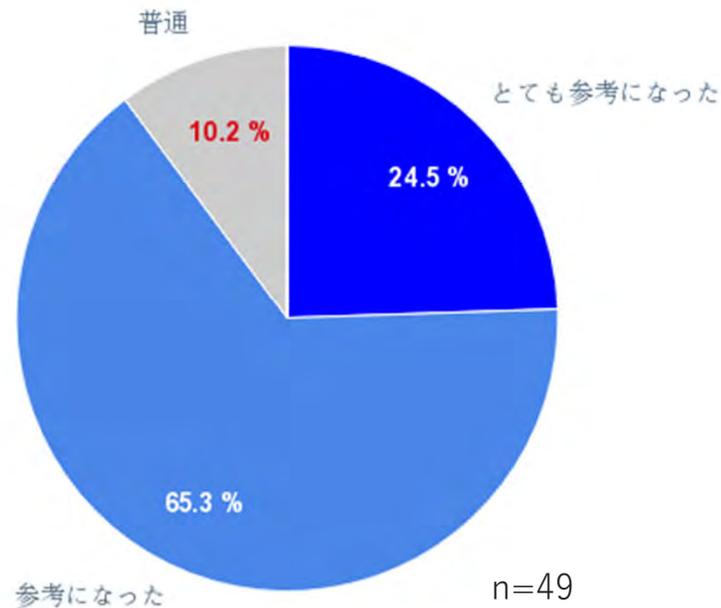


n=49

②シンポジウムのテーマや内容に関する全体的な満足度



③各講演内容は参考になったか



④ プログラムの中で特に参考になった／面白かった／興味の湧いた内容



n=49

⑤具体的に参考になった／面白かった／興味を持った内容の詳細

具体的に参考になった／面白かった／興味を持った内容

レンタカー不足など、沖縄における社会課題が理解できた。競争領域と協調領域の検討、事業化の難易度など、普及における問題点を理解できた。

自動運転技術を各国が競い合っている現状が分かった。ぜひとも日本が技術的に先行し、今後、県内でも導入が進められていくことを期待している。

自動走行関連政策について、先行して事業化している諸外国との法的な面での違いと日本における各法令の整備についての課題と方向性についてをもう少し掘り下げて知りたかった。

人材不足と言われる今、2025年40カ所における自動走行レベル4はとても有効的で夢のある話でもあるなと思いました。と同時にいろいろな場面での法整備(責任問題等)も、同時進行していかないと、実現的ではないと感じた。

自動走行の概論がよく理解できました。全体として、各資料が詳細に作り込まれていたため、読むのが大変でした。背景・目的・取組内容・成果、など統一されたフォーマットで事例紹介していただけるとより分かりやすかったと感じました。

Z世代における現状の状況等面白いデータを確認できたので大変良かった

沖縄旅行にレンタカーは必須としか思っていませんでした。考え方を改めて公共交通機関を前提に考えてみるのは面白いとおもいました。

北谷観光MaaS事業は複数の主体が連携して進められており、コラボレーションのきっかけや、連携がうまくいっているコツなど、より知りたいと思いました。空間的にはトランジットセンターがハブになっているようですが、土地建物の整備や財産、管理の役割分担など知りたいと思いました。恩納村での取組は、高齢者の買い物サービスや、ホテル外国人従業員の足に着目した点は、興味深く、バス記事閲覧からのコンバージョン率をKPIとするなど、定量的な分析も持続可能なモビリティの実現につながる取組だと思いました。

恩納村の無料バス実証実験、実効的な取組だと思うので有料化して実装できれば移動が増え活性化するのではと思いました。八重山MaaSは、個人的に利用したいと思うほどお得感満載の取組だと思います。交付金なしで持続可能な仕組みづくりが大切だと思いました。

レンタカーに頼らない交通手段

Maasの取組み

⑥ 今後シンポジウムで取り上げてほしいテーマや、日頃お感じになっている自動運転やMaaSに関する課題、本シンポジウムに関するご意見など

本シンポジウムに関するご意見など

自転車など、車以外のモビリティの検討について聞きたい。それが進んでいないのであれば、その理由も知りたい。

沖縄は本土と違い、離島県であることから、車依存度高い状況の中、公共交通機関の利用促進については沖縄県全体で検討する必要があると思います。沖縄県を中心に県民の移動手段の利便性確保、観光客、インバンド向けの移動方法を検討していただきたい。

自動運転モビリティと既存のモビリティとが共存する未来への課題とその解決方法についてを有識者（OEM、サプライヤー、交通事業者、保険業界、関連省庁、等）にディスカッションして欲しい。

空港等から観光地域のホテルに直行する公共交通機関があると便利かと思いました。国外観光地域で沖縄のように公共交通機関の利便性がよくない地域の事例とかあるのでしょうか。

地方は、2次交通が脆弱な事により、レンタカー等（車）を利用をする人が当たり前であった。「地域住民＋観光のお客様」の交通手段として、2次交通を構築しないと、自走が課題になると思われます。今後の自動運転技術の発展と共に、社会が変化する想定・モデルの構築の、実現の推進をお願いしたいです。

<取り上げてほしいテーマ>モビリティの取組と、都市計画や都市開発などまちづくりとの連携について、興味があります
<自動運転やMaaSの課題>自動運転は、車線巾を小さくできたり、カーブサイドをうまく活用したりなど、道路空間側のリメイクが課題と感じています。MaaSは、異なるMaaS間の連携、そのためのデータの共有化が課題と感じています。

MaaSに関する旅行者等の認知度がまだまだ低いので、プロモーションの必要性を感じている。

脱炭素（再生可能エネルギー導入等）に向けた取組

オンデマンドの地域浸透と利用者の自由度

公共交通専用レーンを設けることの是非について（メリット・デメリット）

網羅的に沖縄県の取り組みを知ることでできるセミナー

全国での課題点、改善点等、事業を進捗してわかったことを共有いただきたい。

一つの事例を紹介し、その成果や課題を徹底的に議論していくような深いスマモビシンポの開催を望みます。

⑥ 今後シンポジウムで取り上げてほしいテーマや、日頃お感じになっている自動運転やMaaSに関する課題、本シンポジウムに関するご意見など（続き）

本シンポジウムに関するご意見など

沖縄でも参考になりそうな全国の実事例紹介

最新の世の中の動向

沖縄県（都道府県）はどういった動きで自治体を後押ししているのか（国や自治体の動きは分かったが、県はどういったスタンスで何をしているか気になりました。都道府県により、交通への取り組みに温度差があると感じています。また、運輸支局との関係性もいまいわかりづらいつ感じています。）

地域に根付いた運行がこれからも続いていくように、その後についても報告があると嬉しいです。

本シンポジウムを例えば3か月毎とか、定例的に開催して欲しい。

仕事をしながらで「ながら」聞きになってしまったのが残念ですが、それでも有意義なお話を聞いて良かったです。ありがとうございました。

パネルディスカッションの時間が短かった。もう少しパネラー間で議論して欲しかった。